

**岡山県結婚，出産，子育てに関する意識調査
（総社市分）
報 告 書**

**令和 7 年 3 月
総社市**

目次

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査方法	1
3 報告書の見方	1
II 調査結果	2
1 属性	2
2 結婚について	5
(1) 結婚への希望	5
(2) 結婚したいと思う理由	8
(3) 結婚するつもりはない理由	11
(4) 理想とする結婚年齢の有無	14
(5) 理想の結婚年齢に対する, 自身の結婚の見通し	15
(6) 結婚につながるような男女の出会いの場の理想	21
(7) 現在の経済状況	22
3 子どもを持つことについて	23
(1) 希望する子どもの数	23
(2) 子どもが欲しいと思う理由	24
(3) 子どもは欲しくない, または希望する子どもの数が一人である理由	25
(4) 現実に持てると思う子どもの数	26
(5) 希望の子ども数より少ない理由	27
4 男女の出会いについて	29
(1) 交際相手の有無	29
(2) 出会いの場について	30
(3) 出会いの場がないと思う理由	31
5 男女の役割分担やワークライフバランスについて	32
(1) 仕事と家庭生活(子育てを含む)について	32
6 結婚と住まいについて	33
(1) 結婚後に生活を始めた住居地の地域特性の評価	33
7 進学について	34
(1) 高校卒業後の進学・就業希望	34
(2) 希望する進学先の地域	35
8 就業について	36
(1) 卒業後の希望進路	36
(2) 希望する就業先の地域	37
9 結婚後に暮らす地域について	38
(1) 結婚後に暮らしたい地域	38
10 地域社会や身近な人のことについて	39

(1) 地域との関わりについて.....	39
(2) 地域の暮らしやすさについて	40
11 地元について	41
(1) 地元に対する感じ方.....	41
12 子育てに対する感じ方について	42
(1) 子育てに対する感じ方.....	42
(2) 子育ての負担感の程度.....	43
13 第1子について	44
(1) 第1子誕生時の両親の年齢.....	44
(2) 第1子誕生時の両親の年齢の理想.....	44
14 第2子以降について	45
(1) 第1子の子育て経験が、第2子を持つ希望への影響	45
(2) 第1子の子育て経験が第2子の希望につながった理由.....	46
(3) 第1子の子育て経験でもう子どもは欲しくなくなった理由.....	47
(4) 第2子までの子育て経験が、第3子を持つ希望への影響	48
15 子育ての費用と進学について	49
(1) 家計の負担になっている子育ての費用.....	49
(2) 子どもの将来の進学展望.....	50
(3) 子どもの進学先を選んだ理由	50
(4) 経済的負担が減った場合のもう一人子どもを持つことへの希望	51
(5) もう一人子どもを持つために必要な年収の追加金額	51
(6) 負担が少なくなることが重要な養育費等.....	52
16 子育てと住まいについて.....	53
(1) 子どもの出生や成長に従って転居した経験.....	53
(2) 転居前と転居後の住所地.....	54
(3) 転居先を選ぶ際の地域特性の評価.....	55
(4) 転居した(転居したい)タイミング.....	56
(5) 両親との同居や近居について.....	57
17 地域の子育て環境について	58
(1) 妊娠・分娩、子どもに関わる医療サービスの利用	58
(2) 充実してほしい預かりサービス.....	60
(3) 地域の子育て環境.....	61
18 子育ての不安・悩みと相談について	62
(1) 子どもを強く叱ったり、つらくあたったりした経験.....	62
(2) 子育てに関する不安や悩み.....	63
Ⅲ 調査票	64
1 第一群調査	64
2 第二群調査.....	76
3 第三群調査.....	88

I 調査の概要

1 調査目的

岡山県内における結婚や妊娠・出産、子育てに関する現状や意識などを収集・分析し、岡山いきいき子どもプラン2025（仮称）の策定の基礎資料とする。また、市町村別に県民意識を見える化することにより、岡山県及び県内市町村が施策の検証等を行うための基礎資料とする。

2 調査方法

項目	第一群調査	第二群調査	第三群調査
①調査名称	結婚、出産、子育てに関する 県民意識調査	子育てに関する県民意識調 査(子どものいる世帯調査)	結婚、出産、子育てに関する 高校生意識調査
②対象	・2023年8月時点で20歳から 49歳の岡山県内在住者 ・市町村の住民基本台帳か ら無作為に抽出	・0歳から小学校3年生まで の子どもと同居する子育て 世帯の親等 ・市町村ごとに保育園、小学 校等の立地バランスを考慮 して保育園、学校等を抽出	・県立高等学校（全日制課 程・定時制課程）の2年生 及び3年生（中等教育学校 の5年生及び6年生を含む） の全生徒
③調査期間	2023年9月30日～ 2023年10月24日	2023年10月20日～ 2023年11月13日	2023年11月6日～ 2023年11月27日
④対象数	2,487 件	912 件	957 件
⑤調査方法	・郵便送付 ・郵便回収、オンライン回答	・保育園・幼稚園・学校等に よる直接配付 ・郵便回収、オンライン回答	・高校を通じた調査依頼書 （調査サイトへのリンクを掲 載）の高校生への配付 ・オンライン回答
⑥回収・ 回答結果	733 件	464 件	473 件

3 報告書の見方

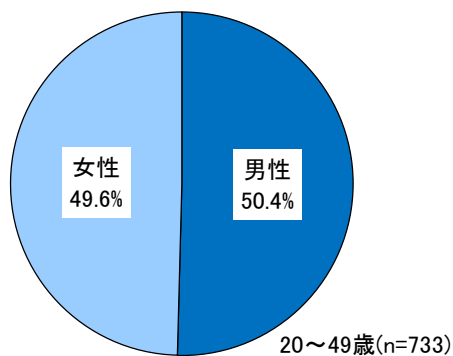
- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（％）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が 100.0%とならない場合がある。
- 2つ以上の回答（複数回答）を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

Ⅱ 調査結果

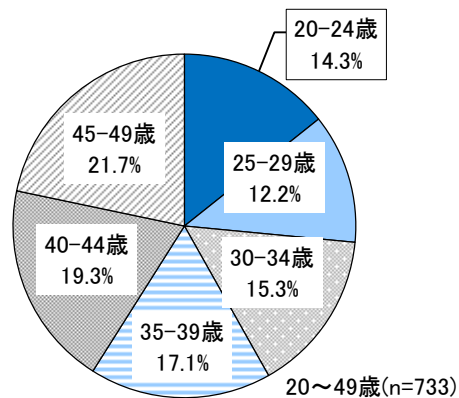
1 属性

(1) 第一群(20～49 歳)

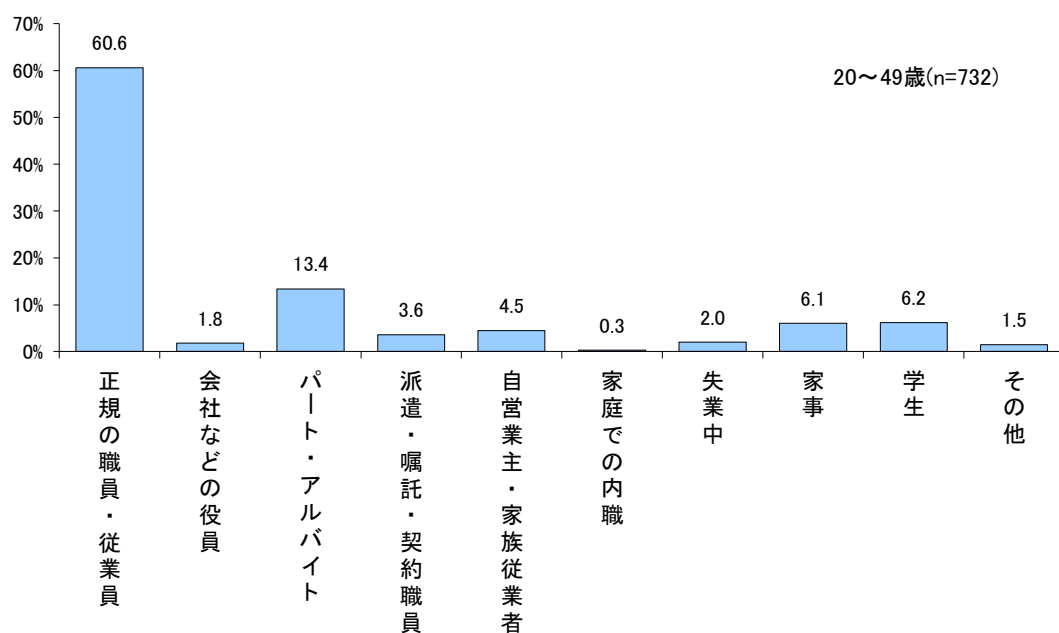
① 性別



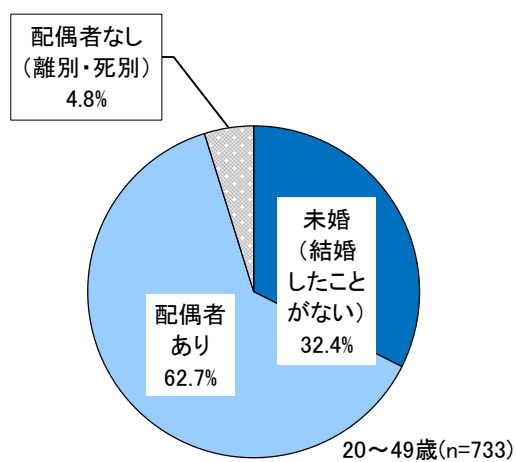
② 年齢



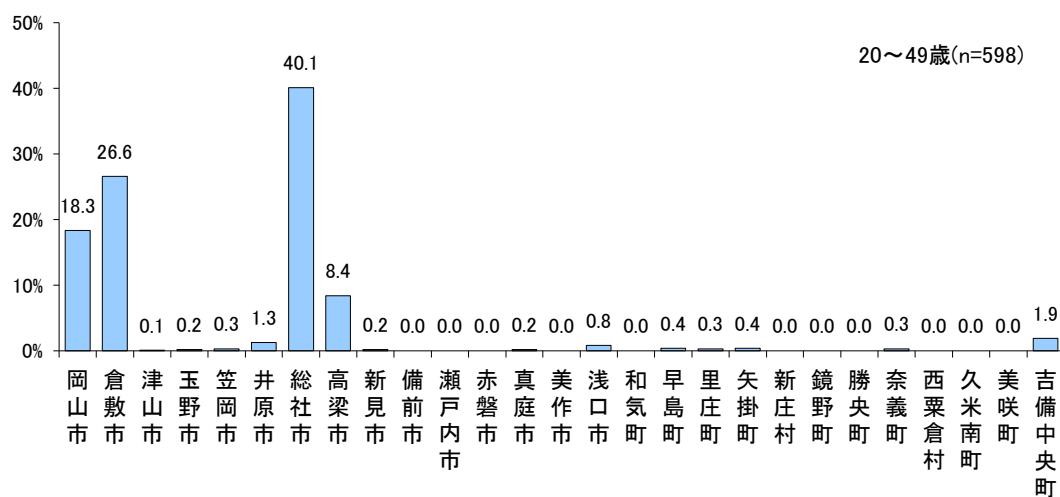
③ 就労状況



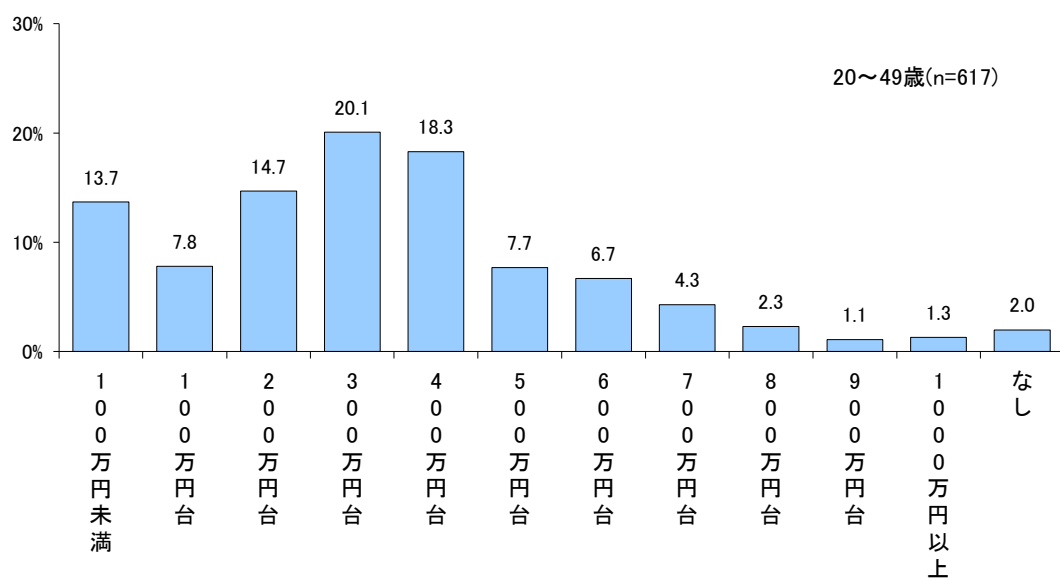
④ 配偶者の状況



⑤ 就業地

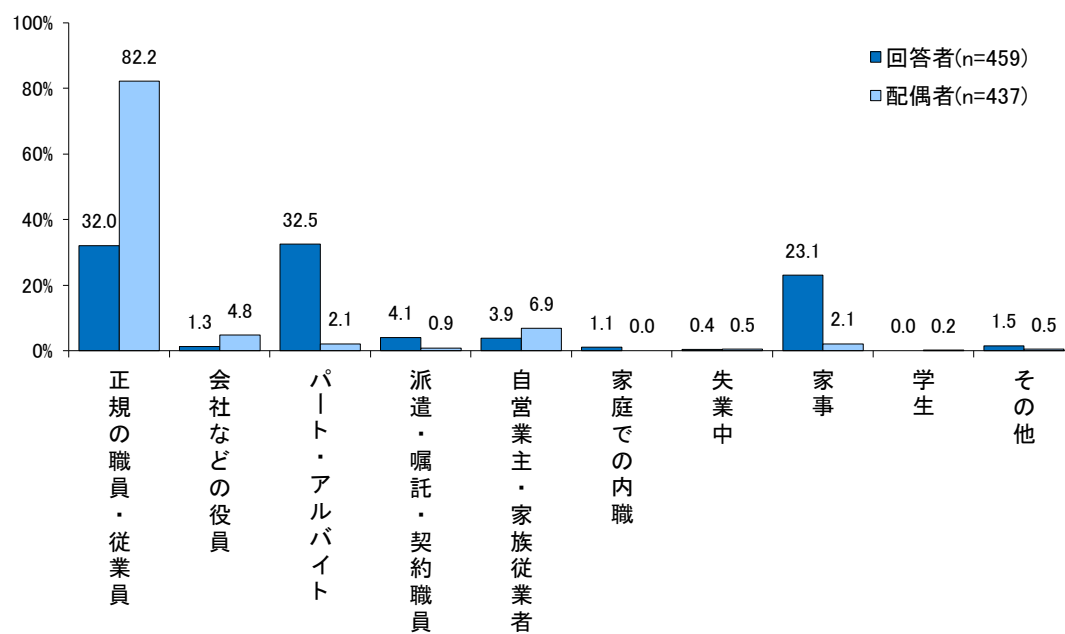


⑥ 昨年の年収(税込)



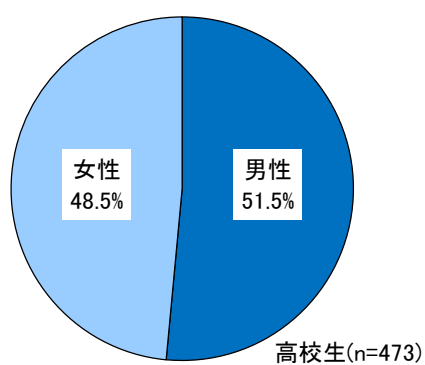
(2) 第二群(子どものいる世帯)

① 就労状況



(3) 第三群(高校生)

① 性別



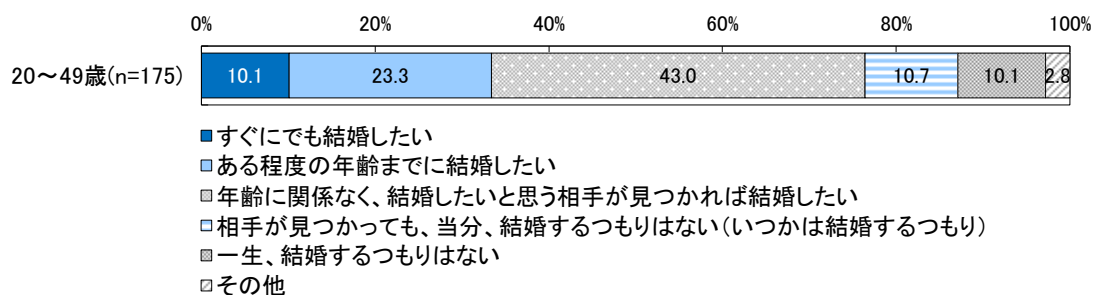
2 結婚について

(1) 結婚への希望

問4（第一群（20～49歳））・問2（第三群（高校生））

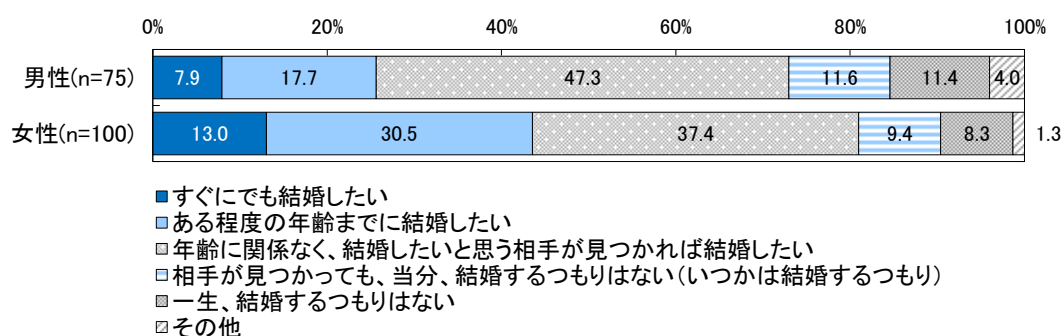
あなたご自身の結婚についてどのように考えますか。結婚されたことがある方は、未婚のときを思い出してご回答ください。（○印は1つだけ）

【結婚への希望（20～49歳・未婚者）】



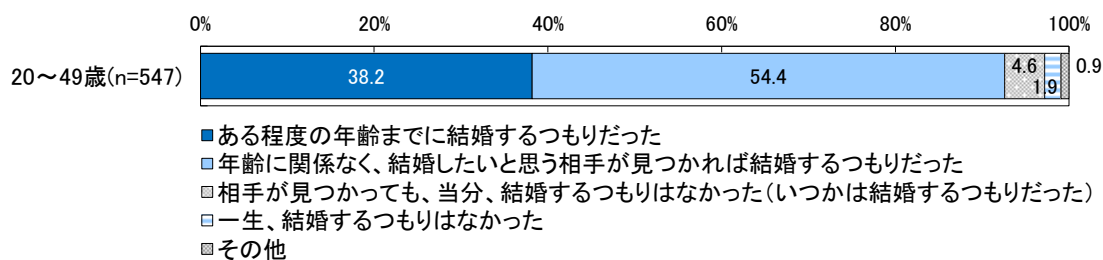
結婚への希望について、20～49歳の未婚者では、「年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい」と回答した割合が43.0%、「ある程度の年齢までには結婚したい」と回答した割合が23.3%となっている。

【結婚への希望（20～49歳・未婚者（性別））】



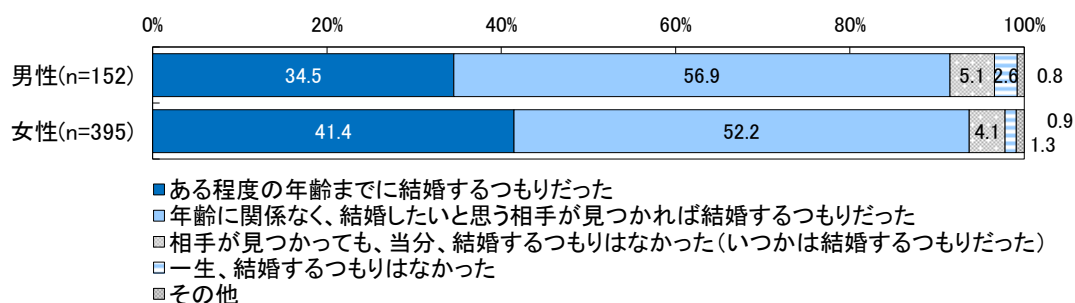
性別にみると、20～49歳の未婚者では、「ある程度の年齢までに結婚したい」と回答した割合は、女性で30.5%、「年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい」と回答した割合は、男性で47.3%となっている。

【結婚への希望（20～49 歳・結婚したことがある者）】



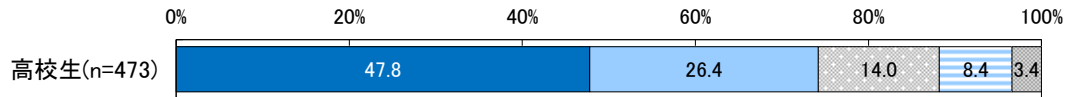
20～49 歳の結婚したことがある者では、「年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚するつもりだった」と回答した割合が 54.4%、「ある程度の年齢までに結婚するつもりだった」と回答した割合が 38.2%となっている。

【結婚への希望（20～49 歳・結婚したことがある者（性別））】



性別にみると、20～49 歳の結婚したことがある者では、「ある程度の年齢までに結婚するつもりだった」と回答した割合は、女性で 41.4%となっている。

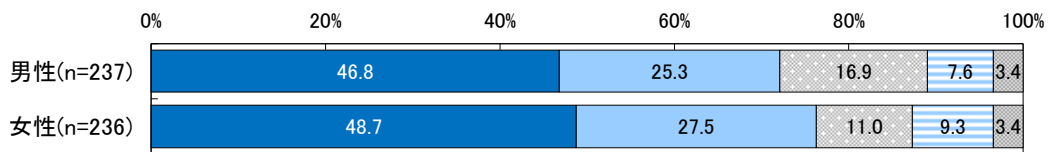
【結婚への希望（高校生）】



- ある程度の年齢までに結婚したい
- 年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい
- 相手が見つかったとしても、仕事や自分の生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない(いつかは結婚したい)
- 一生、結婚したいとは思わない
- その他

高校生では「ある程度の年齢までに結婚したい」と回答した割合が 47.8%、「年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい」と回答した割合が 26.4%となっている。

【結婚への希望（高校生（性別））】



- ある程度の年齢までに結婚したい
- 年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい
- 相手が見つかったとしても、仕事や自分の生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない(いつかは結婚したい)
- 一生、結婚したいとは思わない
- その他

性別にみると、高校生では「ある程度の年齢までに結婚したい」と回答した割合は、男女ともに 4 割台となっている。

また、「相手が見つかったとしても、仕事や自分の生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない（いつかは結婚したい）」と回答した割合は、男性で 16.9%となっている。

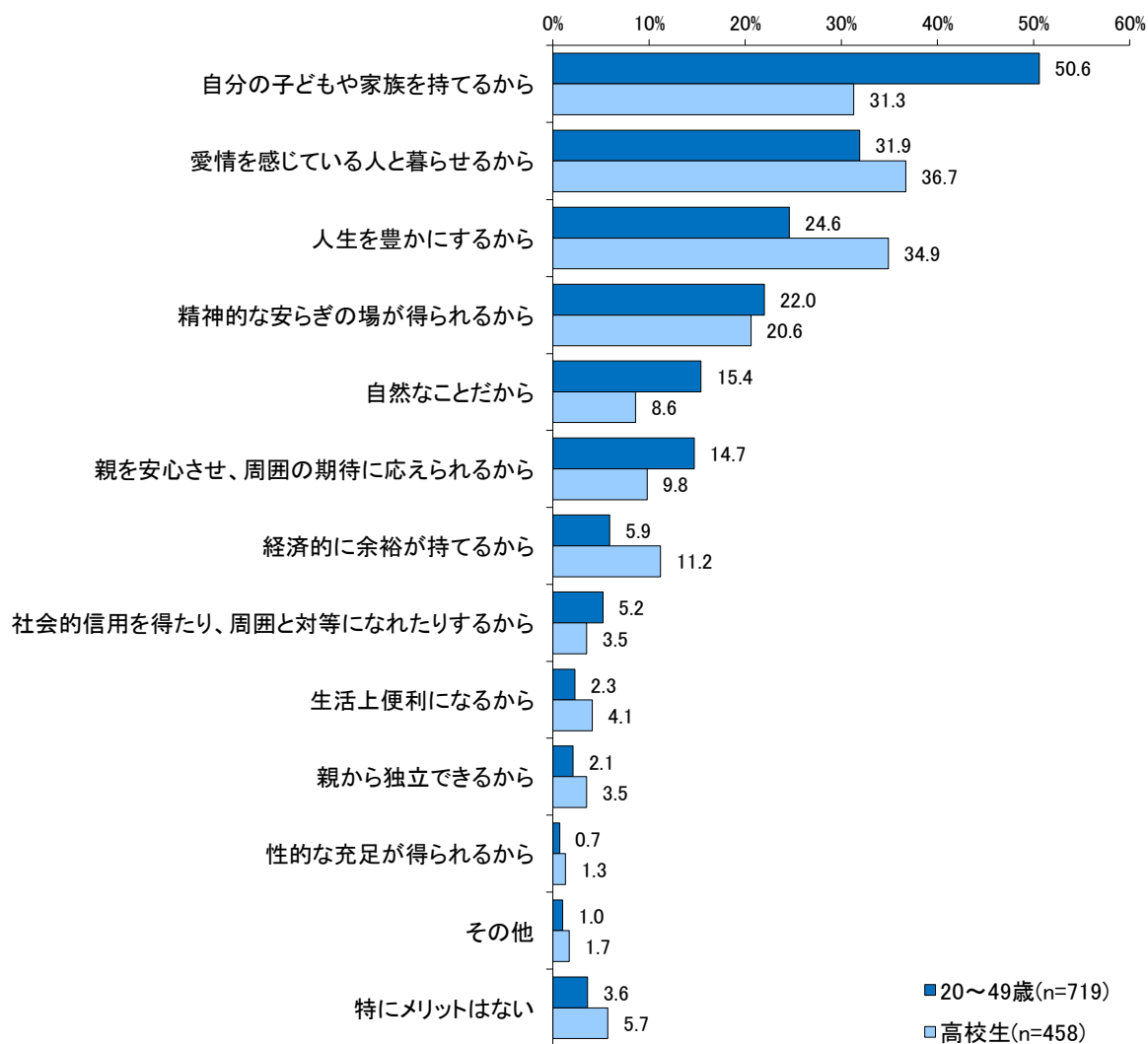
(2) 結婚したいと思う理由

問5（第一群（20～49歳））・問3（第三群（高校生））

結婚したいと思う（思った）理由や結婚のメリットをどのように考えられますか。

（○印は2つまで）

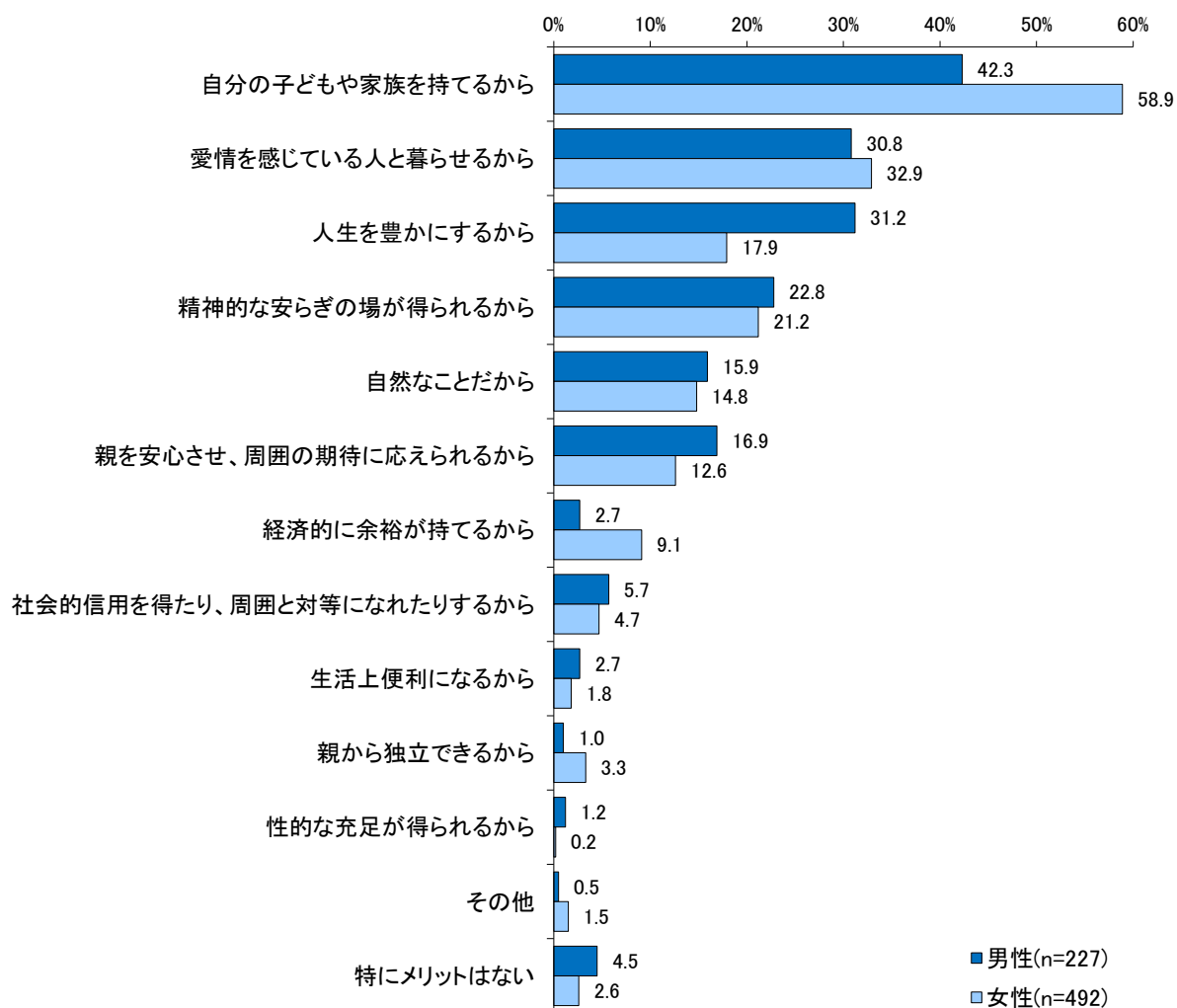
【結婚したいと思う理由（20～49歳・高校生）】



結婚したいと思う理由について、20～49歳では「自分の子どもや家族を持てるから」と回答した割合が50.6%と最も高く、次いで「愛情を感じている人と暮らせるから」（31.9%）、「人生を豊かにするから」（24.6%）となっている。

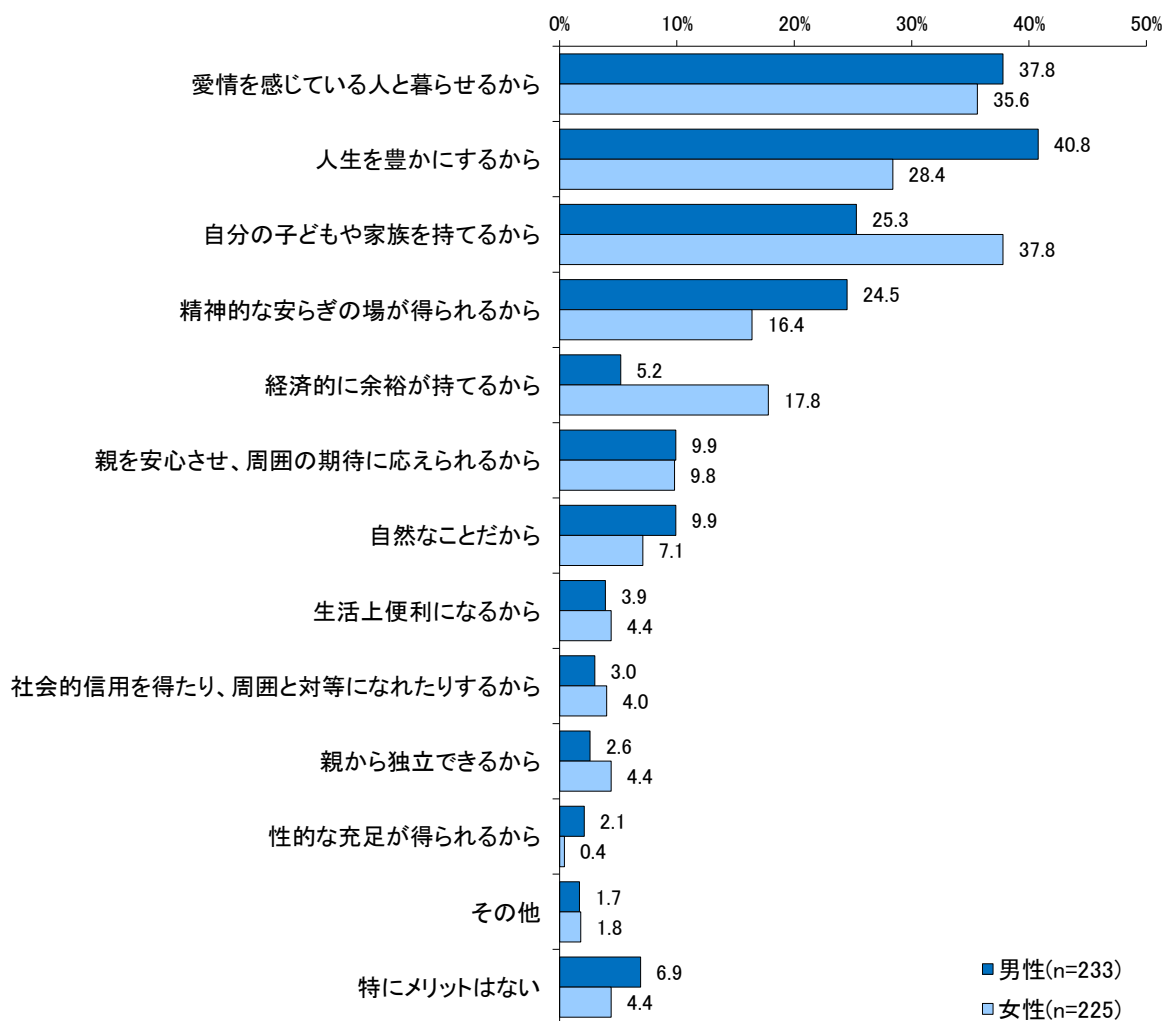
高校生では「愛情を感じている人と暮らせるから」と回答した割合が36.7%と最も高く、「人生を豊かにするから」（34.9%）、「自分の子どもや家族を持てるから」（31.3%）が続いている。

【結婚したいと思う理由（20～49 歳（性別））】



性別にみると、20～49 歳では「自分の子どもや家族を持てるから」と回答した割合は、女性で 58.9%となっている。

【結婚したいと思う理由（高校生（性別））】



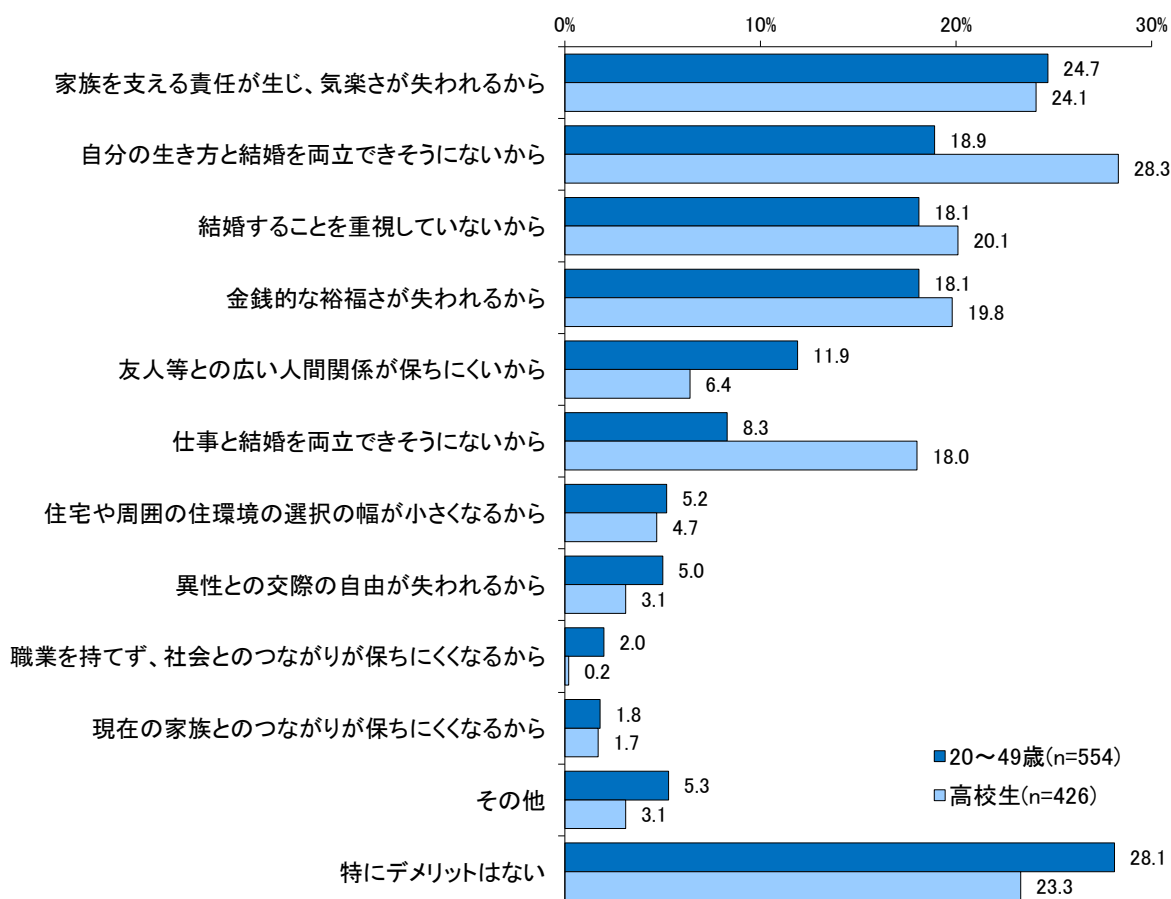
性別にみると、高校生では「人生を豊かにするから」と回答した割合は、男性で40.8%、「自分の子どもや家族を持てるから」と回答した割合は、女性で37.8%となっている。

(3) 結婚するつもりはない理由

問6（第一群（20～49歳））・問4（第三群（高校生））

結婚するつもりはない（結婚するつもりはなかった）理由や、結婚のデメリットをどのように考えられますか。（○印は2つまで）

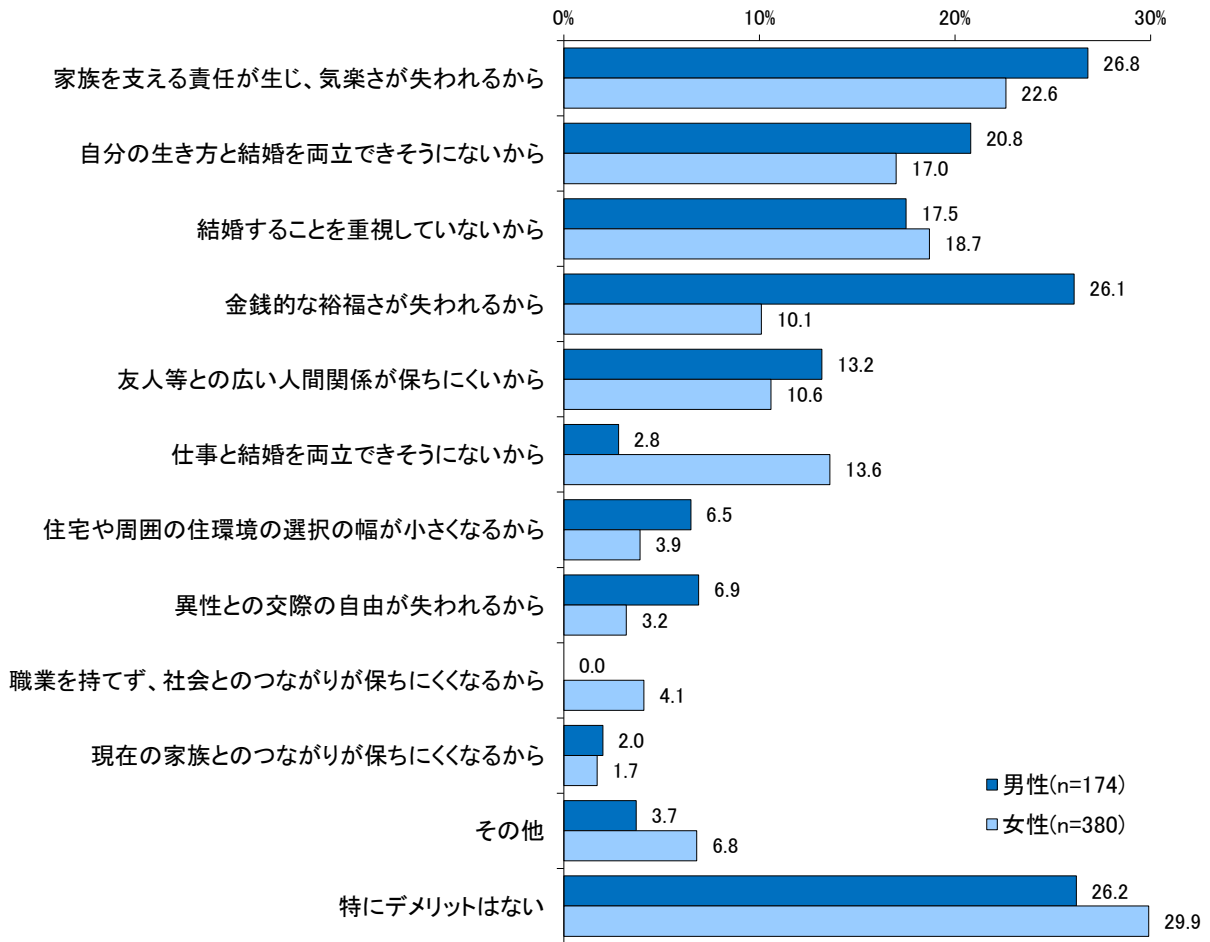
【結婚するつもりはない理由（20～49歳・高校生）】



結婚するつもりはない理由について、20～49歳では「家族を支える責任が生じ、気楽さが失われるから」と回答した割合が24.7%と最も高く、「自分の生き方と結婚を両立できそうにないから」(18.9%)、「結婚することを重視していないから」、「金銭的な裕福さが失われるから」(18.1%)が続いている。また、「特にデメリットはない」と回答した割合が28.1%となっている。

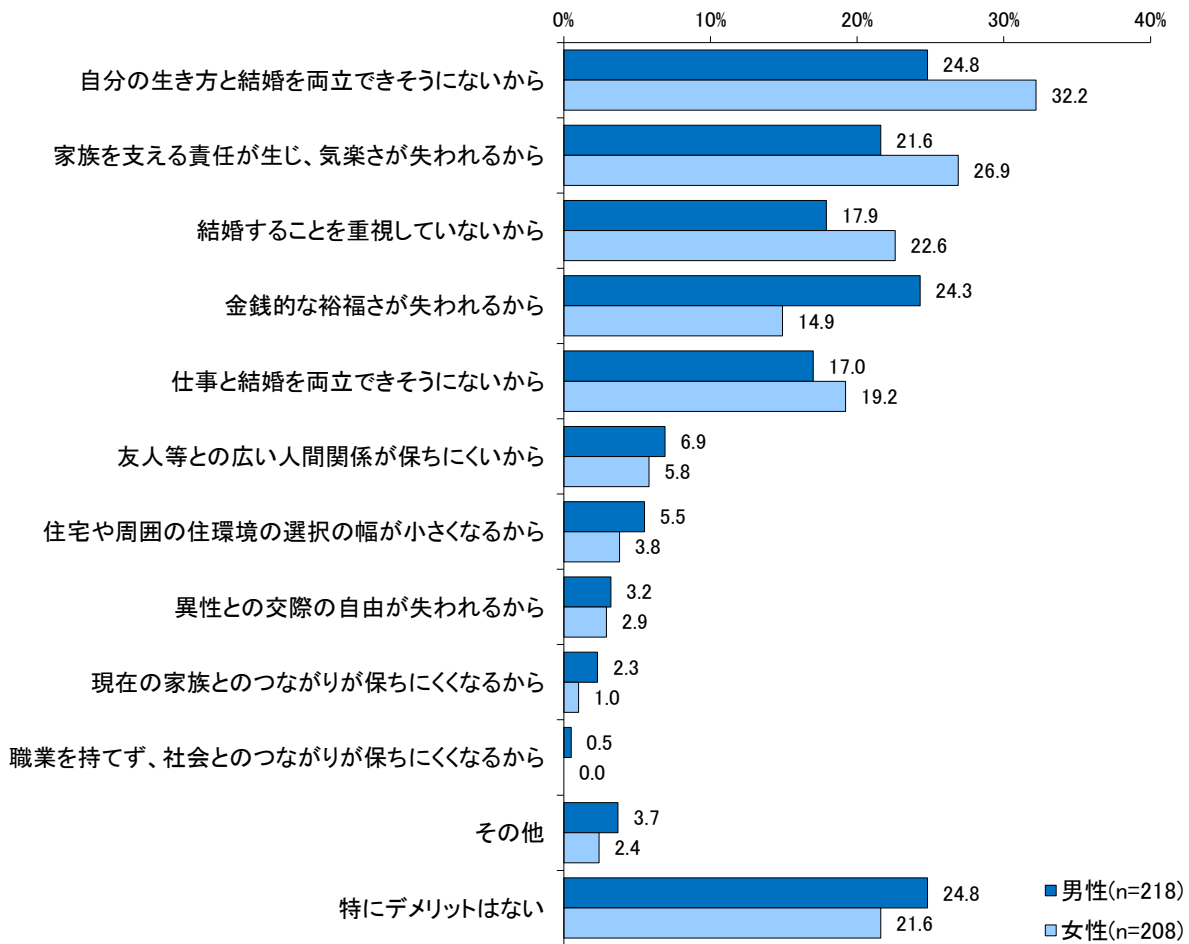
高校生では「自分の生き方と結婚を両立できそうにないから」と回答した割合が28.3%と最も高く、「家族を支える責任が生じ、気楽さが失われるから」(24.1%)、「結婚することを重視していないから」(20.1%)、「金銭的な裕福さが失われるから」(19.8%)、「仕事と結婚を両立できそうにないから」(18.0%)が続いている。また、「特にデメリットはない」と回答した割合が23.3%となっている。

【結婚するつもりはない理由（20～49 歳（性別））】



性別にみると、20～49 歳では「金銭的な裕福さが失われるから」と回答した割合は、男性で 26.1%、「仕事と結婚を両立できそうにないから」と回答した割合は、女性で 13.6%となっている。

【結婚するつもりはない理由（高校生（性別））】



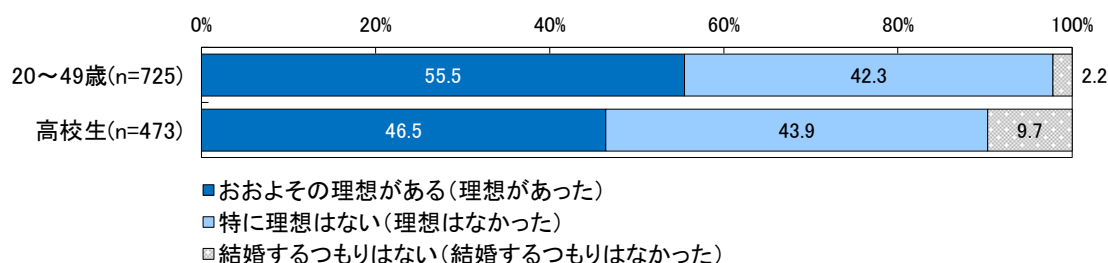
性別にみると、高校生では「自分の生き方と結婚を両立できそうにないから」と回答した割合は、女性で 32.2%、「金銭的な裕福さが失われるから」と回答した割合は、男性で 24.3%となっている。

(4) 理想とする結婚年齢の有無

問7（第一群（20～49歳））・問5（第三群（高校生））

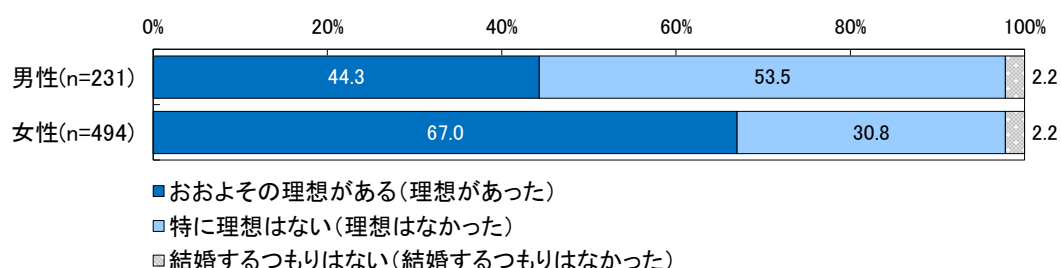
ご自身の結婚について理想と思う年齢がありますか。理想と思う年齢を過ぎた方や結婚されたことがある方は、理想があったかどうかをお聞かせください。（○印は1つだけ）

【理想とする結婚年齢の有無（20～49歳・高校生）】



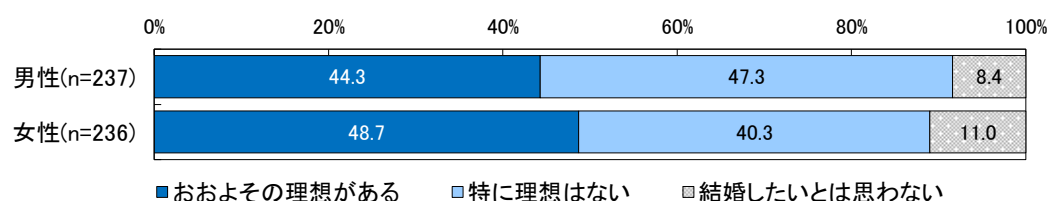
理想とする結婚年齢の有無について、「おおよその理想がある（理想があった）」と回答した割合は20～49歳で55.5%、高校生で46.5%、「特に理想はない（理想はなかった）」と回答した割合は20～49歳で42.3%、高校生で43.9%となっている。

【理想とする結婚年齢の有無（20～49歳（性別））】



性別にみると、20～49歳では「おおよその理想がある（理想があった）」と回答した割合は、女性で67.0%となっている。

【理想とする結婚年齢の有無（高校生（性別））】



性別にみると、高校生では「おおよその理想がある」と回答した割合は、男女ともに4割台となっている。

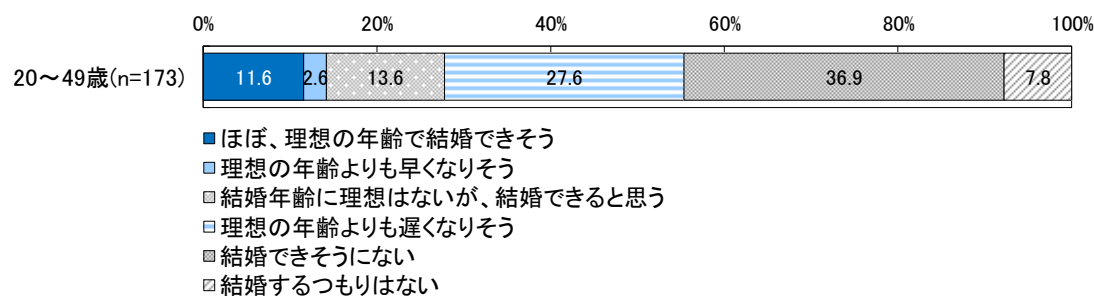
また、「特に理想はない」と回答した割合は、男性で47.3%となっている。

(5) 理想の結婚年齢に対する, 自身の結婚の見通し

問9 (第一群 (20~49 歳))・問7 (第三群 (高校生))

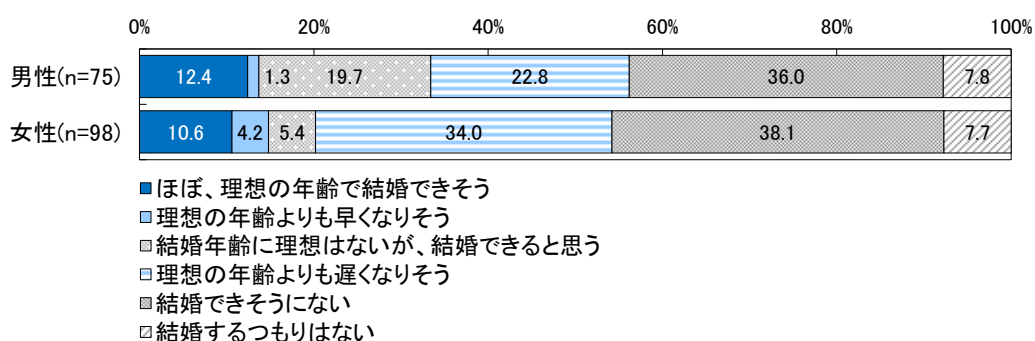
理想の結婚年齢に対する, ご自身の結婚の見通し(結婚されたことがある方は実現状況)をご回答ください。(○印は1つだけ)

【理想の結婚年齢に対する, 自身の結婚の見通し (20~49 歳・未婚者)】



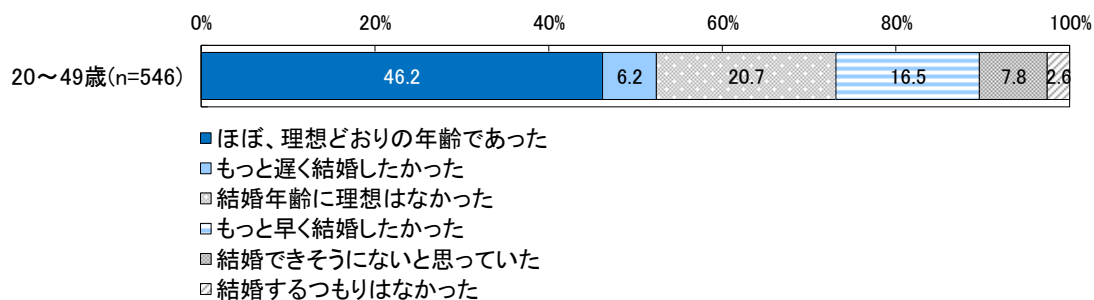
理想の結婚年齢に対する, 自身の結婚の見通しについて, 20~49 歳の未婚者では, 「結婚できそうにない」と回答した割合が 36.9%, 「理想の年齢よりも遅くなりそう」と回答した割合が 27.6%となっている。

【理想の結婚年齢に対する, 自身の結婚の見通し (20~49 歳・未婚者 (性別))】



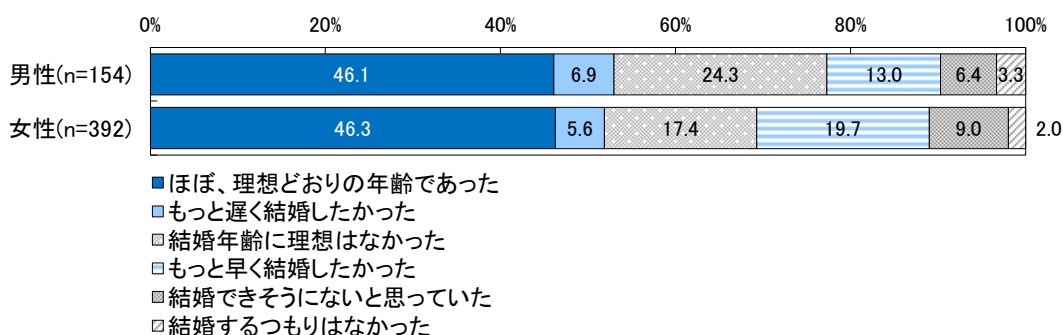
性別にみると, 20~49 歳の未婚者では, 「結婚年齢に理想はないが, 結婚できと思う」と回答した割合は, 男性で 19.7%, 「理想の年齢よりも遅くなりそう」と回答した割合は, 女性で 34.0%となっている。

【理想の結婚年齢に対する、自身の結婚の見通し（20～49 歳・結婚したことがある者）】



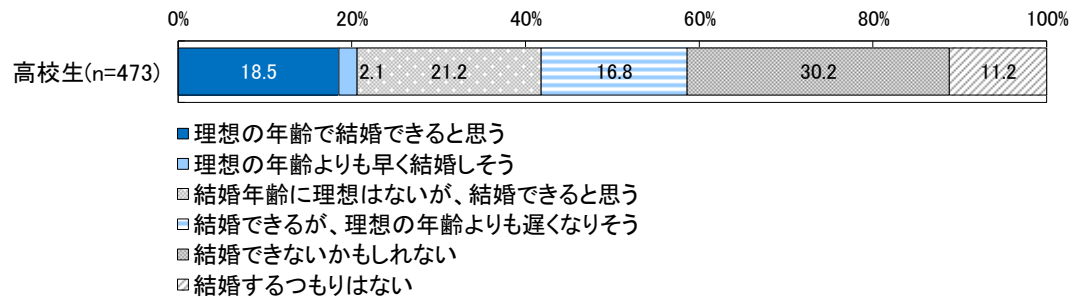
20～49 歳の結婚したことがある者では、「ほぼ、理想どおりの年齢であった」と回答した割合が 46.2%、「結婚年齢に理想はなかった」と回答した割合が 20.7%となっている。

【理想の結婚年齢に対する、自身の結婚の見通し（20～49 歳・結婚したことがある者（性別））】



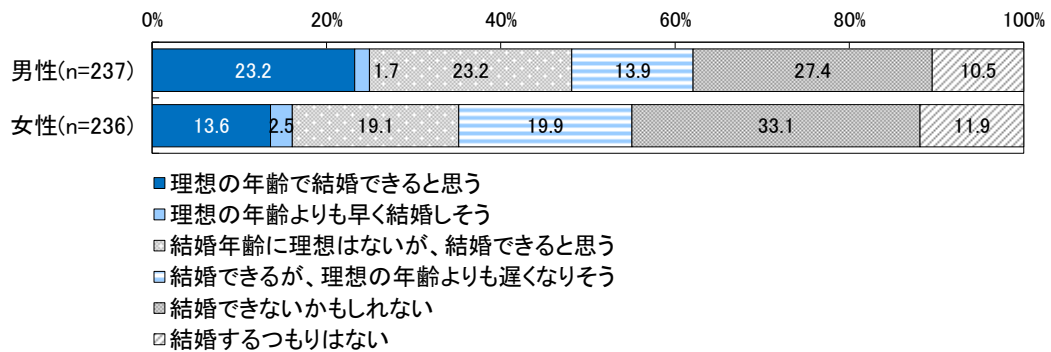
性別にみると、20～49 歳の結婚したことがある者では、「結婚年齢に理想はなかった」と回答した割合は、男性で 24.3%、「もっと早く結婚したかった」と回答した割合は、女性で 19.7%となっている。

【理想の結婚年齢に対する、自身の結婚の見通し（高校生）】



高校生では「結婚できないかもしれない」と回答した割合が 30.2%、「結婚年齢に理想はないが、結婚できると思う」と回答した割合が 21.2%となっている。

【理想の結婚年齢に対する、自身の結婚の見通し（高校生（性別））】



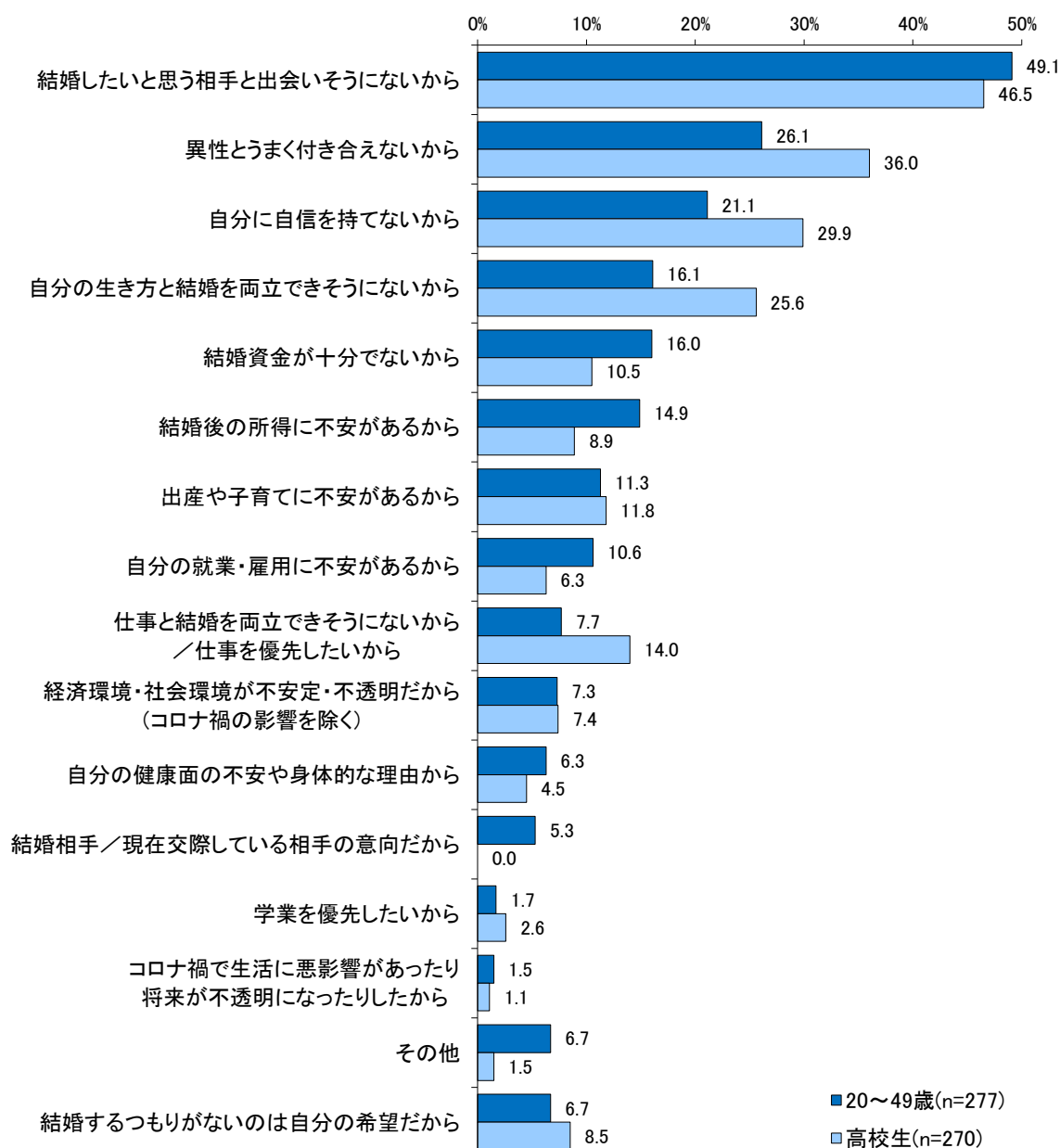
性別にみると、高校生では「結婚できないかもしれない」と回答した割合は、女性で 33.1%となっている。

「理想の年齢よりも遅くなりそう（もっと早く結婚したかった）」「結婚できそうにない（と思っていた）」「結婚するつもりはない（なかった）」と回答した人のみ回答

問 10（第一群（20～49 歳））・問 8（第三群（高校生））

「理想の年齢よりも遅くなりそう（もっと早く結婚したかった）」「結婚できそうにない（と思っていた）」「結婚するつもりはない（なかった）」と思う理由をご回答ください。（○印は3つまで）

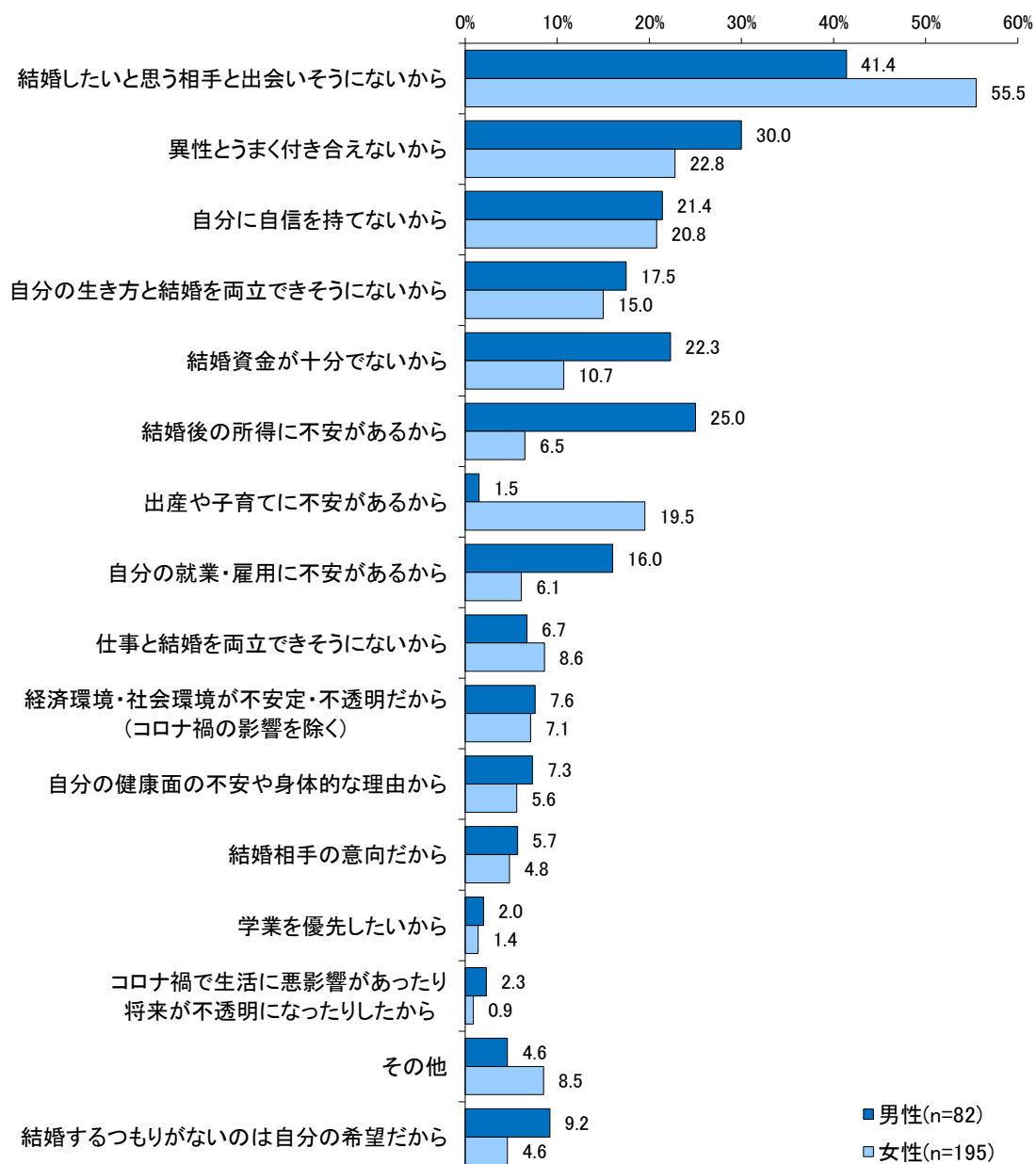
【結婚が遅くなりそう・できそうにない・するつもりがない理由（20～49 歳・高校生）】



結婚が遅くなりそう・できそうにない・するつもりがない理由について、20～49 歳では「結婚したいと思う相手と出会いそうにないから」と回答した割合が 49.1%と最も高く、「異性とうまく付き合えないから」(26.1%)、「自分に自信を持ってないから」(21.1%)が続いている。

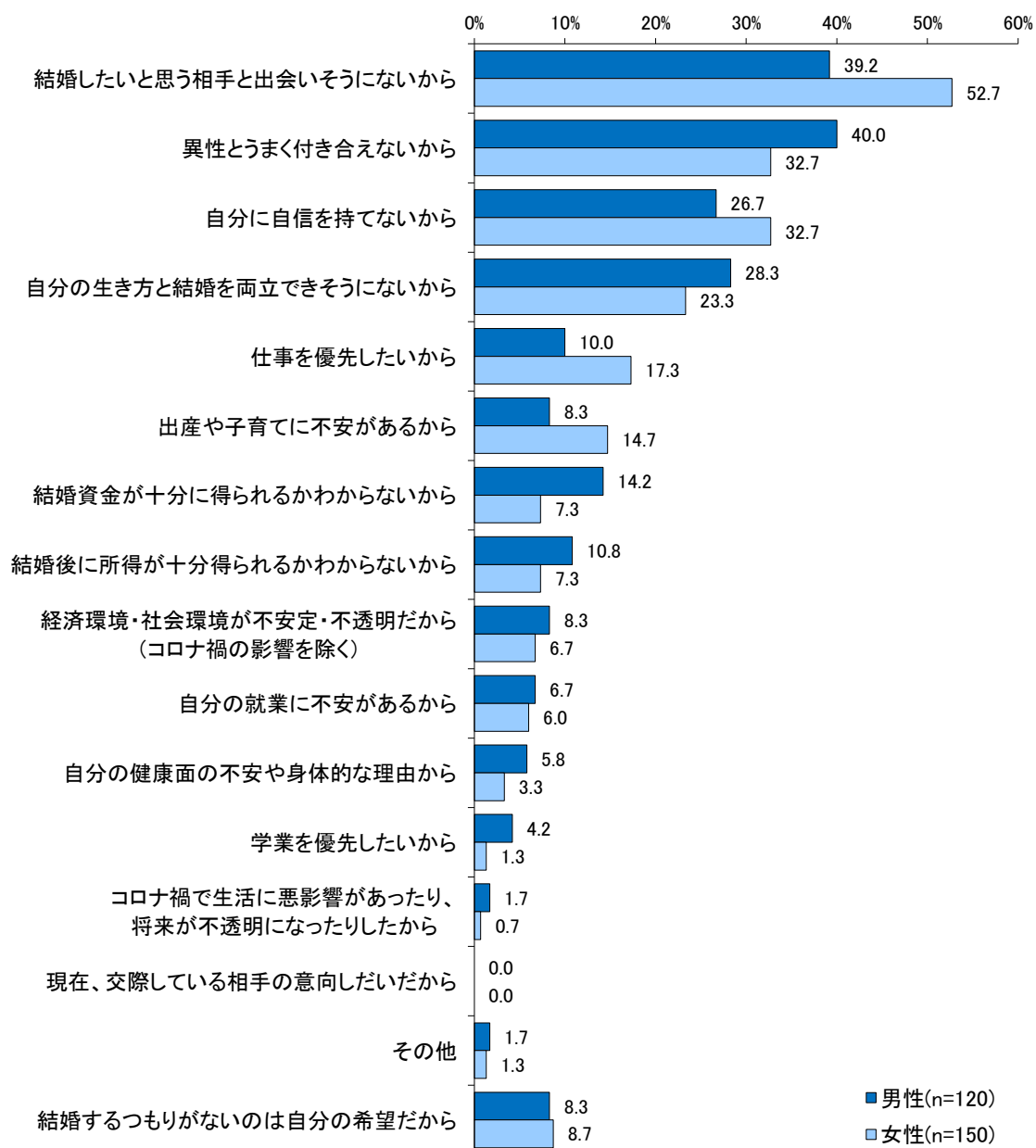
高校生では「結婚したいと思う相手と出会いそうにないから」と回答した割合が 46.5%と最も高く、「異性とうまく付き合えないから」(36.0%)、「自分に自信を持ってないから」(29.9%)、「自分の生き方と結婚を両立できそうにないから」(25.6%)が続いている。

【結婚が遅くなりそう・できそうにない・するつもりがない理由（20～49 歳（性別））】



性別にみると、20～49 歳では「結婚したいと思う相手と出会いそうにないから」と回答した割合は、女性で 55.5%、「結婚資金が十分でないから」、「結婚後の所得に不安があるから」と回答した割合は、男性で 2 割台となっている。

【結婚が遅くなりそう・できそうにない・するつもりがない理由（高校生（性別））】



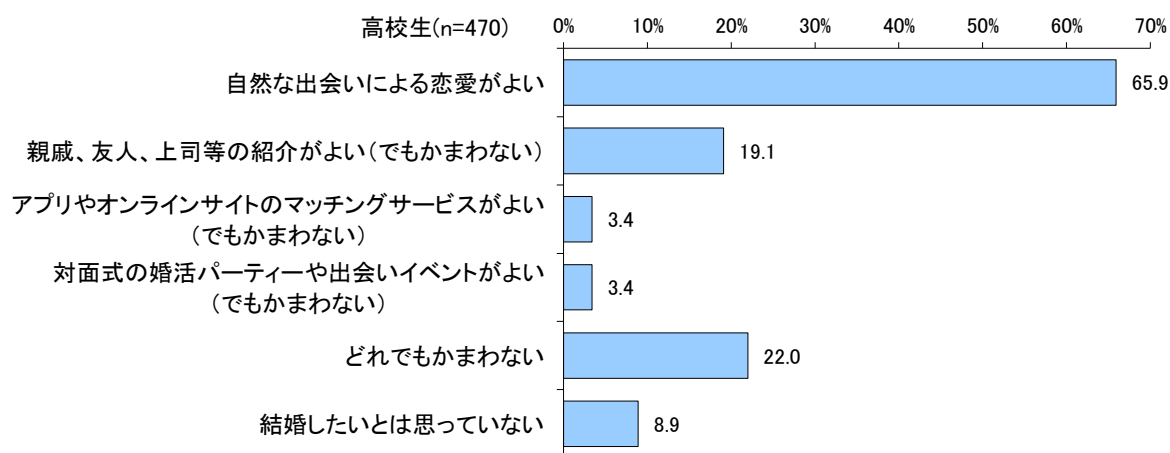
性別にみると、高校生では「結婚したいと思う相手と出会いそうにないから」と回答した割合は、女性で52.7%となっている。

(6) 結婚につながるような男女の出会いの場の理想

問9 (第三群 (高校生))

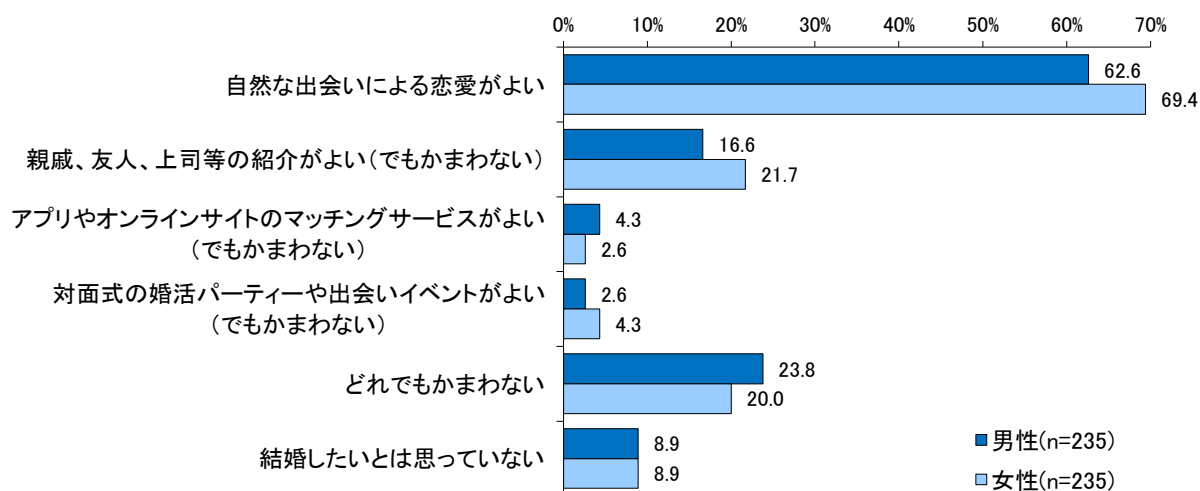
結婚につながるような男女の出会いについてどのように考えられますか。(〇印はいくつでも)

【結婚につながるような男女の出会いの場の理想 (高校生)】



結婚につながるような男女の出会いの場の理想について、「自然な出会いによる恋愛がよい」と回答した割合が 65.9%と最も高く、次いで「親戚、友人、上司等の紹介がよい(でもかまわない)」(19.1%) となっている。

【結婚につながるような男女の出会いの場の理想 (高校生 (性別))】



性別にみると、「自然な出会いによる恋愛がよい」と回答した割合は、男女ともに6割台となっている。

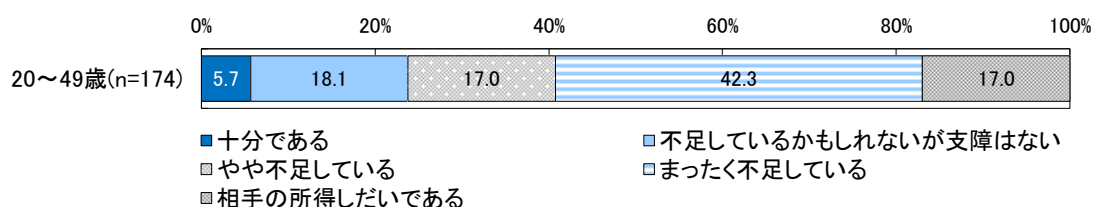
(7) 現在の経済状況

独身で働いている人のみ回答

問 11（第一群（20～49 歳））

結婚生活（子育てを含む）を送るとしたら、現在のあなたの所得についてどのように考えられますか。（○印は 1 つだけ）

【現在の経済状況（20～49 歳）】



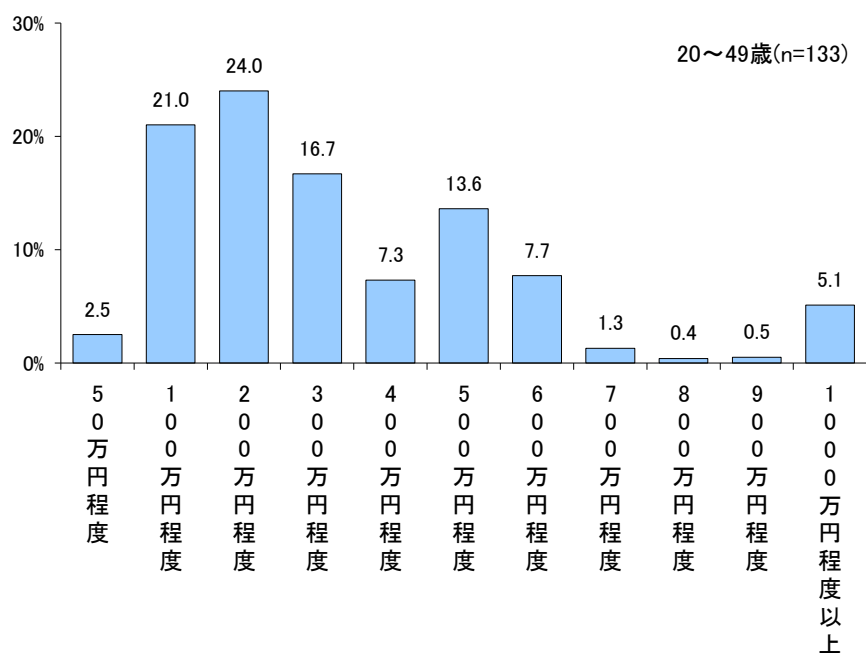
現在の経済状況について、『十分である』（「十分である」＋「不足しているかもしれないが支障はない」）と回答した割合が 23.8%，『不足している』（「まったく不足している」＋「やや不足している」）と回答した割合が 59.3%となっている。

「不足しているかもしれないが支障はない」「やや不足している」「まったく不足している」と回答した人のみ回答

問 12（第一群（20～49 歳））

年収（税込）で、あといくらあれば結婚生活（子育てを含む）に十分と考えられますか。（○印は 1 つだけ）

【結婚生活（子育てを含む）に必要な年収の追加金額（20～49 歳）】



結婚生活（子育てを含む）に必要な年収の追加金額について、「200 万円程度」と回答した割合が 24.0%と最も高く、次いで「100 万円程度」（21.0%）となっている。

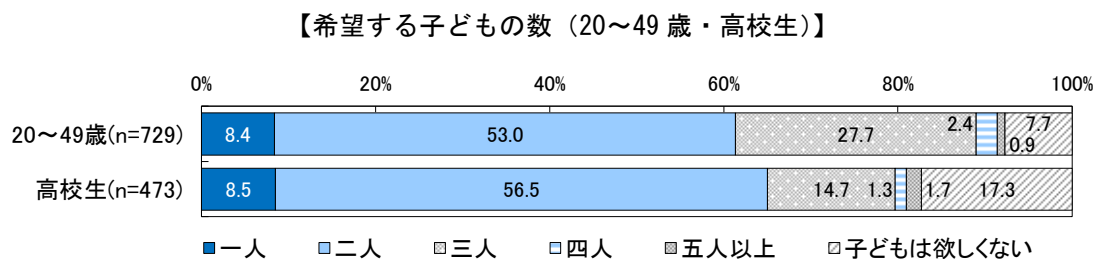
3 子どもを持つことについて

(1) 希望する子どもの数

問 13（第一群（20～49 歳））・問 10（第三群（高校生））

希望する子どもの数は何人ですか。（子育て中の方は、既にいるお子さんの数を含みます）

（○印は 1 つだけ）



希望する子どもの数について、「二人」と回答した割合は 20～49 歳で 53.0%, 高校生で 56.5%, 「三人」と回答した割合は 20～49 歳で 27.7%, 高校生で 14.7%となっている。

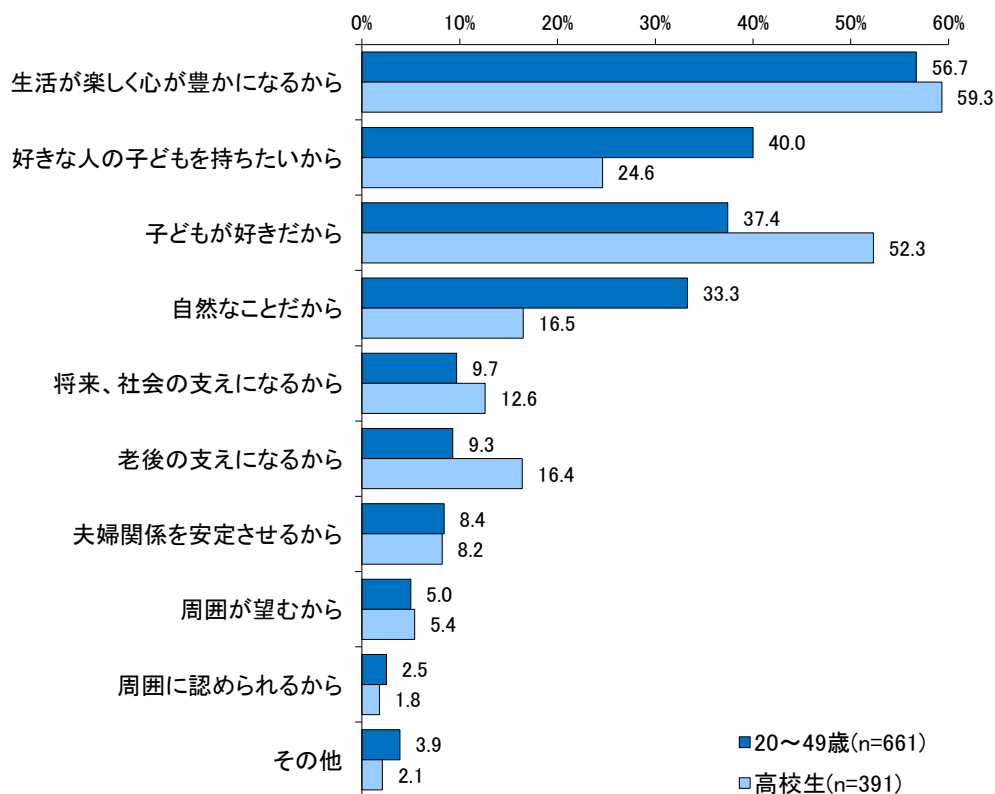
(2) 子どもが欲しいと思う理由

「一人以上」と回答した人のみ回答

問 14（第一群（20～49 歳））・問 11（第三群（高校生））

子どもが欲しいと思う（思った）理由はどのようなことでしょうか。（○印は3つまで）

【子どもが欲しいと思う理由（20～49 歳・高校生）】



子どもが欲しいと思う理由について、20～49 歳では「生活が楽しく心が豊かになるから」と回答した割合が 56.7%と最も高く、「好きな人の子どもを持ちたいから」(40.0%)、「子どもが好きだから」(37.4%)、「自然なことだから」(33.3%)が続いている。

高校生では「生活が楽しく心が豊かになるから」と回答した割合が 59.3%と最も高く、次いで「子どもが好きだから」(52.3%)となっている。

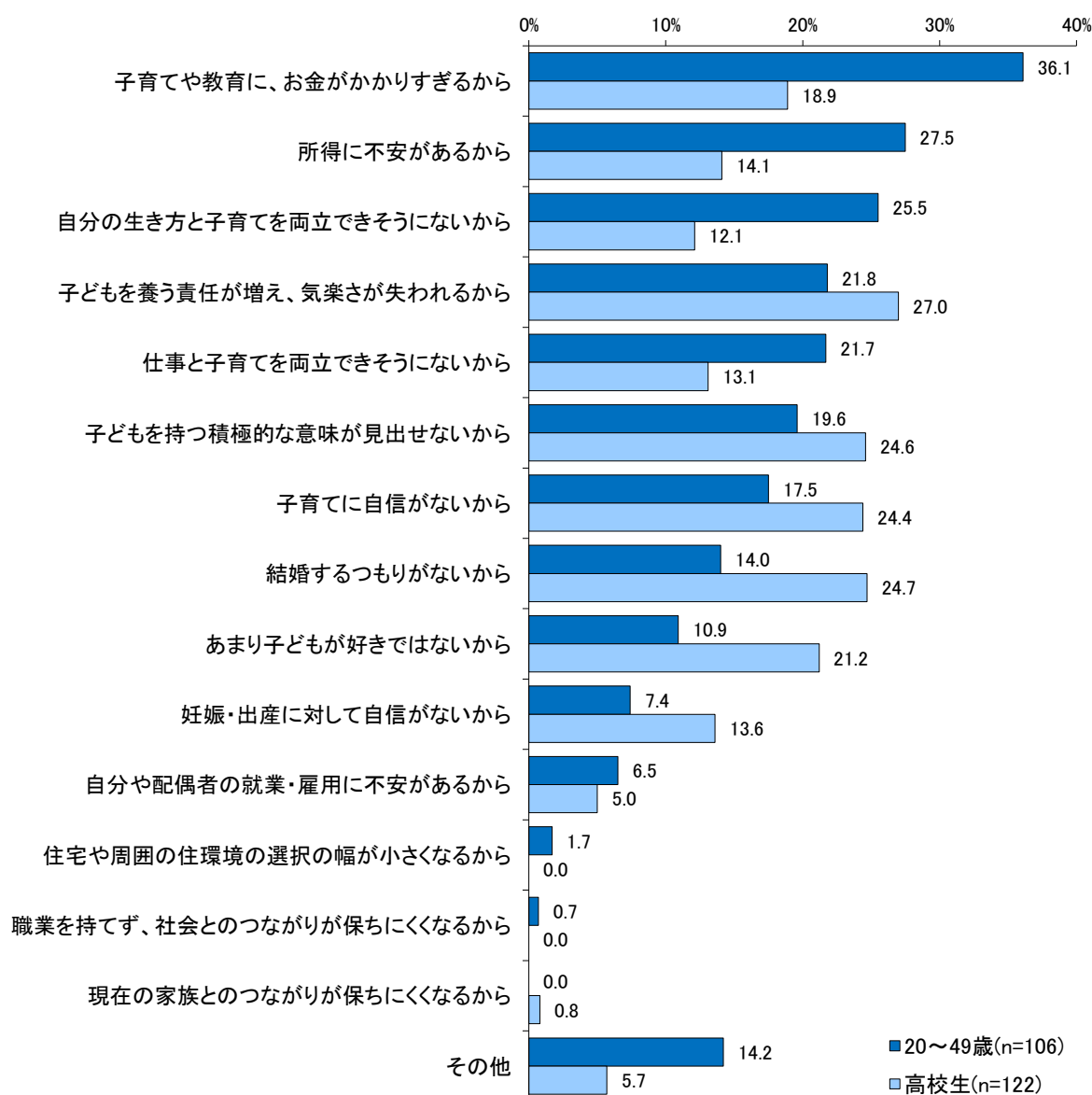
(3) 子どもは欲しくない、または希望する子どもの数が一人である理由

希望する子どもの数が「一人」または「子どもは欲しくない」と回答した人のみ回答

問 15（第一群（20～49 歳））・問 12（第三群（高校生））

子どもは欲しくない、または希望する子どもの数が一人である理由はどのようなことでしょうか。（○印は3つまで）

【子どもは欲しくない、または希望する子どもの数が一人である理由（20～49 歳・高校生）】



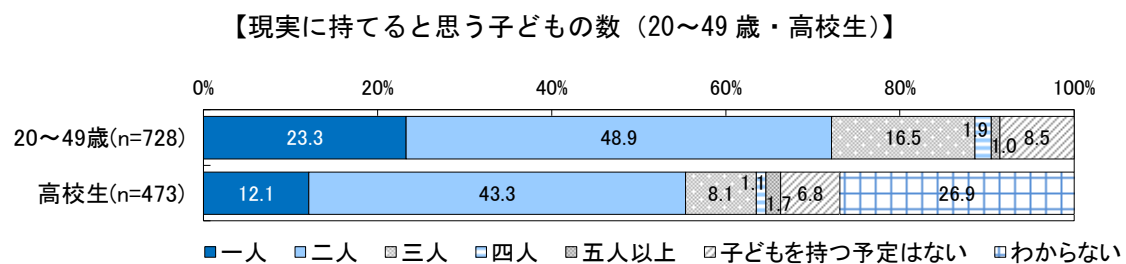
子どもは欲しくない、または希望する子どもの数が一人である理由について、20～49 歳では「子育てや教育に、お金がかかりすぎるから」と回答した割合が 36.1%と最も高く、「所得に不安があるから」(27.5%)、「自分の生き方と子育てを両立できそうにないから」(25.5%)が続いている。

高校生では「子どもを養う責任が増え、気楽さが失われるから」と回答した割合が 27.0%と最も高く、「結婚するつもりがないから」(24.7%)、「子どもを持つ積極的な意味が見出せないから」(24.6%)、「子育てに自信がないから」(24.4%)が続いている。

(4) 現実に持てると思う子どもの数

問 16（第一群（20～49 歳））・問 13（第三群（高校生））

希望とは別に，現実に持てると思う子どもの数は何人ですか。（○印は 1 つだけ）



現実に持てると思う子どもの数について，「二人」と回答した割合は 20～49 歳で 48.9%，高校生で 43.3%，「一人」と回答した割合は 20～49 歳で 23.3%，高校生で 12.1%となっている。

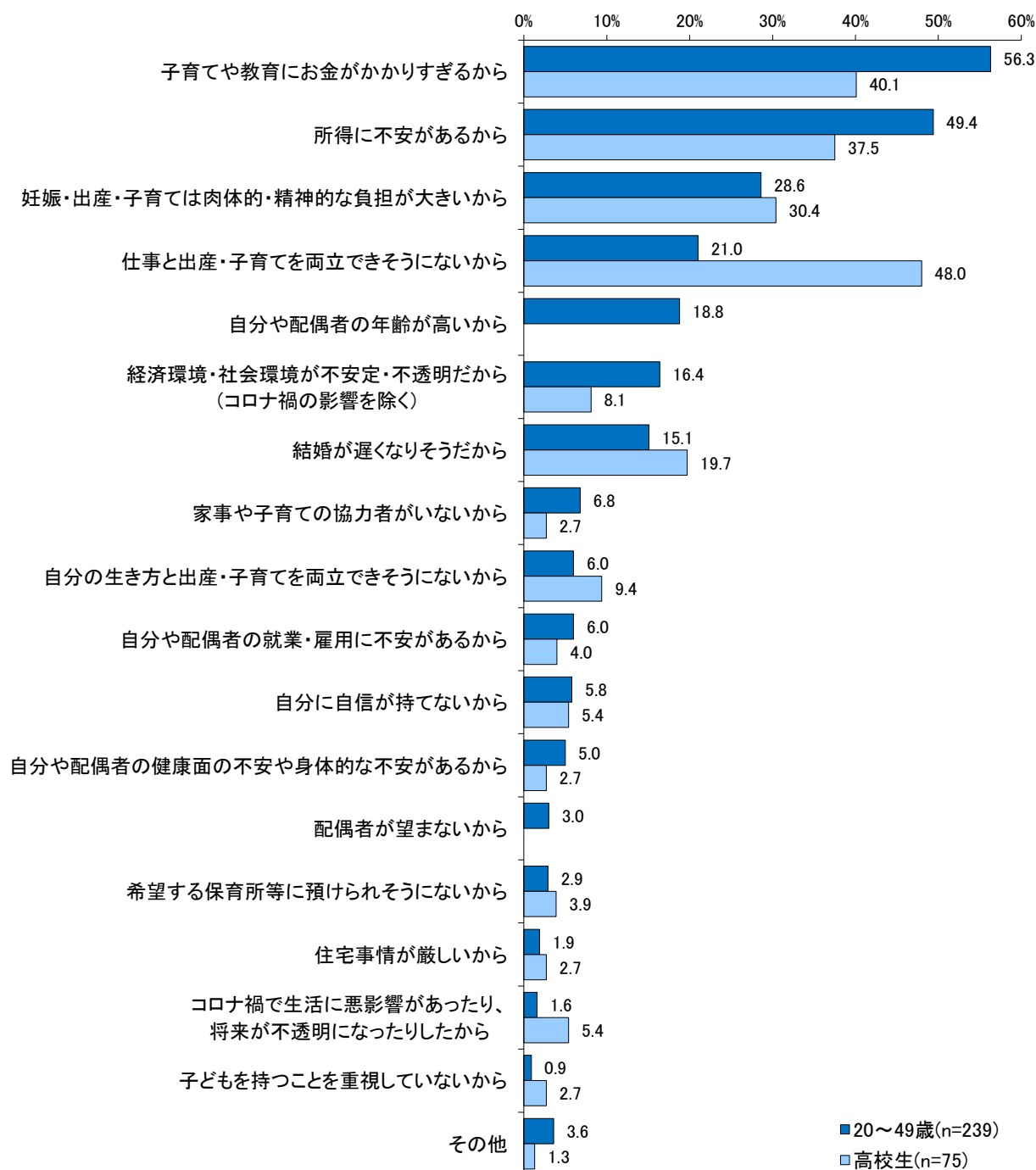
(5) 希望の子どもの数より少ない理由

現実に持てると思う子どもの数が希望の子どもの数より少ない人のみ回答

問 17（第一群（20～49 歳））・問 14（第三群（高校生））

希望の子ども数より少ない理由はどのようなことでしょうか。（○印は3つまで）

【希望の子どもの数より少ない理由（20～49 歳・高校生）】



希望の子どもの数より少ない理由について、20～49 歳では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答した割合が 56.3%と最も高く、「所得に不安があるから」(49.4%)、「妊娠・出産・子育ては肉体的・精神的な負担が大きいから」(28.6%)が続いている。

高校生では「仕事と出産・子育てを両立できそうにないから」と回答した割合が 48.0%と最も高く、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(40.1%)、「所得に不安があるから」(37.5%)が続いている。

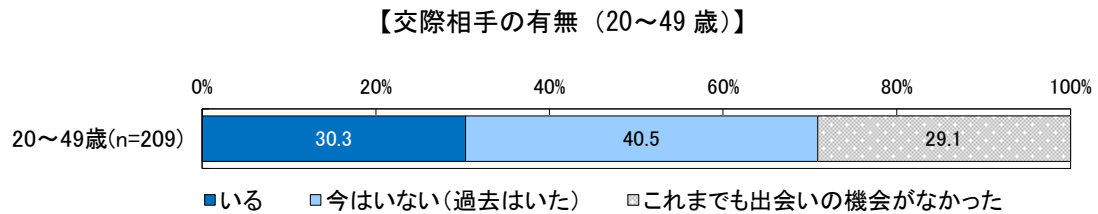
4 男女の出会いについて

(1) 交際相手の有無

独身の人のみ回答

問 18 (第一群 (20～49 歳))

現在、交際している異性の方はいますか。(○印は 1 つだけ)



交際相手の有無について、「いる」と回答した割合が 30.3%、「今はいない(過去はいた)」と回答した割合が 40.5%、「これまでも出会いの機会がなかった」と回答した割合が 29.1%となっている。

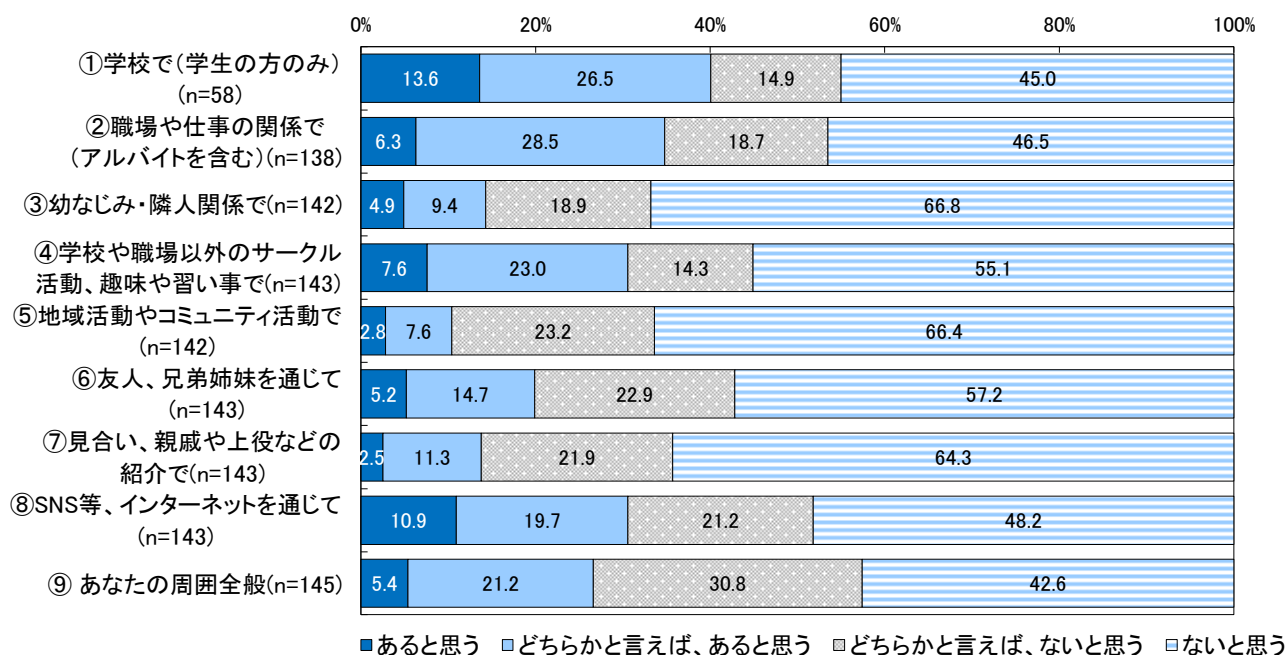
(2) 出会いの場について

「今はいない（過去はいた）」「これまでも出会いの機会がなかった」と回答した独身の人のみ回答

問 20（第一群（20～49 歳））

あなたの周囲では、交際や結婚につながるような異性との出会いはありますか。以下の①から⑨の項目それぞれについて、右の選択肢の中から 1 つずつ選んで○印を付けてください。

【出会いの場について（20～49 歳）】



出会いの場について、「①学校で」、「②職場や仕事の関係で（アルバイトを含む）」、「④学校や職場以外のサークル活動、趣味や習い事で」、「⑧SNS等、インターネットを通じて」で『ある』（「あると思う」＋「どちらかと言えば、あると思う」）と回答した割合は、3～4割台となっている。

一方、「③幼なじみ・隣人関係で」、「⑤地域活動やコミュニティ活動で」、「⑥友人、兄弟姉妹を通じて」、「⑦見合い、親戚や上役などの紹介で」で『ない』（「ないと思う」＋「どちらかと言えば、ないと思う」）と回答した割合は、8割台となっている。

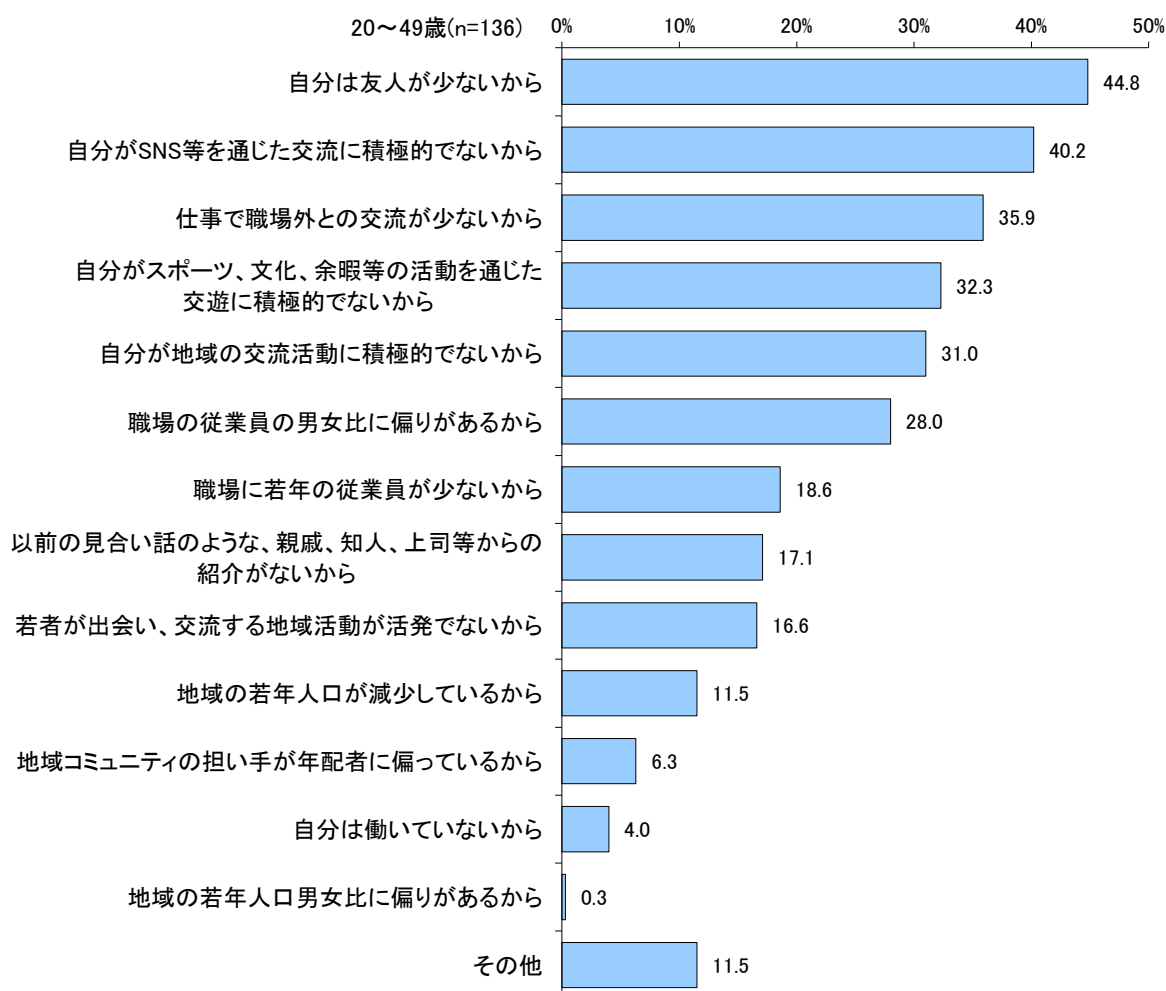
(3) 出会いの場がないと思う理由

出会いの場について「どちらかと言えば、ないと思う」「ないと思う」と1つでも回答した人のみ回答

問 21 (第一群 (20～49 歳))

「ないと思う」のはどのような理由からでしょうか。(○印はいくつでも)

【出会いの場がないと思う理由 (20～49 歳)】



出会いの場がないと思う理由について、「自分は友人が少ないから」と回答した割合が 44.8% と最も高く、「自分がSNS等を通じた交流に積極的でないから」(40.2%)、「仕事で職場外との交流が少ないから」(35.9%)、「自分がスポーツ、文化、余暇等の活動を通じた交遊に積極的でないから」(32.3%)、「自分が地域の交流活動に積極的でないから」(31.0%)、「職場の従業員の男女比に偏りがあるから」(28.0%)が続いている。

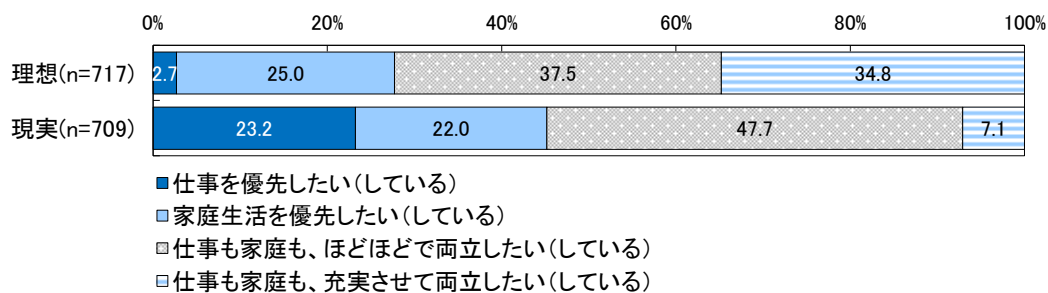
5 男女の役割分担やワークライフバランスについて

(1) 仕事と家庭生活(子育てを含む)について

問 26 (第一群 (20～49 歳))・問 19 (第三群 (高校生))

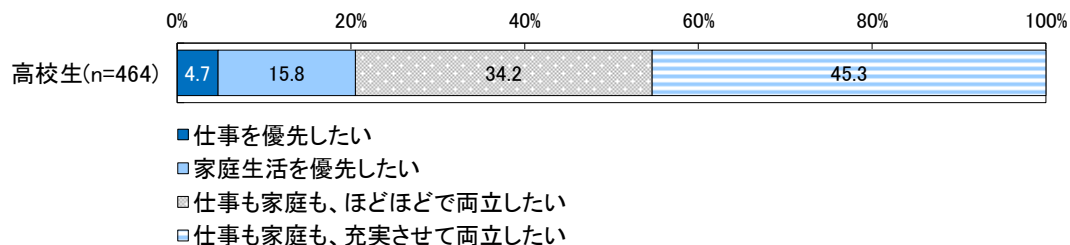
仕事と家庭生活(子育てを含む)について、これらの優先度の理想と現実をどのように考えられますか。独身の方は、結婚したときの予想をご回答ください。(○印はそれぞれ1つだけ)

【仕事と家庭生活(子育てを含む)について(20～49 歳)】



仕事と家庭生活(子育てを含む)について、20～49 歳では「仕事も家庭も、充実させて両立したい(している)」と回答した割合は理想で 34.8%，現実で 7.1%となっており、理想が現実よりも高くなっている。

【仕事と家庭生活(子育てを含む)について(高校生)】



高校生では「仕事も家庭も、充実させて両立したい」と回答した割合が 45.3%となっている。

6 結婚と住まいについて

(1) 結婚後に生活を始めた住居地の地域特性の評価

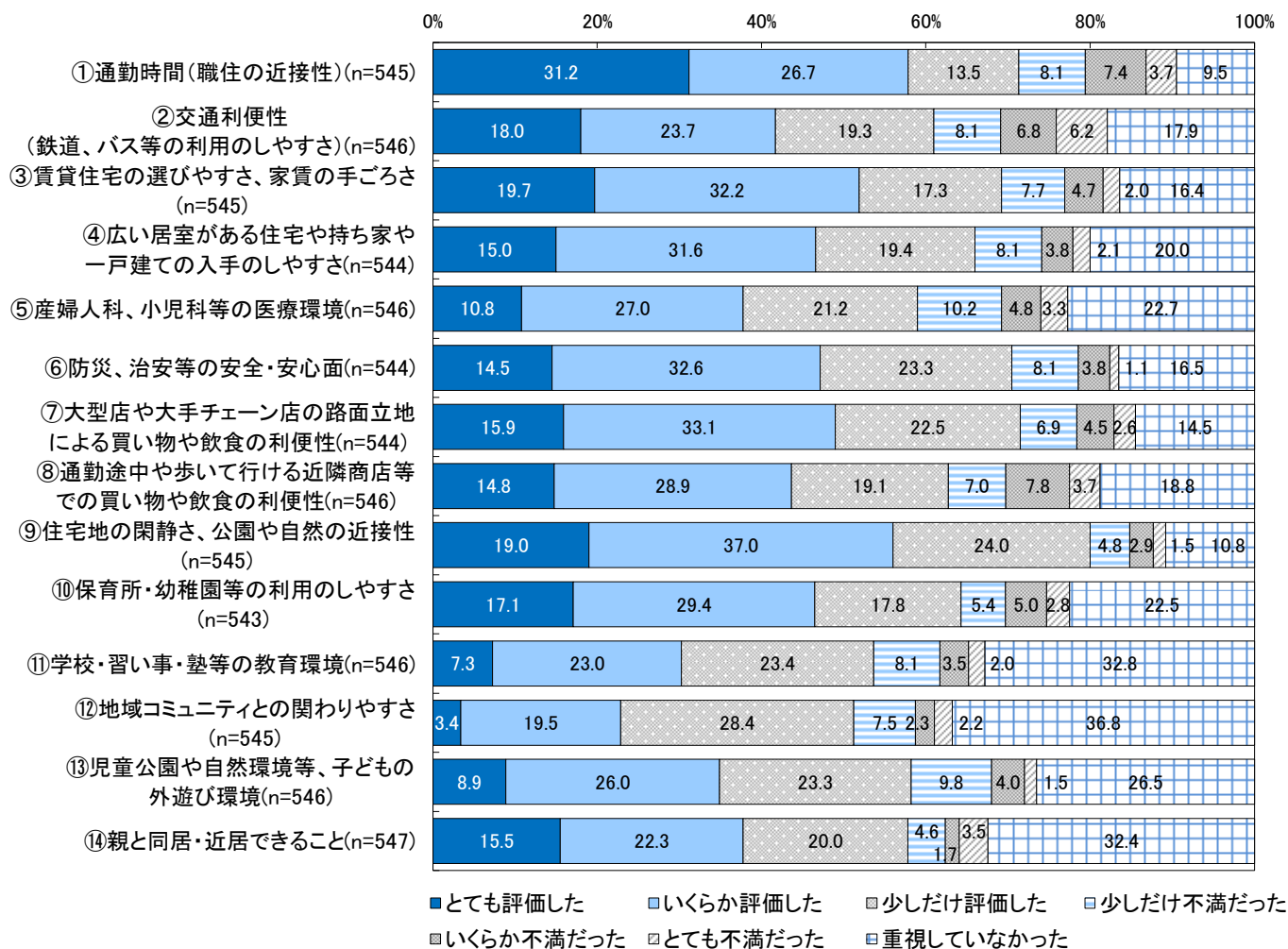
現在、結婚している人または結婚経験のある人のみ回答

問 36 (第一群 (20~49 歳))

結婚後に生活を始めた住居地を決めたとき、地域特性をどのように評価しましたか。

(それぞれの項目に○印は1つだけ)

【結婚後に生活を始めた住居地の地域特性の評価 (20~49 歳)】



結婚後に生活を始めた住居地の地域特性の評価について、「①通勤時間（職住の近接性）」、「⑥防災、治安等の安全・安心面」、「⑦大型店や大手チェーン店の路面立地による買い物や飲食の利便性」、「⑨住宅地の閑静さ、公園や自然の近接性」で『評価できる』（「とても評価した」＋「いづらか評価した」＋「少しだけ評価した」）と回答した割合は、7～8割台となっている。

一方、「①通勤時間（職住の近接性）」、「②交通利便性（鉄道、バス等の利用のしやすさ）」で『不満である』（「とても不満だった」＋「いづらか不満だった」＋「少しだけ不満だった」）と回答した割合は、2割前後となっている

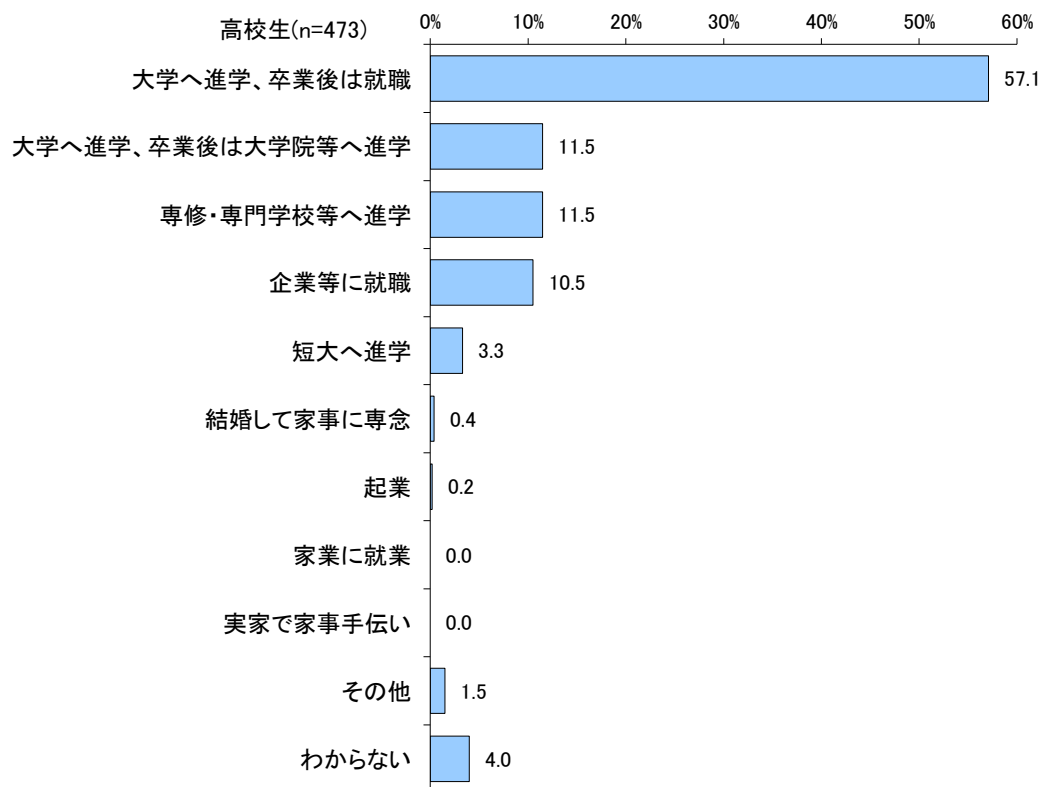
7 進学について

(1) 高校卒業後の進学・就業希望

問 20 (第三群 (高校生))

高校卒業後の進学・就業等の希望をお聞かせください。(○印は1つだけ)

【高校卒業後の進学・就業希望 (高校生)】



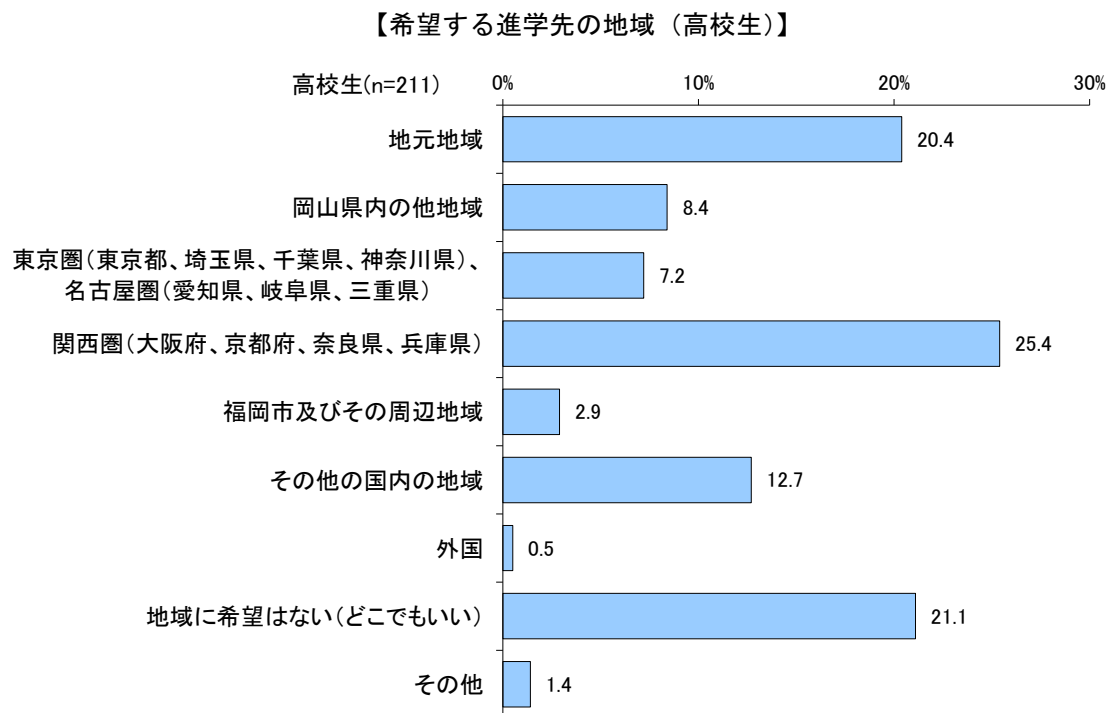
高校卒業後の進学・就業希望について、「大学へ進学、卒業後は就職」と回答した割合が 57.1% と最も高く、「大学へ進学、卒業後は大学院等へ進学」、「専修・専門学校等へ進学」(11.5%), 「企業等に就職」(10.5%)が続いている。

(2) 希望する進学先の地域

「大学」「大学院」「短大」「専修・専門学校等」へ進学と回答した人のみ回答

問 21 (第三群 (高校生))

進学したい大学等の所在地の希望をお聞かせください。(○印は1つだけ)



希望する進学先の地域について、「地元地域」と回答した割合が 20.4%、「関西圏（大阪府、京都府、奈良県、兵庫県）」と回答した割合が 25.4%となっている。

また、「地域に希望はない（どこでもいい）」と回答した割合が 21.1%となっている。

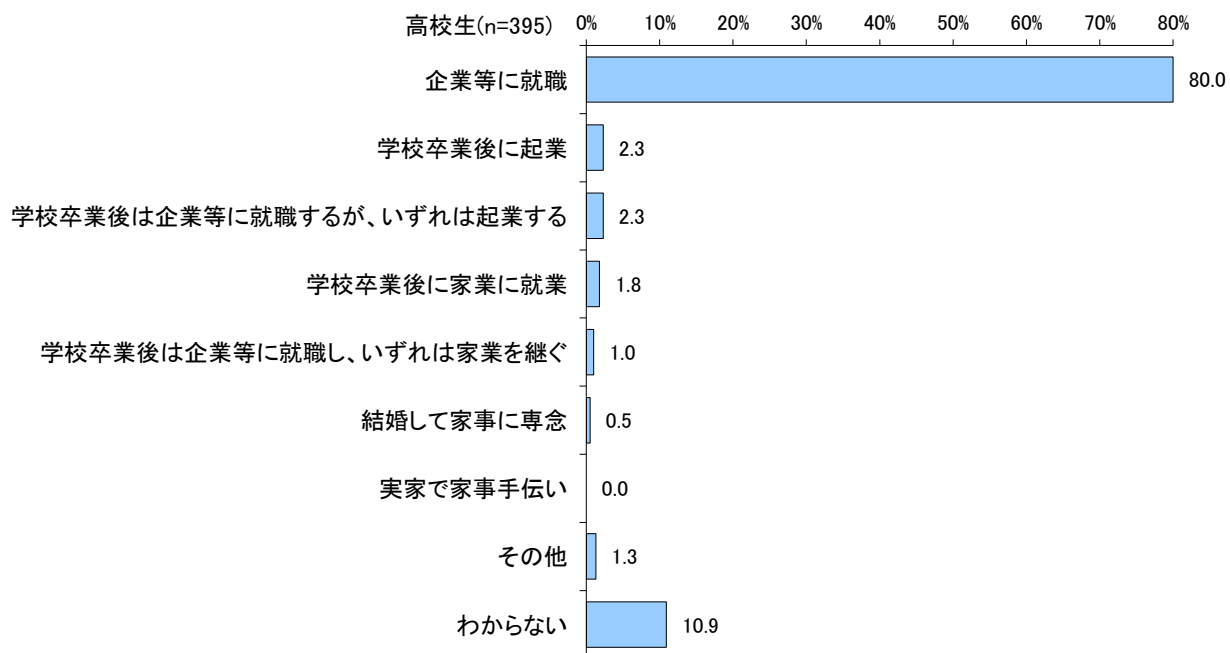
8 就業について

(1) 卒業後の希望進路

問 23 (第三群 (高校生))

高校、大学・大学院等の卒業後の進路について希望をお聞かせください。(○印は1つだけ)

【卒業後の希望進路 (高校生)】



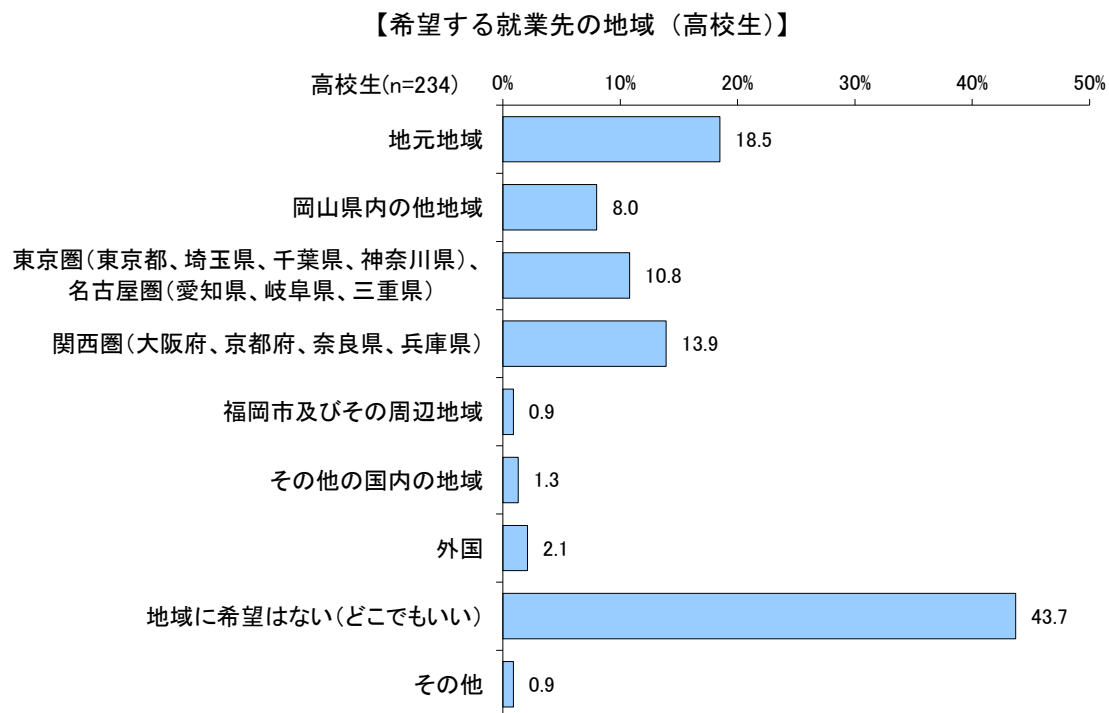
卒業後の希望進路について、「企業等に就職」と回答した割合が 80.0%と最も高くなっている。

(2) 希望する就業先の地域

「就職」「家業に就業」「起業」と回答した人のみ回答

問 24 (第三群 (高校生))

就業したい地域の希望をお聞かせください。(○印は1つだけ)



希望する就業先の地域について、「地元地域」と回答した割合が 18.5%となっている。
また、「地域に希望はない(どこでもいい)」と回答した割合が 43.7%となっている。

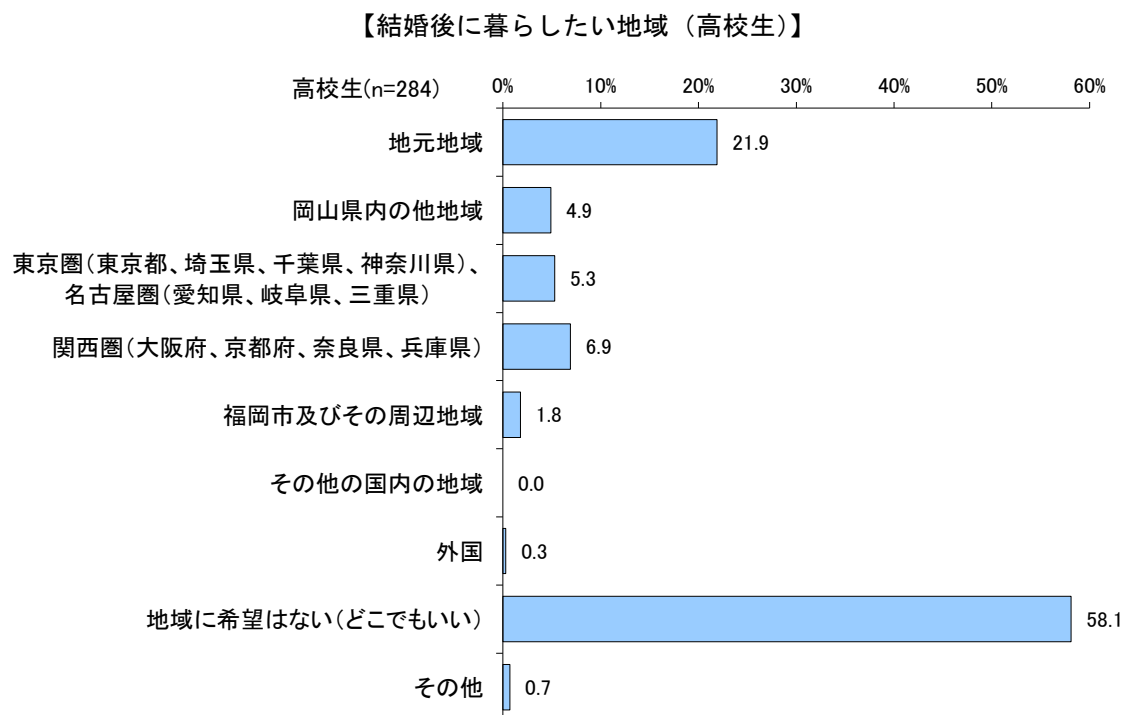
9 結婚後に暮らす地域について

(1) 結婚後に暮らしたい地域

将来結婚を希望する人のみ回答

問 29 (第三群 (高校生))

結婚後に暮らしたい地域の希望をお聞かせください。(○印は1つだけ)



結婚後に暮らしたい地域について、「地元地域」と回答した割合が 21.9%となっている。
また、「地域に希望はない(どこでもいい)」と回答した割合が 58.1%となっている。

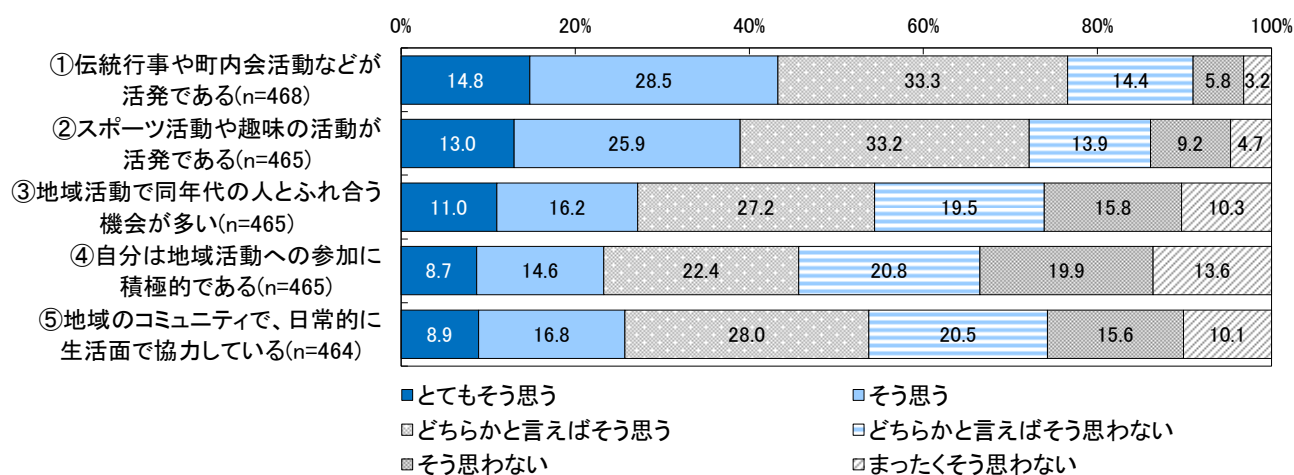
10 地域社会や身近な人のことについて

(1) 地域との関わりについて

問 31 (第三群 (高校生))

あなたが暮らしている地域（自治会単位などの地域コミュニティの範囲）や、あなたと地域との関わりについて、どのように考えますか。（それぞれの項目に○印は1つだけ）

【地域との関わりについて（高校生）】



地域との関わりについて、「①伝統行事や町内会活動などが活発である」、「②スポーツ活動や趣味の活動が活発である」で『思う』（「とてもそう思う」＋「そう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）と回答した割合は、7割台となっている。

一方、「③地域活動で同年代の人とふれ合う機会が多い」、「④自分は地域活動への参加に積極的である」、「⑤地域のコミュニティで、日常的に生活面で協力している」で『思わない』（「まったくそう思わない」＋「そう思わない」＋「どちらかと言えばそう思わない」）と回答した割合は、4～5割台となっている。

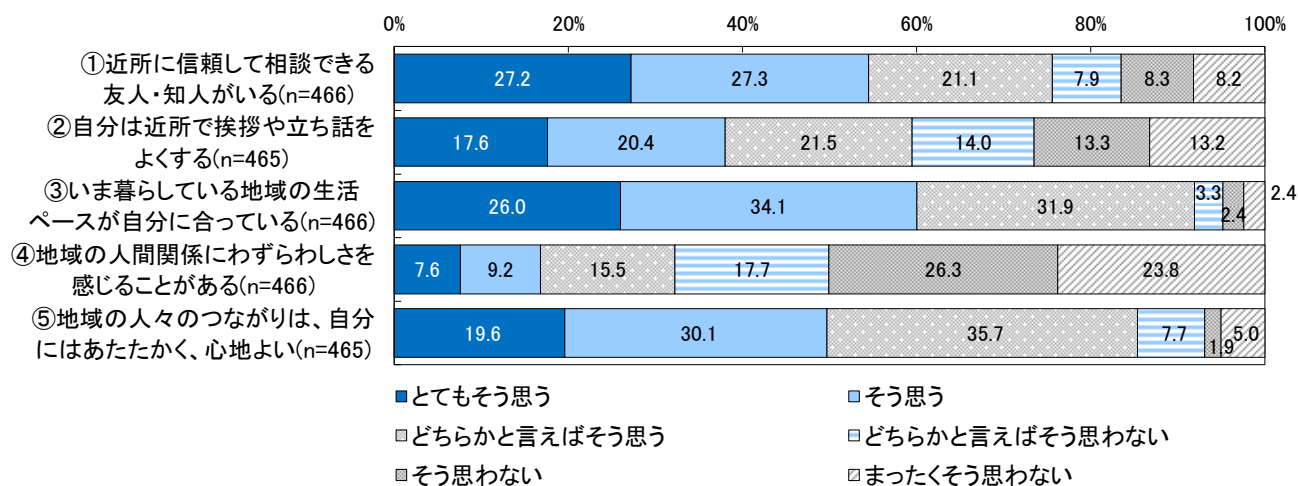
(2) 地域の暮らしやすさについて

問 32 (第三群 (高校生))

あなたが暮らしている地域の暮らしやすさ，居心地のよさについてどのように考えますか。

(それぞれの項目に○印は1つだけ)

【地域の暮らしやすさについて (高校生)】



地域の暮らしやすさについて、「③いま暮らしている地域の生活ペースが自分に合っている」，「⑤地域の人々のつながりは、自分にはあたたかく、心地よい」で『思う』（「とても思う」＋「思う」＋「どちらかと言えば思う」）と回答した割合は、8～9割台となっている。

11 地元について

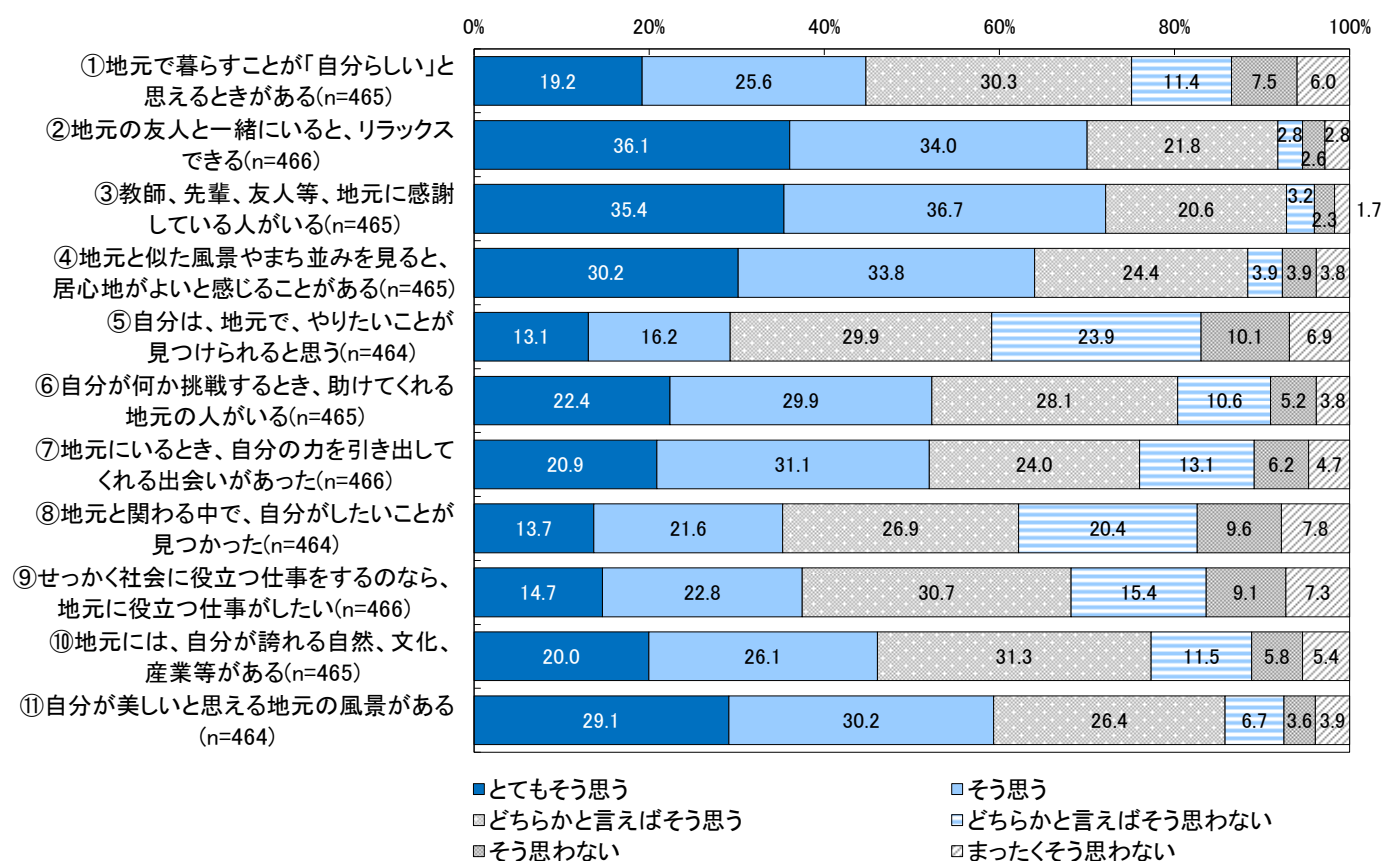
(1) 地元に対する感じ方

問 38 (第三群 (高校生))

自分自身と地元との間の次のような関係について、どのように考えられますか。

(それぞれの項目に○印は1つだけ)

【地元に対する感じ方 (高校生)】



地元に対する感じ方について、「②地元の友人と一緒にいると、リラックスできる」、「③教師、先輩、友人等、地元感謝している人がある」、「④地元と似た風景やまち並みを見ると、居心地がよいと感じることがある」、「⑪自分が美しいと思える地元の風景がある」で『思う』(「とてもそう思う」+「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」)と回答した割合は、8割台後半～9割台となっている。

一方、「⑤自分は、地元で、やりたいことが見つけれられると思う」、「⑧地元と関わる中で、自分がしたいことが見つかった」、「⑨せっかく社会に役立つ仕事をするのなら、地元で役立つ仕事したい」で『思わない』(「まったくそう思わない」+「そう思わない」+「どちらかと言えばそう思わない」)と回答した割合は、3～4割台となっている。

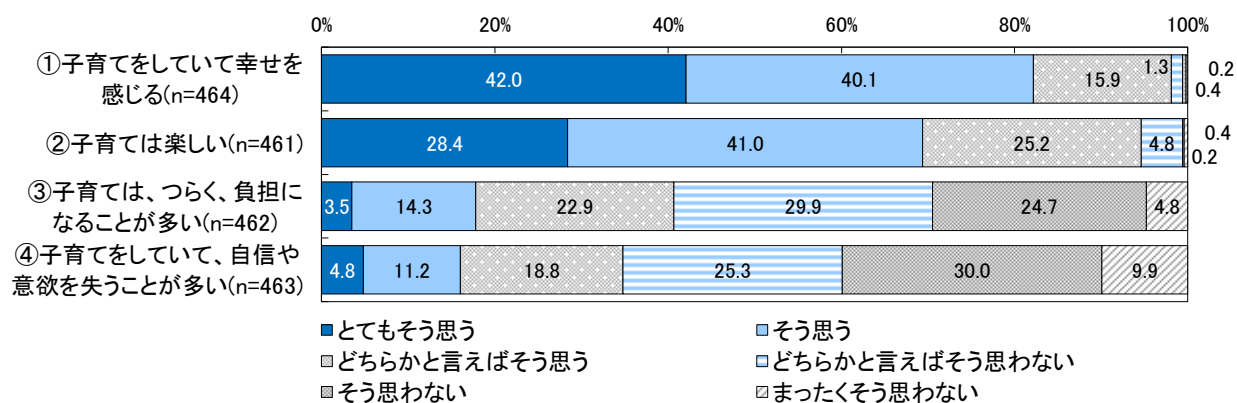
12 子育てに対する感じ方について

(1) 子育てに対する感じ方

問3 (第二群 (子どものいる世帯))

あなたは子育てをしていて、どのように感じていますか。(それぞれの項目に○印は1つだけ)

【子育てに対する感じ方 (子どものいる世帯)】



子育てに対する感じ方について、「①子育てをしていて幸せを感じる」、「②子育ては楽しい」で『思う』(「とてもそう思う」+「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」)と回答した割合は、9割台となっている。

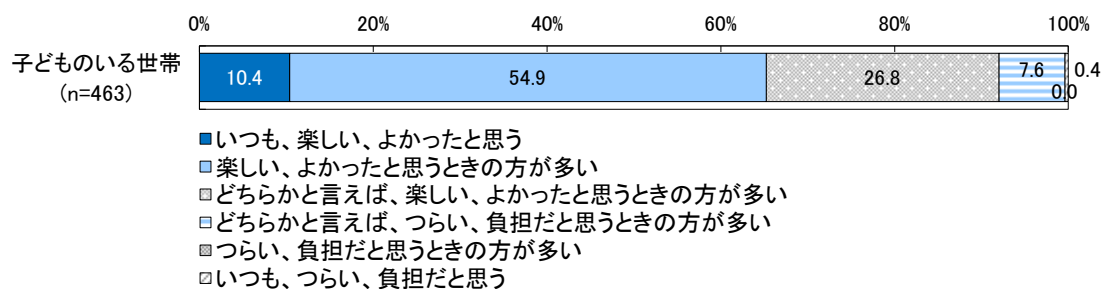
一方、「③子育ては、つらく、負担になることが多い」、「④子育てをしていて、自信や意欲を失うことが多い」で『思う』と回答した割合は、3～4割台となっている。

(2) 子育ての負担感の程度

問4（第二群（子どものいる世帯））

総合的にみて、子育てをしていて、楽しい、よかったと思うことと、つらい、負担だと思うことは、どちらの方が多いと思われますか。（○印は1つだけ）

【子育ての負担感の程度（子どものいる世帯）】



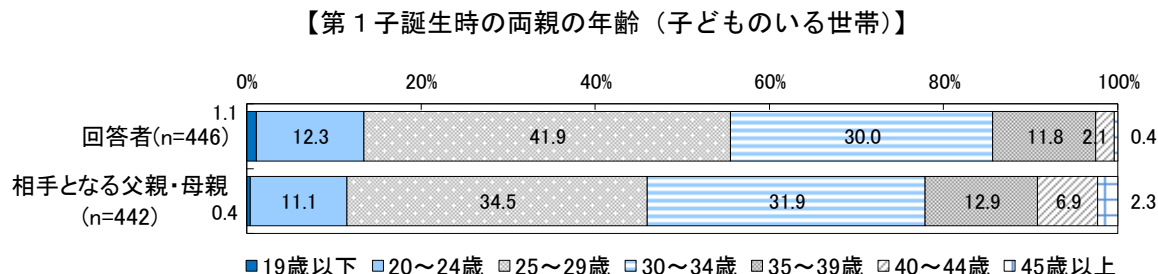
子育ての負担感の程度について、『楽しい』（「いつも、楽しい、よかったと思う」＋「楽しい、よかったと思うときの方が多い」＋「どちらかと言えば、楽しい、よかったと思うときの方が多い」）と回答した割合が 92.1%，『つらい』（「いつも、つらい、負担だと思う」＋「つらい、負担だと思うときの方が多い」＋「どちらかと言えば、つらい、負担だと思うときの方が多い」）と回答した割合が 8.0%となっている。

13 第1子について

(1) 第1子誕生時の両親の年齢

問 10 (第二群 (子どものいる世帯))

あなたの第1子が生まれたとき、あなたと、相手となる父親（あるいは母親）は何歳でしたか。

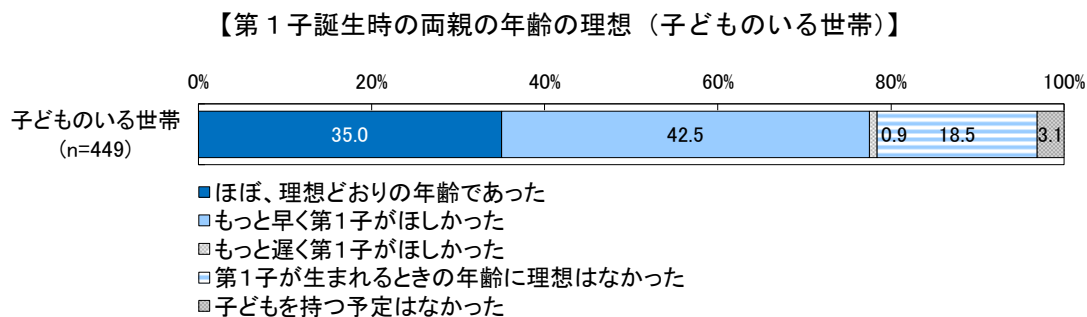


第1子誕生時の両親の年齢について、「25～29歳」と回答した割合は回答者で41.9%、相手となる父親・母親で34.5%、「30～34歳」と回答した割合は回答者で30.0%、相手となる父親・母親で31.9%となっている。

(2) 第1子誕生時の両親の年齢の理想

問 11 (第二群 (子どものいる世帯))

第1子が生まれたときのあなたの年齢についてどのように考えられますか。(○印は1つだけ)



第1子誕生時の両親の年齢の理想について、「もっと早く第1子がほしかった」と回答した割合が42.5%、「ほぼ、理想どおりの年齢であった」と回答した割合が35.0%となっている。

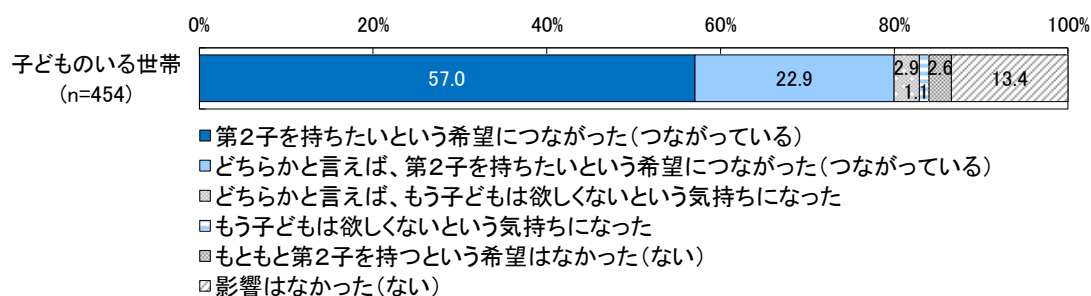
14 第2子以降について

(1) 第1子の子育て経験が、第2子を持つ希望への影響

問 13 (第二群 (子どものいる世帯))

第1子の子育て経験が、第2子を持つ希望に影響したと考えられますか。第2子をお持ちでない方は、現在のお考えをお聞かせください。(○印は1つだけ)

【第1子の子育て経験が、第2子を持つ希望への影響 (子どものいる世帯)】



第1子の子育て経験が、第2子を持つ希望への影響について、『つながった (つながっている)』(「第2子を持ちたいという希望につながった (つながっている)」+「どちらかと言えば、第2子を持ちたいという希望につながった (つながっている)」)と回答した割合が79.9%、『欲しくないという気持ちになった』(「もう子どもは欲しくないという気持ちになった」+「どちらかと言えば、もう子どもは欲しくないという気持ちになった」)と回答した割合が4.0%となっている。

(2) 第1子の子育て経験が第2子の希望につながった理由

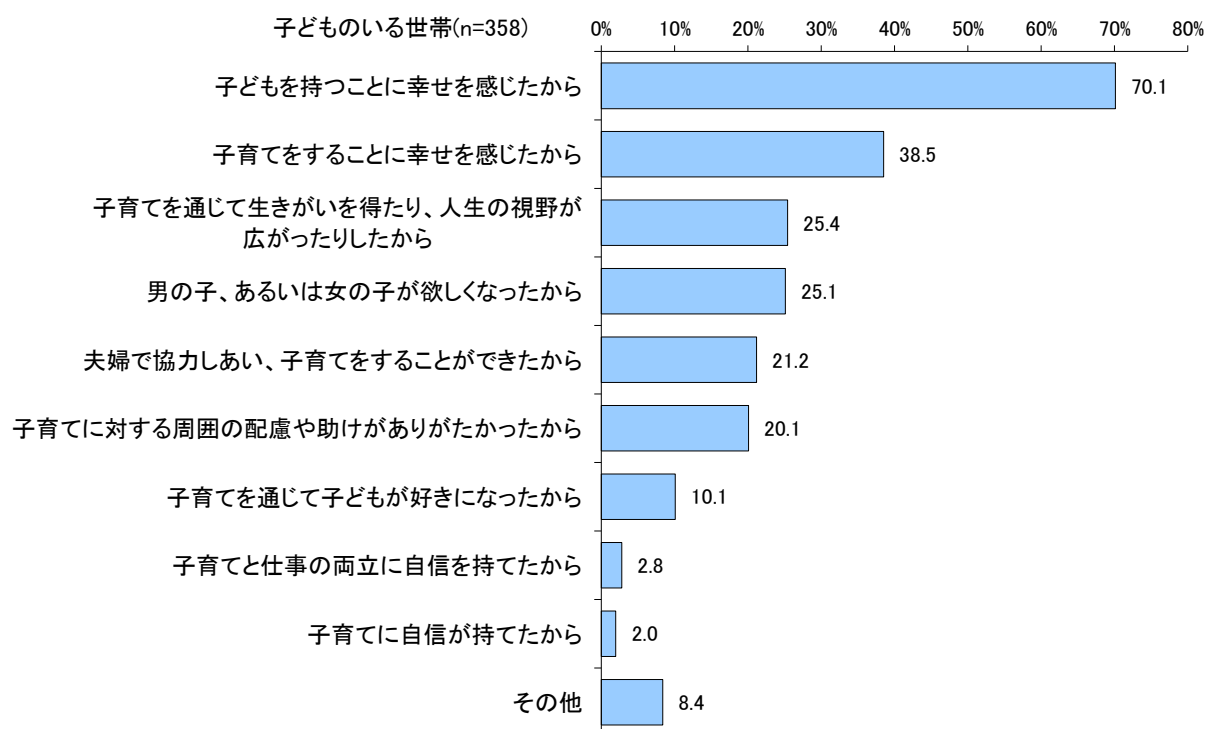
「第2子を持ちたいという希望につながった（つながっている）」「どちらかと言えば、第2子を持ちたいという希望につながった（つながっている）」と回答した人のみ回答

問 14（第二群（子どものいる世帯））

第1子の子育て経験が第2子の希望につながった理由はどのようなことでしょうか。

（○印は3つまで）

【第1子の子育て経験が第2子の希望につながった理由（子どものいる世帯）】



第1子の子育て経験が第2子の希望につながった理由について、「子どもを持つことに幸せを感じたから」と回答した割合が70.1%と最も高く、次いで「子育てをすることに幸せを感じたから」（38.5%）となっている。

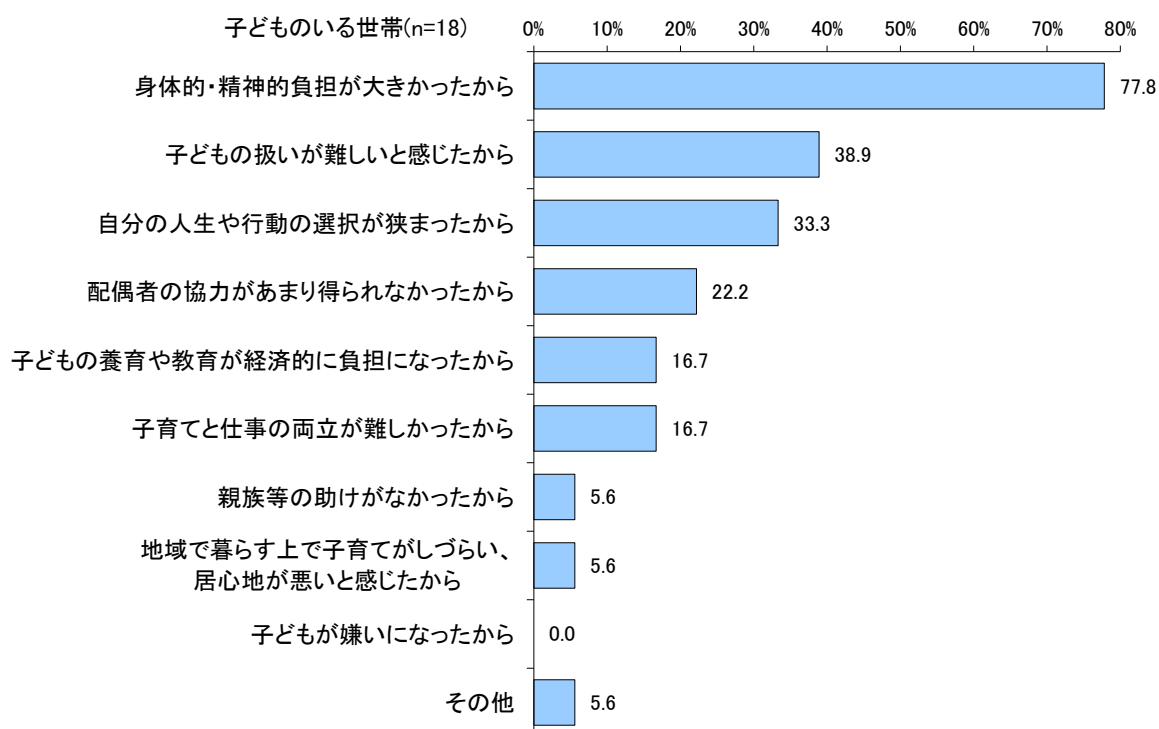
(3) 第1子の子育て経験でもう子どもは欲しくなくなった理由

「どちらかと言えば、もう子どもは欲しくないという気持ちになった」「もう子どもは欲しくないという気持ちになった」と回答した人のみ回答

問 15 (第二群 (子どものいる世帯))

第1子の子育て経験で「もう子どもは欲しくないという気持ちになった」理由はどのようなことでしょうか。(○印は3つまで)

【第1子の子育て経験でもう子どもは欲しくなくなった理由 (子どものいる世帯)】



第1子の子育て経験でもう子どもは欲しくなくなった理由について、「身体的・精神的負担が大きかったから」と回答した割合が77.8%と最も高く、「子どもの扱いが難しいと感じたから」(38.9%)、「自分の人生や行動の選択が狭まったから」(33.3%)が続いている。

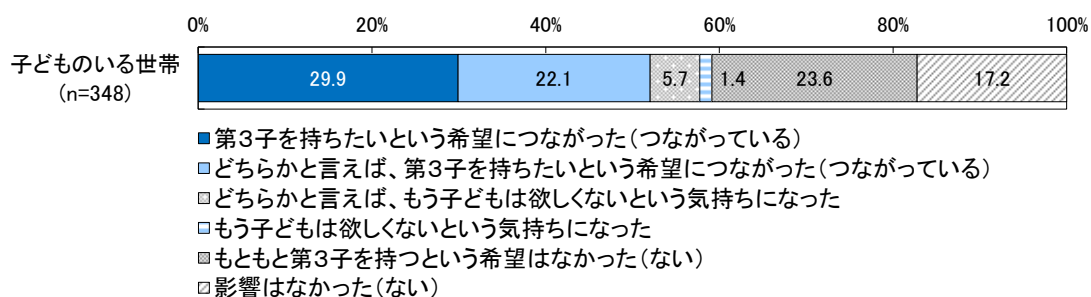
(4) 第2子までの子育て経験が、第3子を持つ希望への影響

二人以上の子どもがいる人のみ回答

問 16 (第二群 (子どものいる世帯))

第2子までの子育てをしたご経験が、第3子を持つ希望に影響したと考えられますか。第3子をお持ちでない方は、現在のお考えをお聞かせください。(○印は1つだけ)

【第2子までの子育て経験が、第3子を持つ希望への影響 (子どものいる世帯)】



第2子までの子育て経験が、第3子を持つ希望への影響について、『希望につながった (つながっている)』(「第3子を持ちたいという希望につながった (つながっている)」 + 「どちらかと言えば、第3子を持ちたいという希望につながった (つながっている)」) と回答した割合が 52.0%，『欲しくないという気持ちになった』(「もう子どもは欲しくないという気持ちになった」 + 「どちらかと言えば、もう子どもは欲しくないという気持ちになった」) と回答した割合が 7.1%となっている。

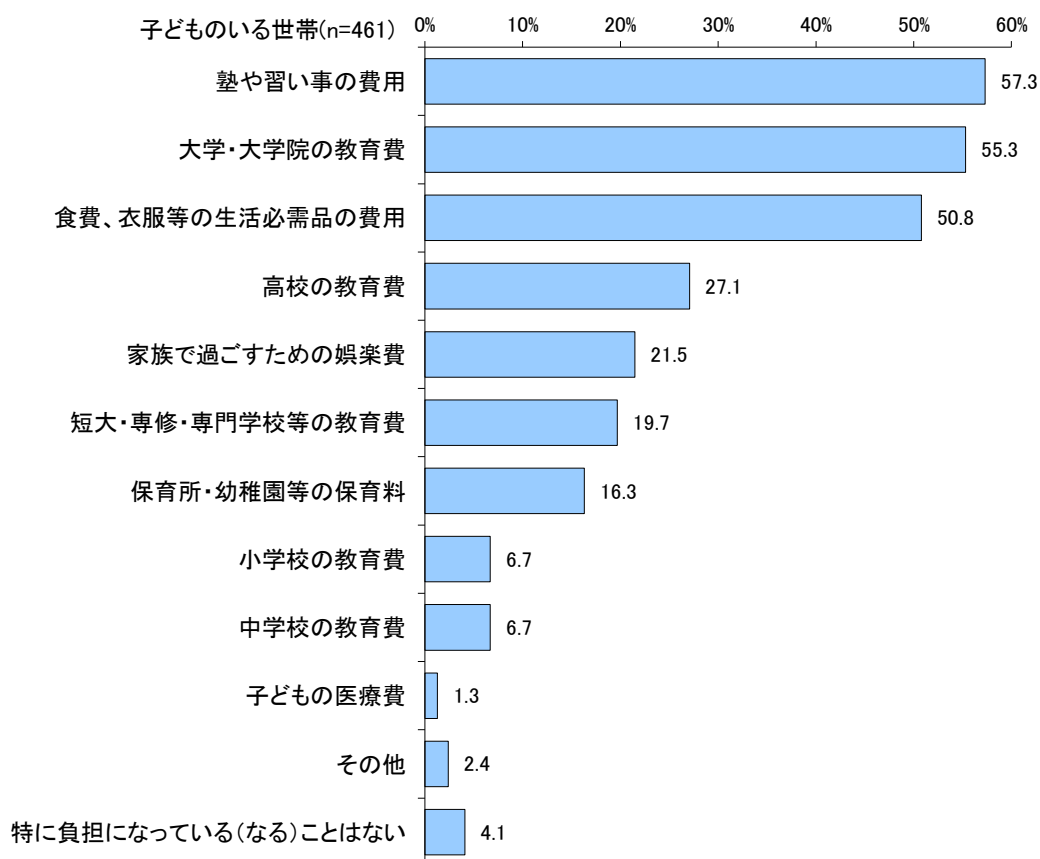
15 子育ての費用と進学について

(1) 家計の負担になっている子育ての費用

問 17 (第二群 (子どものいる世帯))

子育てでは, どのようなことが家計の負担になっていると思いますか。過去のご経験や子どもが成長した将来の予想も含めご回答ください。(○印は3つまで)

【家計の負担になっている子育ての費用 (子どものいる世帯)】



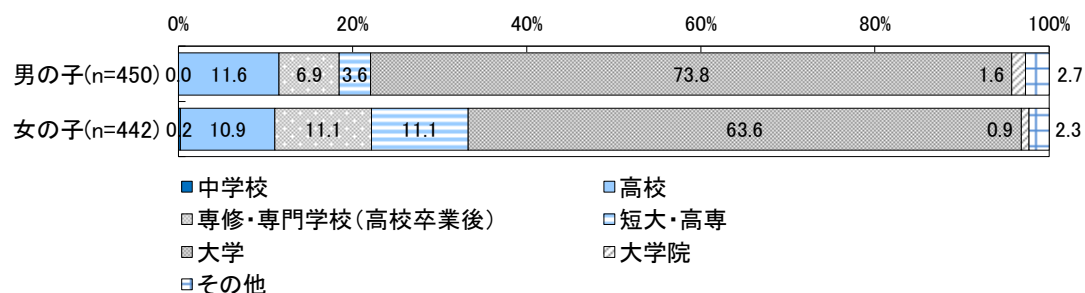
家計の負担になっている子育ての費用について、「塾や習い事の費用」と回答した割合が57.3%と最も高く、「大学・大学院の教育費」(55.3%)、「食費、衣服等の生活必需品の費用」(50.8%)が続いている。

(2) 子どもの将来の進学展望

問 18 (第二群 (子どものいる世帯))

お子さんにどの程度の教育を受けさせたいとお考えでしょうか。男の子または女の子がいない場合も、いると仮定してご回答ください。(○印はそれぞれ1つずつ)

【子どもの将来の進学展望 (子どものいる世帯)】



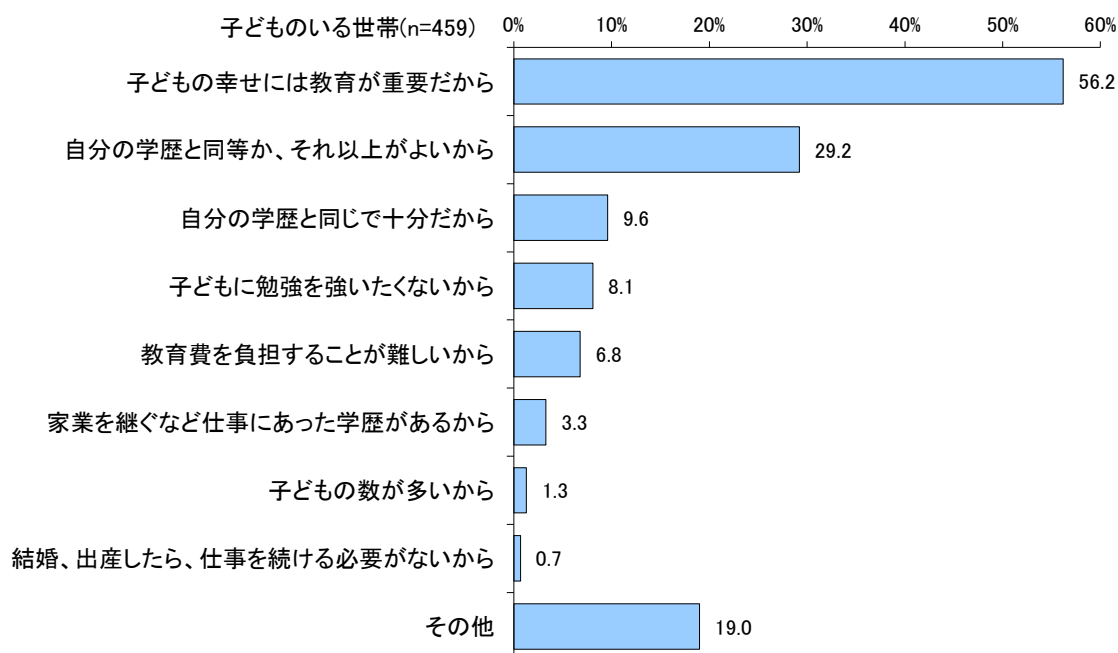
子どもの将来の進学展望について、「大学」と回答した割合は男の子で 73.8%、女の子で 63.6%となっている。

(3) 子どもの進学先を選んだ理由

問 19 (第二群 (子どものいる世帯))

問 18 のように考えられる理由はどのようなことでしょうか。(○印は3つまで)

【子どもの進学先を選んだ理由 (子どものいる世帯)】



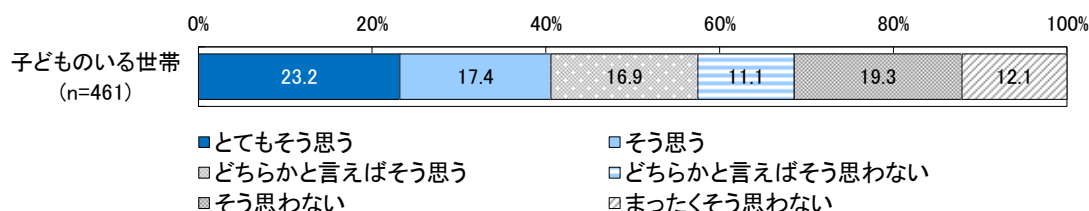
子どもの進学先を選んだ理由について、「子どもの幸せには教育が重要だから」と回答した割合が 56.2%と最も高く、次いで「自分の学歴と同等か、それ以上がよいから」(29.2%)となっている。

(4) 経済的負担が減った場合のもう一人子どもを持つことへの希望

問 20 (第二群 (子どものいる世帯))

世帯収入が増えたり、子どもの養育費や教育費の負担が少なくなったりすれば、もう一人子どもを持ちたいと考えられますか。(○印は1つだけ)

【経済的負担が減った場合のもう一人子どもを持つことへの希望 (子どものいる世帯)】



経済的負担が減った場合のもう一人子どもを持つことへの希望について、『希望する』(「とてもそう思う」+「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」)と回答した割合が 57.5%, 『希望しない』(「まったくそう思わない」+「そう思わない」+「どちらかと言えばそう思わない」)と回答した割合が 42.5%となっている。

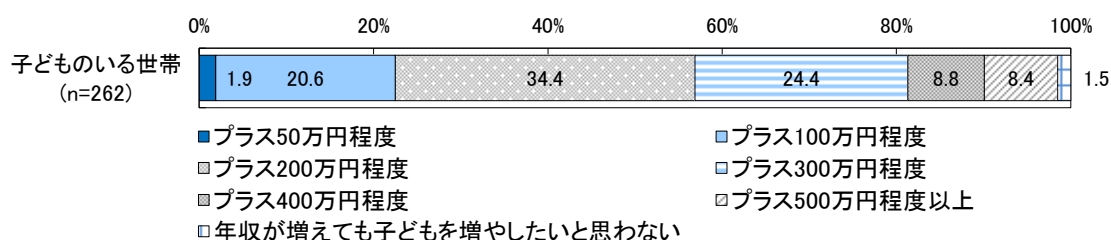
(5) もう一人子どもを持つために必要な年収の追加金額

「とてもそう思う」「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した人のみ回答

問 21 (第二群 (子どものいる世帯))

夫婦の合計年収(税込)で、あといくらあれば、もう一人子どもを持ってもいいと考えられますか。ひとり親の方は、ご自身の年収でご回答ください。(○印は1つだけ)

【もう一人子どもを持つために必要な年収の追加金額 (子どものいる世帯)】



もう一人子どもを持つために必要な年収の追加金額について、「プラス 200 万円程度」と回答した割合が 34.4%, 「プラス 300 万円程度」と回答した割合が 24.4%となっている。

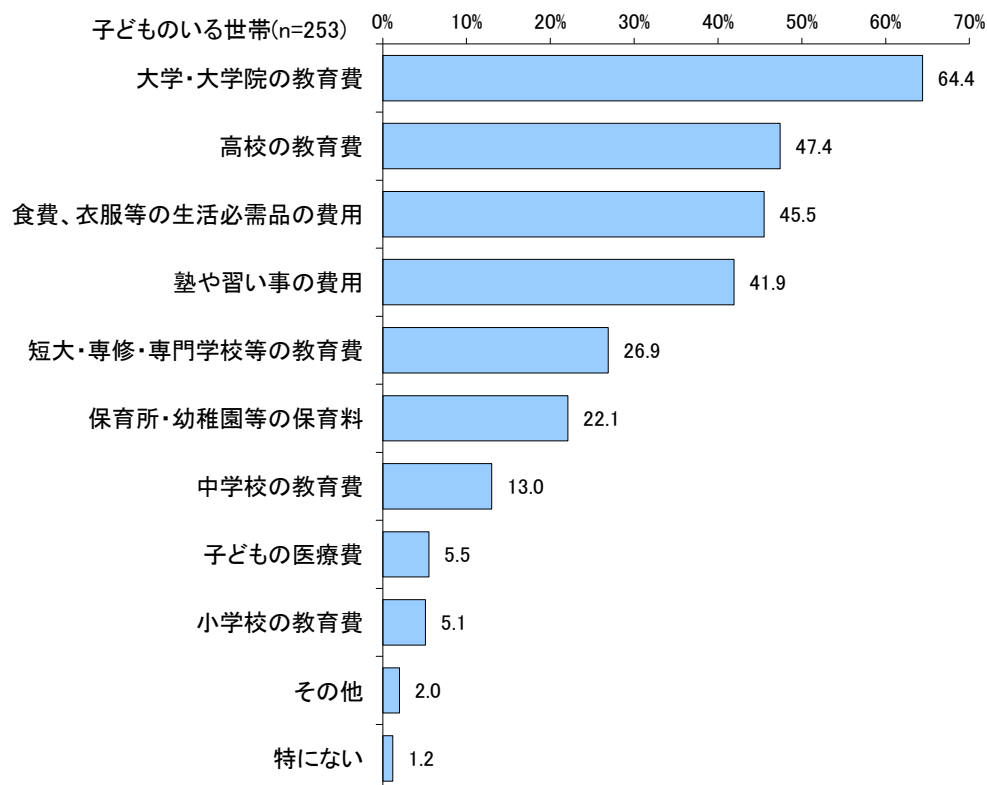
(6) 負担が少なくなることが重要な養育費等

「とてもそう思う」「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した人のみ回答

問 22 (第二群 (子どものいる世帯))

どのような養育費や教育費の負担が少なくなることが重要ですか。(○印は3つまで)

【負担が少なくなることが重要な養育費等 (子どものいる世帯)】



負担が少なくなることが重要な養育費等について、「大学・大学院の教育費」と回答した割合が 64.4%と最も高く、「高校の教育費」(47.4%)、「食費、衣服等の生活必需品の費用」(45.5%)、「塾や習い事の費用」(41.9%)が続いている。

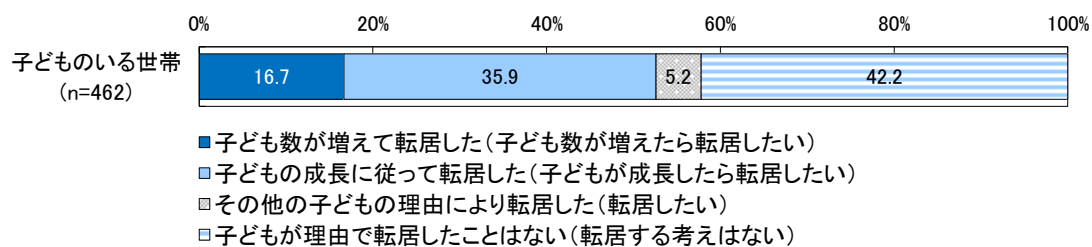
16 子育てと住まいについて

(1) 子どもの出生や成長に従って転居した経験

問 28 (第二群 (子どものいる世帯))

お子さんの出生や成長に従って転居したことがありますか。将来の希望を含めてご回答ください。(○印は1つだけ)

【子どもの出生や成長に従って転居した経験 (子どものいる世帯)】



子どもの出生や成長に従って転居した経験について、「子どもが理由で転居したことはない(転居する考えはない)」と回答した割合が 42.2%, 「子どもの成長に従って転居した(子どもが成長したら転居したい)」と回答した割合が 35.9% となっている。

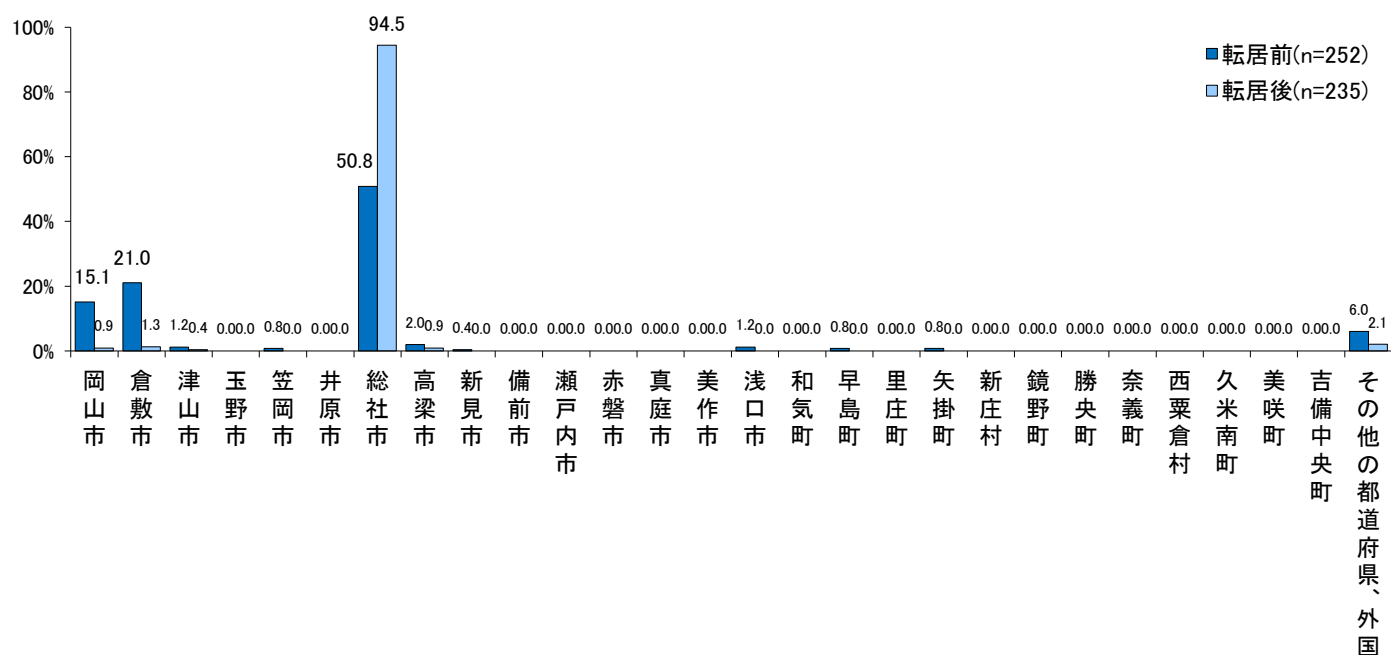
(2) 転居前と転居後の住所地

「転居した（転居したい）」と回答した人のみ回答

問 29（第二群（子どものいる世帯））

転居前と転居後の住所地（市町村名）をご回答ください。（それぞれの項目に○印は1つだけ）
複数回、転居されたことがある場合は直近の転居についてご記入ください。今後、転居したいとお考えの方は、転居後の市町村についてご希望がございましたら、ご記入ください。

【転居前と転居後の住所地（子どものいる世帯）】



転居前と転居後の住所地について、「総社市」と回答した割合は転居前で 50.8%，転居後で 94.5%となっている。

(3) 転居先を選ぶ際の地域特性の評価

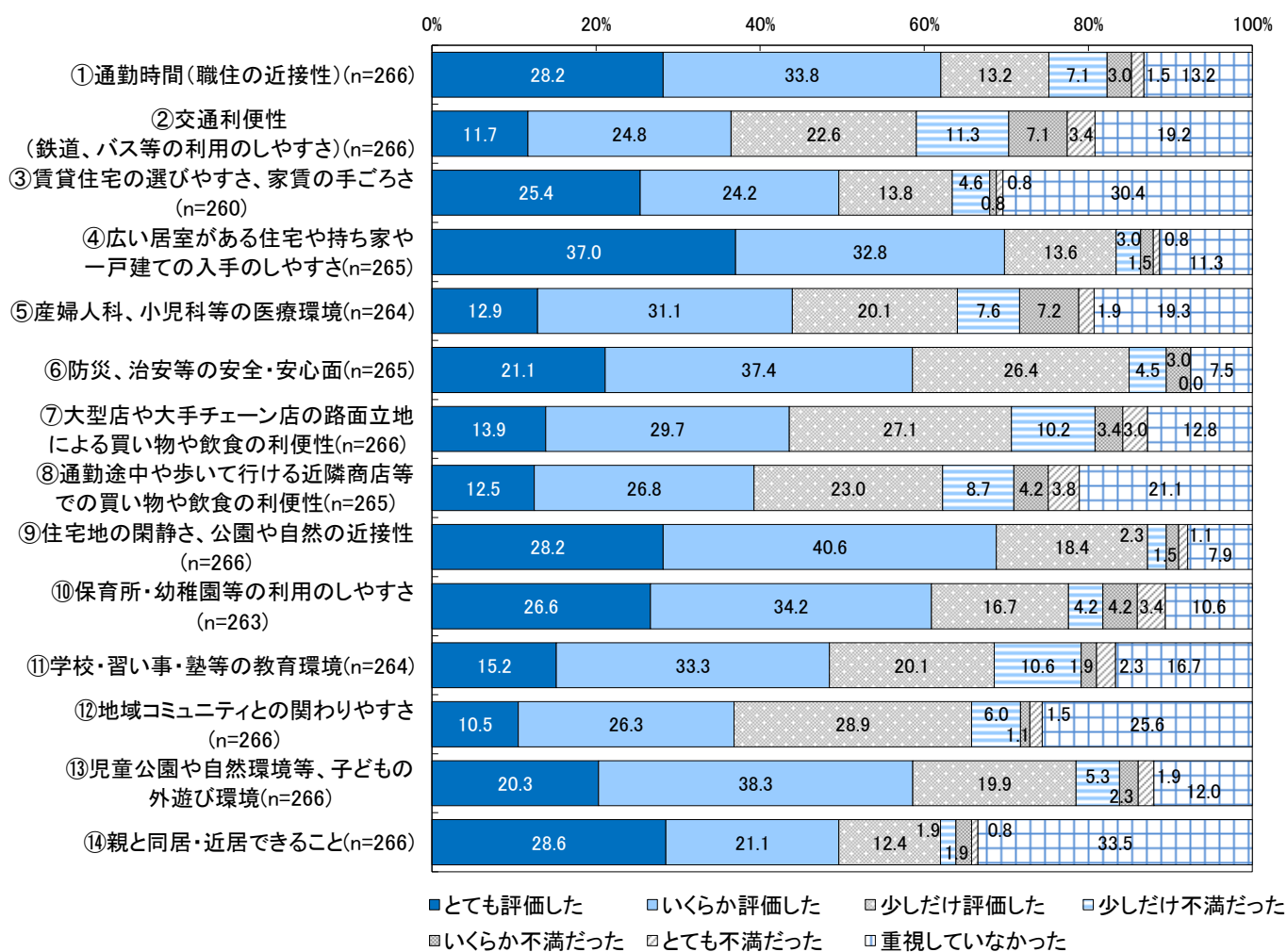
「転居した（転居したい）」と回答した人のみ回答

問 30（第二群（子どものいる世帯））

転居先を選ぶとき、地域特性をどのように評価された（評価する）でしょうか。

（それぞれの項目に○印は1つだけ）

【転居先を選ぶ際の地域特性の評価（子どものいる世帯）】



転居先を選ぶ際の地域特性の評価について、「④広い居室がある住宅や持ち家や一戸建ての入手のしやすさ」、「⑥防災、治安等の安全・安心面」、「⑨住宅地の閑静さ、公園や自然の近接性」で『評価できる』（「とても評価した」＋「いづらか評価した」＋「少しだけ評価した」）と回答した割合は、8割台となっている。

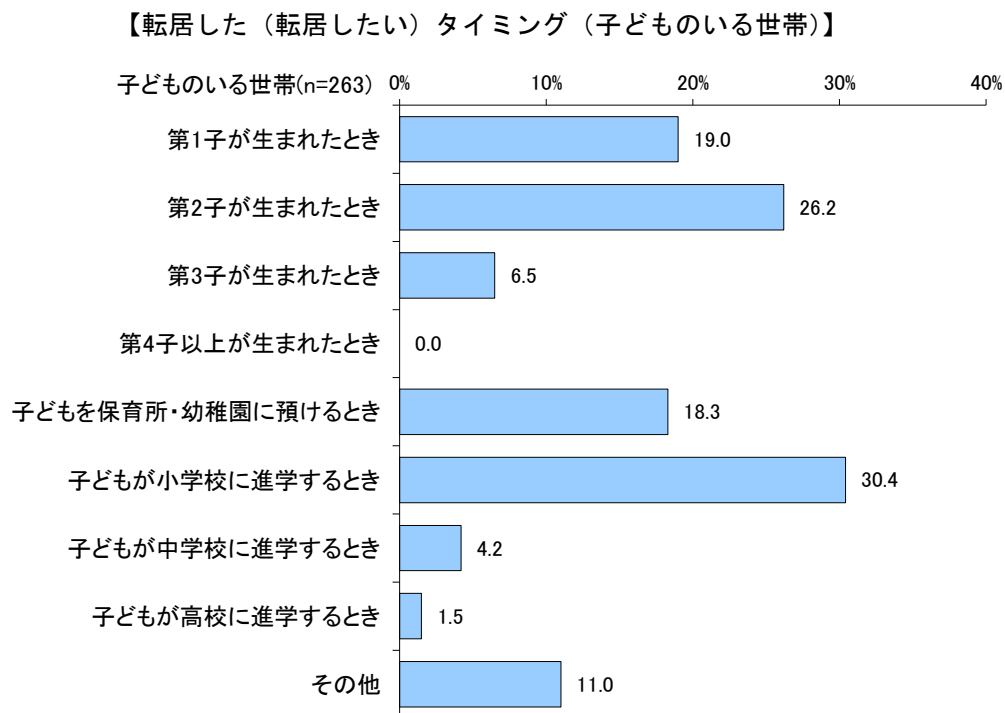
一方、「②交通利便性（鉄道、バス等の利用のしやすさ）」、「⑤産婦人科、小児科等の医療環境」、「⑦大型店や大手チェーン店の路面立地による買い物や飲食の利便性」、「⑧通勤途中や歩いて行ける近隣商店等での買い物や飲食の利便性」で『不満である』（「とても不満だった」＋「いづらか不満だった」＋「少しだけ不満だった」）と回答した割合は、1割台後半～2割台となっている。

(4) 転居した(転居したい)タイミング

「転居した(転居したい)」と回答した人のみ回答

問 31 (第二群 (子どものいる世帯))

転居した(転居したい) タイミングをお聞かせください。(○印は2つまで)



転居した(転居したい) タイミングについて、「子どもが小学校に進学するとき」と回答した割合が 30.4%と最も高く、「第2子が生まれたとき」(26.2%)、「第1子が生まれたとき」(19.0%)、「子どもを保育所・幼稚園に預けるとき」(18.3%)が続いている。

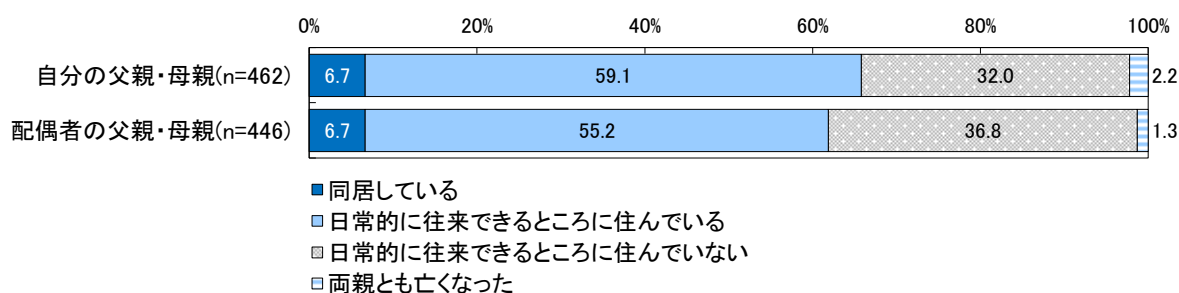
(5) 両親との同居や近居について

問 32 (第二群 (子どものいる世帯))

ご自身の父親・母親との同居や近居についてお聞かせください。また、配偶者がおられる方は、配偶者のご両親との同居や近居についてもご回答ください。

(それぞれの項目に○印は1つだけ)

【両親との同居や近居について (子どものいる世帯)】



両親との同居や近居について、「日常的に往来できるところに住んでいる」と回答した割合は自分の父親・母親で 59.1%，配偶者の父親・母親で 55.2%，「日常的に往来できるところに住んでいない」と回答した割合は自分の父親・母親で 32.0%，配偶者の父親・母親で 36.8%となっている。

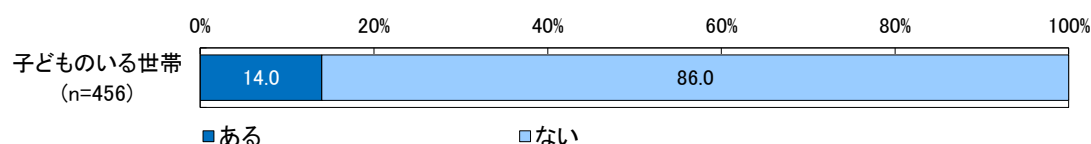
17 地域の子育て環境について

(1) 妊娠・分娩, 子どもに関わる医療サービスの利用

問 34 (第二群 (子どものいる世帯))

妊娠・分娩, 子どもに関わる医療サービスの利用について, 以下のような経験がありましたか。
(それぞれの項目に○印は1つだけ)

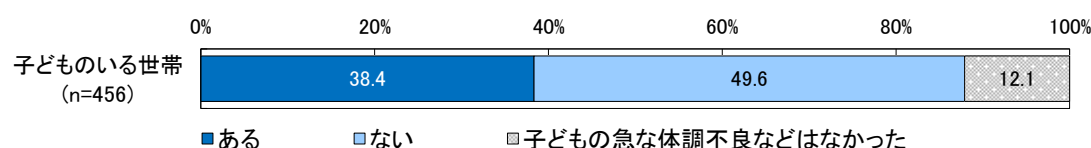
【①近くに産科がなく, 不安になった経験や不便に感じた経験 (子どものいる世帯)】



近くに産科がなく, 不安になった経験や不便に感じた経験について, 「ある」と回答した割合が 14.0%となっている。

【②夜間・休日で, 子どもの体調が悪いときに診療してくれる小児科が見つからず困った経験

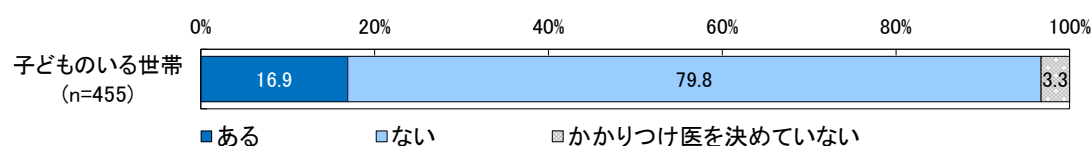
(子どものいる世帯)】



夜間・休日で, 子どもの体調が悪いときに診療してくれる小児科が見つからず困った経験について, 「ある」と回答した割合が 38.4%となっている。

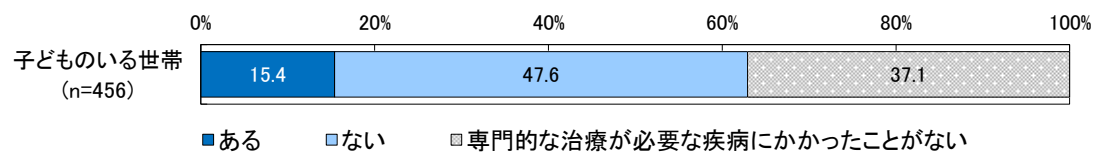
【③近くに, 信頼できる子どものかかりつけ医がなく, 不安になった経験や不便に感じた経験

(子どものいる世帯)】



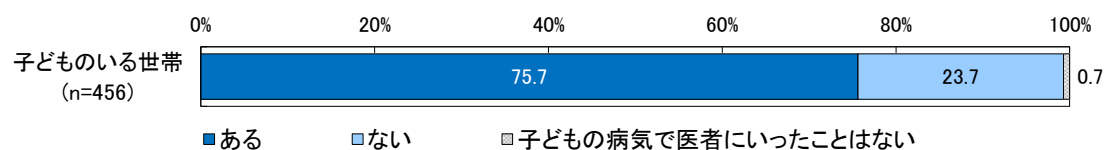
近くに, 信頼できる子どものかかりつけ医がなく, 不安になった経験や不便に感じた経験について, 「ある」と回答した割合が 16.9%となっている。

【④専門的な治療が必要な疾病で、子どもを診療してくれる医療機関が近くになく、不安に思った経験
(子どものいる世帯)】



専門的な治療が必要な疾病で、子どもを診療してくれる医療機関が近くになく、不安に思った経験について、「ある」と回答した割合が 15.4%となっている。

【⑤子どもの病気で、医療機関の待ち時間が長く、つらく・不便に思った経験 (子どものいる世帯)】

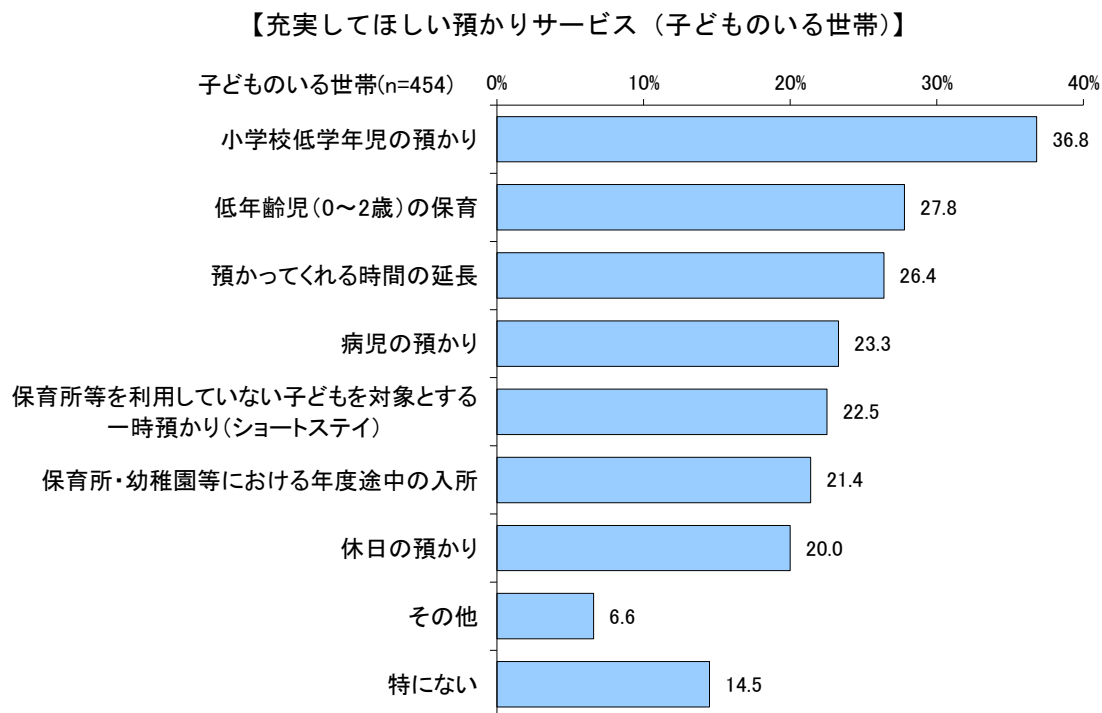


子どもの病気で、医療機関の待ち時間が長く、つらく・不便に思った経験について、「ある」と回答した割合が 75.7%となっている。

(2) 充実してほしい預かりサービス

問 36 (第二群 (子どものいる世帯))

あなたや配偶者が子育てをする上で、充実してほしい預かりサービスはどのようなことでしょうか。未就学児がおられない方は当時を思い出してご回答ください。(○印は3つまで)



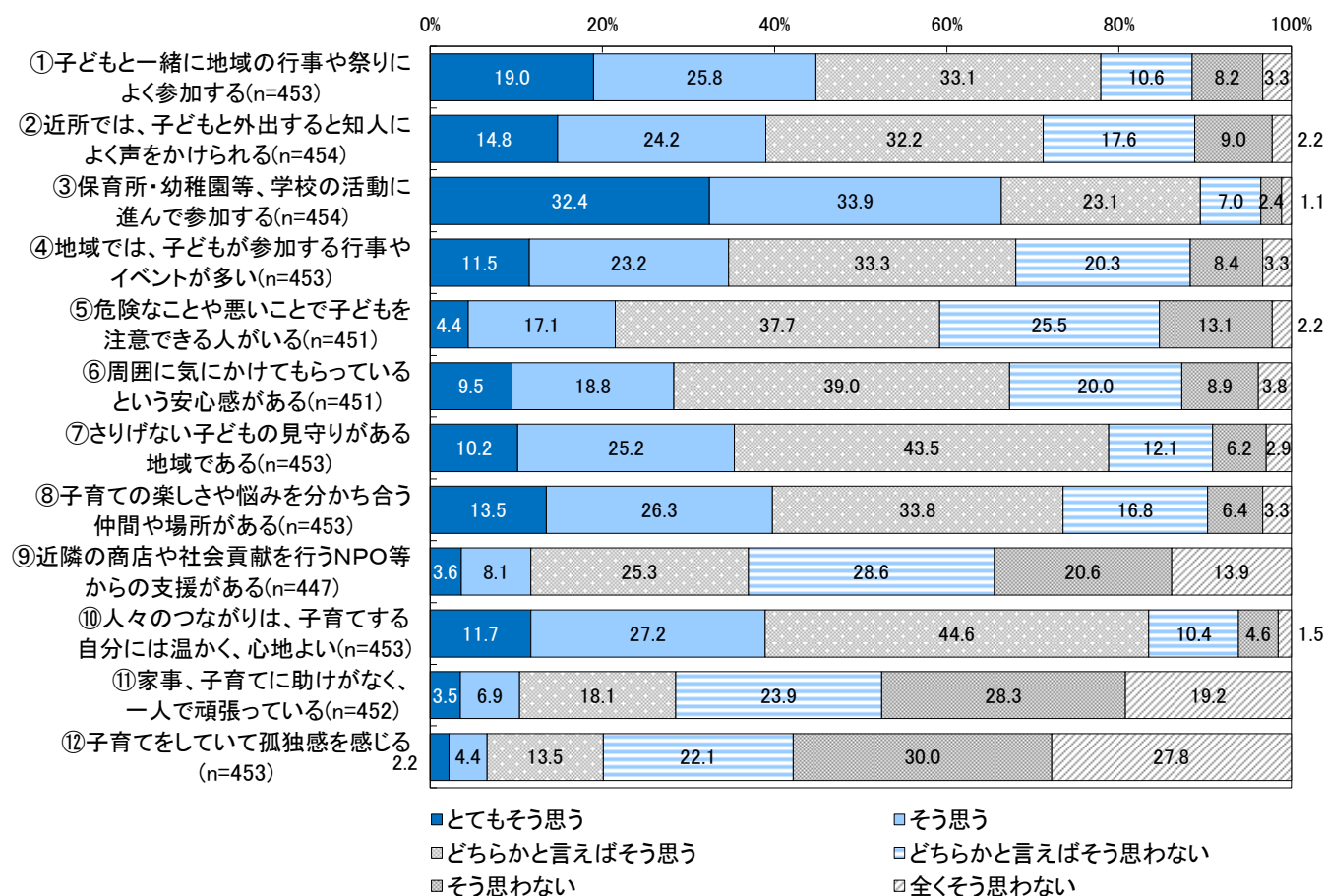
充実してほしい預かりサービスについて、「小学校低学年の預かり」と回答した割合が 36.8%と最も高く、「低年齢児(0～2歳)の保育」(27.8%)、「預かってくれる時間の延長」(26.4%)が続いている。

(3) 地域の子育て環境

問 37 (第二群 (子どものいる世帯))

お住まいの地域の子育て環境や、子育てを通じた家族と地域との関わりについてどのように考えられますか。(それぞれの項目に○印は1つだけ)

【地域の子育て環境 (子どものいる世帯)】



地域の子育て環境について、「①子どもと一緒に地域の行事や祭りによく参加する」、「③保育所・幼稚園等、学校の活動に進んで参加する」、「⑦さりげない子どもの見守りがある地域である」、「⑩人々のつながりは、子育てする自分には温かく、心地よい」で『そう思う』（「とてもそう思う」＋「そう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）と回答した割合は、7割台後半～8割台となっている。

一方、「⑪家事、子育てに助けがなく、一人で頑張っている」、「⑫子育てをされていて孤独感を感じる」で『そう思う』と回答した割合は、2割台となっている。

18 子育ての不安・悩みと相談について

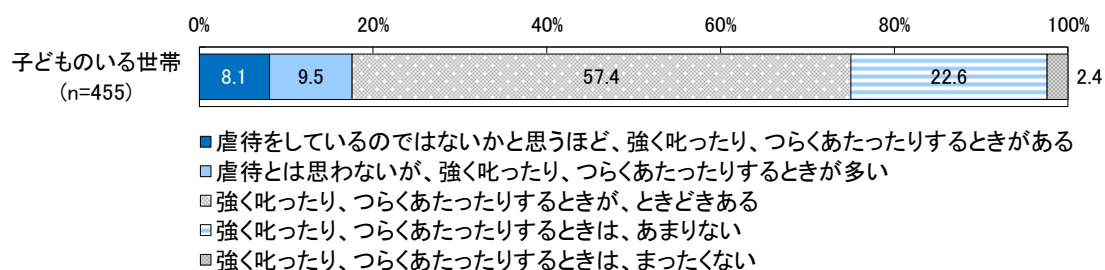
(1) 子どもを強く叱ったり, つらくあたったりした経験

問 38 (第二群 (子どものいる世帯))

あなたは, お子さんを強く叱ったり, つらくあたったりすることがありますか。

(○印は 1 つだけ)

【子どもを強く叱ったり, つらくあたったりした経験 (子どものいる世帯)】

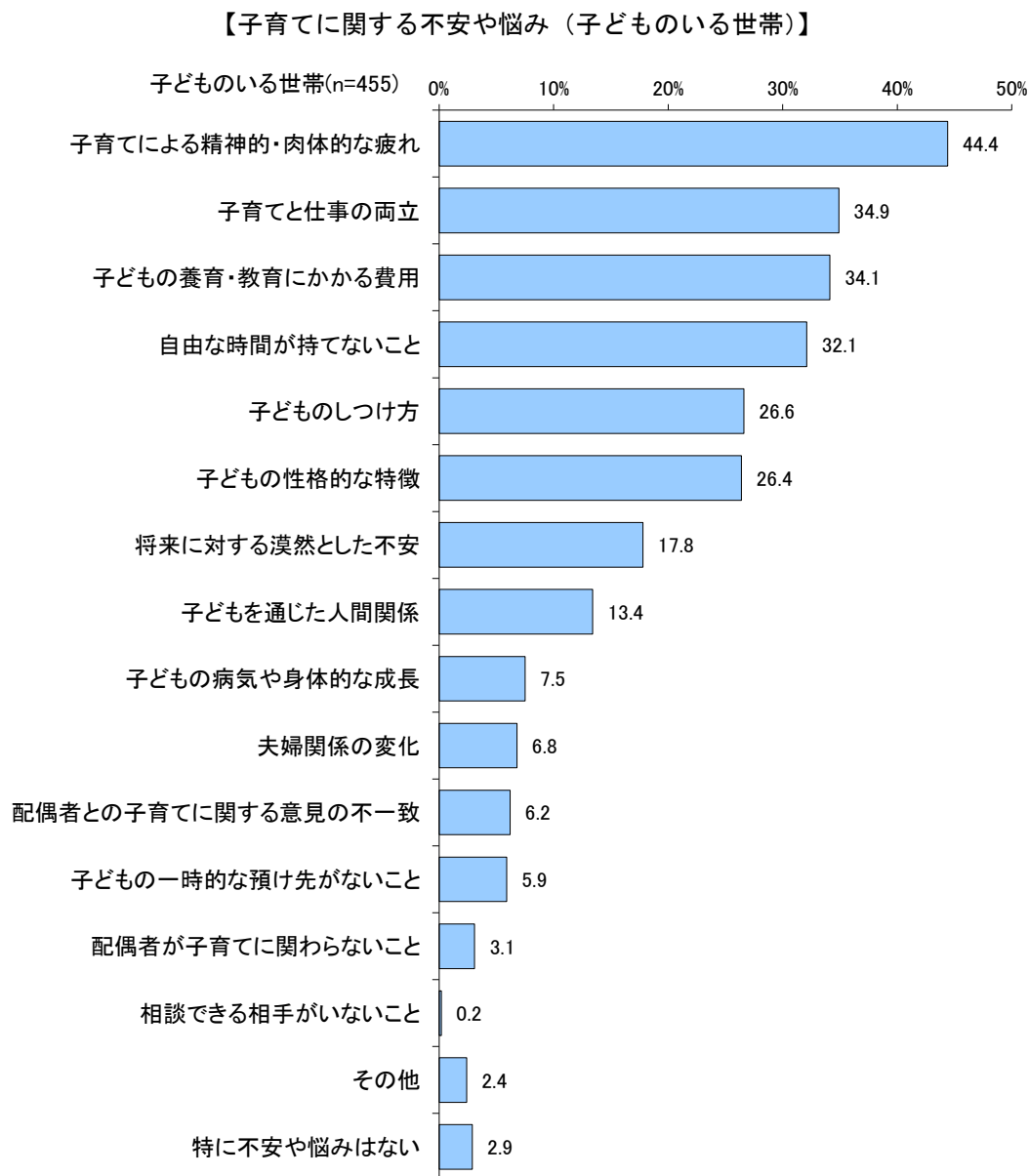


子どもを強く叱ったり, つらくあたったりした経験について, 『ある』(「虐待をしているのではないと思うほど, 強く叱ったり, つらくあたったりするときがある」 + 「虐待とは思わないが, 強く叱ったり, つらくあたったりする 때가 多い」 + 「強く叱ったり, つらくあたったりする 때가, ときどきある」) と回答した割合が 75.0% となっており, 「虐待をしているのではないと思うほど, 強く叱ったり, つらくあたったりするときがある」と回答した割合が 8.1% となっている。

(2) 子育てに関する不安や悩み

問 39 (第二群 (子どものいる世帯))

子育てをしていて、どのような不安や悩みがありますか。(○印は3つまで)



子育てに関する不安や悩みについて、「子育てによる精神的・肉体的な疲れ」と回答した割合が 44.4%と最も高く、「子育てと仕事の両立」(34.9%)、「子どもの養育・教育にかかる費用」(34.1%)、「自由な時間が持てないこと」(32.1%)が続いている。

Ⅲ 調査票

1 第一群調査

岡山県統計調査登録番号第145号

㊫ 統計法に基づく統計調査

結婚、出産、子育てに関する県民意識調査

次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくりを推進するために

[本調査について]

- 岡山県内に在住する方を無作為に抽出し、ご協力をお願いしています。封筒の宛名の方がご回答ください。
- 2023年9月末現在の状況をご回答ください。
- お名前をご記入いただく必要はありません。本調査により個人を特定したり、個別の内容を公表したりすることは決してありません。

[回答方法について]

- 本調査票に直接記入していただく方法のほか、オンライン（パソコン、スマホ、タブレット等）によって簡単に回答することもできます。
- 設問は回答を記入する項目と、選択肢による項目があります。選択肢の項目は、ご自身のことに最も近いと思われる番号でご回答ください。

[返送・入力方法について]

- 本調査票にご記入いただいた場合は、同封の返信用封筒に入れてご郵送ください。切手は不要です。
- オンラインで回答される場合は、次のURLからアクセスしてください。

URL <https://questant.jp/q/okayama-kodomo>



- 2023年10月24日（火）までにご投函（ご回答）いただきますようお願いいたします。オンラインでの入力か、調査票への記入か、どちらか1つだけでご回答ください。

[問い合わせ窓口(岡山県から委託を受けた調査実施機関)]

公益財団法人中国地域創造研究センター(担当：柴田、田中)
電話：082-241-9952（専用）

[調査主体]

岡山県子ども・福祉部子ども未来課(担当：大村、野村)
電話：086-226-7347

[illegible]

質問	選択肢				
(1)就業地	1. 岡山県 _____ 市・町・村 2. 県外 _____ 都・道・府・県 3. 海外				
(2)労働時間	1 日の平均的な労働時間 _____ 時間／日				
(3)労働日数	1 週当たりの平均的な日数 _____ 日／週				
(4)昨年の年収 (税込)	1. 100 万円未満	4. 300 万円台	7. 600 万円台	10. 900 万円台	
	2. 100 万円台	5. 400 万円台	8. 700 万円台	11. 1000 万円以上	
	3. 200 万円台	6. 500 万円台	9. 800 万円台	12. なし	

質問	選択肢			
(1)配偶者の年齢	歳			
(2)配偶者のおつとめの状況（主なものを1つ）	1. 正規の職員・従業員	5. 自営業主・家族従業者	9. 学生	
	2. 会社などの役員	6. 家庭での内職	10. その他	
	3. パート・アルバイト	7. 失業中		
	4. 派遣・嘱託・契約職員	8. 家事		
(3)配偶者の労働時間	1日の平均的な労働時間 時間／日（働いていない場合は0と記入）			
(4)配偶者の労働日数	1週当たりの平均的な日数 日／週（働いていない場合は0と記入）			
(5)配偶者の昨年の年収（税込）	1. 100万円未満	4. 300万円台	7. 600万円台	10. 900万円台
	2. 100万円台	5. 400万円台	8. 700万円台	11. 1000万円以上
	3. 200万円台	6. 500万円台	9. 800万円台	12. なし

2. 結婚について

問4から問7まですべての方にお聞きします。結婚についてお考えをお聞かせください。

問4 あなたご自身の結婚についてどのように考えますか。結婚されたことがある方は、未婚のときを思い出してご回答ください。(○印は1つだけ)

未婚の方	結婚されたことがある方
1. すぐにでも結婚したい	1. ある程度の年齢までに結婚するつもりだった
2. ある程度の年齢までに結婚したい	2. 年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚するつもりだった
3. 年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい	3. 相手が見つかって、当分、結婚するつもりはなかった(いつかは結婚するつもりだった)
4. 相手が見つかって、当分、結婚するつもりはない(いつかは結婚するつもり)	4. 一生、結婚するつもりはなかった
5. 一生、結婚するつもりはない	5. その他()
6. その他()	

問5 結婚したいと思う(思った)理由や結婚のメリットをどのように考えられますか。(○印は2つまで)

1. 自然なことだから	7. 自分の子どもや家族を持てるから
2. 人生を豊かにするから	8. 性的な充足が得られるから
3. 経済的に余裕が持てるから	9. 生活上便利になるから
4. 社会的信用を得たり、周囲と対等になれるから	10. 親から独立できるから
5. 精神的な安らぎの場が得られるから	11. 親を安心させ、周囲の期待に応えられるから
6. 愛情を感じている人と暮らせるから	12. その他()
	13. 特にメリットはない

問6 結婚するつもりはない(結婚するつもりはなかった)理由や、結婚のデメリットをどのように考えられますか。(○印は2つまで)

1. 結婚することを重視していないから	8. 家族を支える責任が生じ、気楽さが失われるから
2. 仕事と結婚を両立できそうにないから	9. 職業を持てず、社会とのつながりが保ちにくくなるから
3. 自分の生き方と結婚を両立できそうにないから	10. 現在の家族とのつながりが保ちにくくなるから
4. 異性との交際の自由が失われるから	11. その他()
5. 金銭的な裕福さが失われるから	12. 特にデメリットはない
6. 住宅や周囲の住環境の選択の幅が小さくなるから	
7. 友人等との広い人間関係が保ちにくいから	

問7 ご自身の結婚について理想と思う年齢がありますか。理想と思う年齢を過ぎた方や結婚されたことがある方は、理想があったかどうかをお聞かせください。(○印は1つだけ)

1. おおよその理想がある(理想があった) 理想の年齢 _____ 歳	3. 結婚するつもりはない(結婚するつもりはなかった)
2. 特に理想はない(理想はなかった)	

問8 問7で1番に○印を付けた方にお聞きます。

理想とする結婚年齢がある（あった）理由をご回答ください。（○印は3つまで）

1. 周囲の人の結婚年齢の影響	7. 自分が一定の社会的信用を得ること
2. 学業との兼ね合い	8. 子どもを持つことを想定する自分や配偶者の年齢
3. 仕事との兼ね合い	9. 家族を支える責任について自分に自信が持てること
4. 結婚資金が十分に得られること	10. 結婚相手の意向
5. 結婚生活に十分な所得になること	11. 親の意向
6. 雇用が安定すること	12. その他（ ）

問9 すべての方にお聞きます。理想の結婚年齢に対する、ご自身の結婚の見通し（結婚されたことがある方は実現状況）をご回答ください。（○印は1つだけ）

未婚の方	結婚されたことがある方
1. ほぼ、理想の年齢で結婚できそう	1. ほぼ、理想どおりの年齢であった
2. 理想の年齢よりも早くなりそう	2. もっと遅く結婚したかった
3. 結婚年齢に理想はないが、結婚できると思う	3. 結婚年齢に理想はなかった
4. 理想の年齢よりも遅くなりそう	4. もっと早く結婚したかった
5. 結婚できそうにない	5. 結婚できそうにないと思っていた
6. 結婚するつもりはない	6. 結婚するつもりはなかった

問10 問9で、4番から6番に○印を付けた方にお聞きます。「理想の年齢よりも遅くなりそう（もっと早く結婚したかった）」「結婚できそうにない（と思っていた）」「結婚するつもりはない（なかった）」と思う理由をご回答ください。（○印は3つまで）

1. 結婚したいと思う相手と出会いそうにないから	11. 出産や子育てに不安があるから
2. 異性とうまく付き合えないから	12. 経済環境・社会環境が不安定・不透明だから（コロナ禍の影響を除く）
3. 学業を優先したいから	13. コロナ禍で生活に悪影響があったり将来が不透明になったりしたから
4. 仕事と結婚を両立できそうにないから	14. 結婚相手の意向だから
5. 自分の生き方と結婚を両立できそうにないから	15. その他（ ）
6. 自分の就業・雇用に不安があるから	16. 結婚するつもりがないのは自分の希望だから
7. 結婚資金が十分でないから	
8. 結婚後の所得に不安があるから	
9. 自分の健康面の不安や身体的な理由から	
10. 自分に自信を持てないから	

問11 独身で働いている方にお聞きます。結婚生活（子育てを含む）を送るとしたら、現在のあなたの所得についてどのように考えられますか。（○印は1つだけ）

1. 十分である	4. まったく不足している
2. 不足しているかもしれないが支障はない	5. 相手の所得しだいである
3. やや不足している	

問12 問11で2番から4番に○印を付けた方にお聞きます。年収（税込）で、あといくらあれば結婚生活（子育てを含む）に十分と考えられますか。（○印は1つだけ）

1. 50 万円程度	5. 400 万円程度	9. 800 万円程度
2. 100 万円程度	6. 500 万円程度	10. 900 万円程度
3. 200 万円程度	7. 600 万円程度	11. 1000 万円程度以上
4. 300 万円程度	8. 700 万円程度	

3. 子どもを持つことについて

問13 すべての方にお聞きます。希望する子どもの数は何人ですか。（子育て中の方は、既にいるお子さんの数を含みます）（○印は1つだけ）

1. 一人	4. 四人
2. 二人	5. 五人以上
3. 三人	6. 子どもは欲しくない

問14 問13で1番から5番に○印を付けた方にお聞きます。

子どもが欲しいと思う（思った）理由はどのようなことでしょうか。（○印は3つまで）

1. 自然なことだから	6. 将来、社会の支えになるから
2. 子どもが好きだから	7. 夫婦関係を安定させるから
3. 周囲に認められるから	8. 好きな人の子どもを持ちたいから
4. 生活が楽しく心が豊かになるから	9. 周囲が望むから
5. 老後の支えになるから	10. その他（ ）

問15 問13で1番または6番に○印を付けた方にお聞きます。子どもは欲しくない、または希望する子どもの数が一人である理由はどのようなことでしょうか。（○印は3つまで）

1. 子どもを持つ積極的な意味が見出せないから	8. 子どもを養う責任が増え、気楽さが失われるから
2. 仕事と子育てを両立できそうにないから	9. 子育てや教育に、お金がかかりすぎるから
3. 自分の生き方と子育てを両立できそうにないから	10. 現在の家族とのつながりが保ちにくくなるから
4. 自分や配偶者の就業・雇用に不安があるから	11. 妊娠・出産に対して自信がないから
5. 所得に不安があるから	12. 子育てに自信がないから
6. 住宅や周囲の住環境の選択の幅が小さくなるから	13. あまり子どもが好きではないから
7. 職業を持てず、社会とのつながりが保ちにくくなるから	14. 結婚するつもりがないから
	15. その他（ ）

問16 すべての方にお聞きします。希望とは別に、現実には持てると思う子どもの数は何人ですか。

(○印は1つだけ)

- | | |
|-------|----------------|
| 1. 一人 | 4. 四人 |
| 2. 二人 | 5. 五人以上 |
| 3. 三人 | 6. 子どもを持つ予定はない |

問17 問16で回答された子ども数が希望の子ども数より少ない方にお聞きします。希望の子ども数より少ない理由はどのようなことでしょうか。(○印は3つまで)

- | | |
|------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 結婚が遅くなりそうだから | 10. 妊娠・出産・子育ては肉体的・精神的な負担が大きいから |
| 2. 自分や配偶者の年齢が高いから | 11. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから |
| 3. 仕事と出産・子育てを両立できそうにないから | 12. 希望する保育所等に預けられそうにないから |
| 4. 自分の生き方と出産・子育てを両立できそうにないから | 13. 子どもを持つことを重視していないから |
| 5. 自分や配偶者の就業・雇用に不安があるから | 14. 自分に自信が持てないから |
| 6. 所得に不安があるから | 15. 配偶者が望まないから |
| 7. 自分や配偶者の健康面の不安や身体的な不安があるから | 16. 経済環境・社会環境が不安定・不透明だから(コロナ禍の影響を除く) |
| 8. 住宅事情が厳しいから | 17. コロナ禍で生活に悪影響があったり、将来が不透明になったりしたから |
| 9. 家事や子育ての協力者がいないから | 18. その他 () |

4. 男女の出会いについて

問18 現在、独身の方にお聞きします。現在、交際している異性の方はいますか。

(○印は1つだけ)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. いる | 3. これまでも出会いの機会がなかった |
| 2. 今はいない(過去はいた) | |

問19 問18で1番に○印を付けた独身の方と現在結婚されている方にお聞きします。いま交際されている方とはどのように出会われましたか。結婚されている方は、現在の配偶者との出会いについてご回答ください。(○印は1つだけ)

- | | |
|------------------------|--|
| 1. 学校で | 9. アプリなどオンラインによる民間の結婚相談サービスで |
| 2. 職場や仕事の関係で(アルバイトを含む) | 10. 公的な出会いづくりの場で(出会いイベントやオンラインマッチングサービス) |
| 3. 幼なじみ・隣人関係で | 11. まちなかや旅先で |
| 4. 学校以外のサークル活動、趣味や習い事で | 12. 結婚相談サービス以外のSNS等、インターネットを通じて |
| 5. 地域活動やコミュニティ活動で | 13. その他 () |
| 6. 友人や兄弟姉妹を通じて | |
| 7. 見合いで(親戚や上役などの紹介を含む) | |
| 8. 民間の対面の結婚相談サービスで | |

問20 問18で2番または3番に○印を付けた現在独身の方にお聞きます。

あなたの周囲では、交際や結婚につながるような異性との出会いはありますか。以下の①から⑨の項目それぞれについて、右の選択肢の中から1つずつ選んで○印を付けてください。

項目	選択肢			
	あると思う	どちらかと言えば、あると思う	どちらかと言えば、ないと思う	ないと思う
① 学校で（学生の方のみ）	1	2	3	4
② 職場や仕事の関係で（アルバイトを含む）	1	2	3	4
③ 幼なじみ・隣人関係で	1	2	3	4
④ 学校や職場以外のサークル活動、趣味や習い事で	1	2	3	4
⑤ 地域活動やコミュニティ活動で	1	2	3	4
⑥ 友人、兄弟姉妹を通じて	1	2	3	4
⑦ 見合い、親戚や上役などの紹介で	1	2	3	4
⑧ SNS等、インターネットを通じて	1	2	3	4
⑨ あなたの周囲全般	1	2	3	4

問21 問20で選択肢の3番または4番に1つでも○印を付けた方にお聞きます。

「ないと思う」のはどのような理由からでしょうか。（○印はいくつでも）

1. 職場に若年の従業員が少ないから	9. 以前の見合い話のような、親戚、知人、上司等からの紹介がないから
2. 職場の従業員の男女比に偏りがあるから	10. 自分がスポーツ、文化、余暇等の活動を通じた交遊に積極的でないから
3. 仕事で職場外との交流が少ないから	11. 自分が地域の交流活動に積極的でないから
4. 若者が出会い、交流する地域活動が活発でないから	12. 自分は友人が少ないから
5. 地域の若年人口男女比に偏りがあるから	13. 自分がSNS等を通じた交流に積極的でないから
6. 地域コミュニティの担い手が年配者に偏っているから	14. その他（ ）
7. 地域の若年人口が減少しているから	
8. 自分は働いていないから	

5. 男女の役割分担やワークライフバランスについて

問22から問26まですべての方にお聞きます。

問22 「結婚したら夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どのように思われますか。（○印は1つだけ）

1. とてもそう思う	4. どちらかと言えばそう思わない
2. そう思う	5. そう思わない
3. どちらかと言えばそう思う	6. まったくそう思わない

問23 結婚生活のための所得について、自分や結婚相手の役割の理想についてどのように考えられますか。独身の方は結婚した場合を想定してご回答ください。(○印は1つだけ)

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| 1. 必要な所得の大半は自分が稼ぐ(結婚相手は働かなくてもよい) | 3. 夫婦で同じくらいの所得を得ることができたらいい |
| 2. 自分は不足分やゆとり分を補う程度でよい(家事専念を含む) | 4. 所得の割合に関係なく夫婦ともに働けたらいい |

問24 結婚生活を送る上で、自分や結婚相手の雇用の理想についてどのように考えられますか。独身の方は結婚した場合を想定してご回答ください。(○印は1つだけ)

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 自分が正規雇用であればよい | 3. 両方とも正規雇用が望ましい |
| 2. 相手が正規雇用であればよい | 4. 正規・非正規に関係なく夫婦ともに働けたらいい |

問25 結婚生活を送る上で、自分や結婚相手のキャリアアップ[※]の理想についてどのように考えられますか。独身の方は結婚した場合を想定してご回答ください。(○印は1つだけ)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 自分のキャリアアップを優先する | 3. 二人ともキャリアアップを目指す |
| 2. 相手のキャリアアップを優先する | 4. キャリアアップに関係なく夫婦ともに働けたらいい |

(※)ここでのキャリアアップ(経歴の向上)とは、昇進・昇格だけでなく、能力や専門性を磨き、仕事の幅を広げたり、仕事のレベルを上げたりすることを含みます。

問26 仕事と家庭生活(子育てを含む)について、これらの優先度の理想と現実をどのように考えられますか。独身の方は、結婚したときの予想をご回答ください。(○印はそれぞれ1つだけ)

(1)理想	→	(2)現実(独身の方は予想)
1. 仕事を優先したい		1. 仕事を優先している
2. 家庭生活を優先したい		2. 家庭生活を優先している
3. 仕事も家庭も、ほどほどで両立したい		3. 仕事も家庭も、ほどほどで両立している
4. 仕事も家庭も、充実させて両立したい		4. 仕事も家庭も、充実させて両立している

問27 現在結婚している方にお聞きます。家事や子育てについて、あなたはどのように関わっていますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 自分がほとんど一人でやっている | 3. 身の回りのことなど少しは自分でやっている |
| 2. 夫婦でお互いに半分程度やっている | 4. 家事や子育てはほとんどやっていない |

問28 現在結婚している方にお聞きます。配偶者の家事や子育ての関わり方についてどのように思われますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. とても満足している | 4. どちらかと言えば不満である |
| 2. 満足している | 5. 不満である |
| 3. どちらかと言えば満足している | 6. とても不満である |

6. 働く女性の仕事と子育ての両立について

問29 すべての方にお聞きします。女性の結婚、出産、仕事に関わるライフコースは、あなたからみると、どのようなタイプが理想と考えられますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|--|--|
| 1. 結婚せず、仕事を続ける | 5. 結婚し、子どもを持ち、結婚や出産を機会に退職し、その後は仕事を持たない |
| 2. 結婚するが子どもを持たず、仕事を続ける | 6. その他 () |
| 3. 結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける | |
| 4. 結婚し、子どもを持つが、結婚や出産を機会にいったん退職し、その後再び仕事を持つ | |

問30 すべての方にお聞きします。働く女性のキャリアアップについて、あなたは、どのようなタイプが理想だと考えますか。現在、お子さんをお持ちでない方も、子どもがいた場合を想定してご回答ください。(○印は1つだけ)

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 子どもは持たずに、仕事でのキャリアアップを目指す | 4. 子どもの数にかかわらず、キャリアアップに一定程度取り組み、自分の時間や家庭、子育てとの両立を目指す |
| 2. 子どもの数は一人で、仕事でのキャリアアップを目指す | 5. 子どもの数にかかわらず、仕事にはしっかり取り組むが、キャリアアップは目指さない |
| 3. 子どもの数は二人以上で、仕事でのキャリアアップを目指す | 6. その他 () |

問31 現在就業されており、問30で2番から4番に○印を付けた方にお聞きします。

現実には、あなたの職場では、働く女性が子育てをしながら、理想のキャリアアップができると思いますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. とてもそう思う | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 2. そう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらかと言えばそう思う | 6. まったくそう思わない |

問32 現在就業されている方にお聞きします。働く女性のキャリアアップに関わらず、あなたの職場では、結婚、妊娠・出産、子育てに対して、以下のような配慮があると考えられますか(男性への配慮を含む)。(それぞれの項目に○印は1つだけ)

項目	選択肢				
	あると思う	どちらかと言えば、あると思う	どちらかと言えば、ないと思う	ないと思う	判断できない・該当しない
① 育児休業(男性を含む)や子どもの急な病気等による休暇の取りやすさ	1	2	3	4	5
② 定時退社の声かけ等、職場における仕事と家庭の両立を支援する雰囲気	1	2	3	4	5
③ 若年層の給与水準や家族手当の支給等、結婚や子育て等への経済的支援	1	2	3	4	5
④ 仕事と子育ての両立に関わる相談体制や上司の理解	1	2	3	4	5
⑤ 職場の男女比や社外との交流等、男女の出会いや交流への配慮	1	2	3	4	5
⑥ 短時間勤務や在宅勤務、勤務地限定等、仕事と家庭の両立への配慮	1	2	3	4	5

7. 地域社会における人々の関わり合いについて

問33から問35まですべての方にお聞きします。

問33 あなたが暮らしている地域（自治会単位などの地域コミュニティの範囲）や、あなたと地域との関わりについて、どのように考えますか。（それぞれの項目に○印は1つだけ）

項目	選択肢					
	とても そう思う	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わ ない	そう思わ ない	まったく そう思わ ない
① 伝統行事や町内会活動などが活発である	1	2	3	4	5	6
② スポーツ活動や趣味の活動が活発である	1	2	3	4	5	6
③ 地域活動で同年代の人とふれ合う機会が多い	1	2	3	4	5	6
④ 自分は地域活動への参加に積極的である	1	2	3	4	5	6
⑤ 地域のコミュニティで、日常的に生活面で協力している	1	2	3	4	5	6

問34 あなたが暮らしている地域の暮らしやすさ、居心地のよさについてどのように考えますか。（それぞれの項目に○印は1つだけ）

項目	選択肢					
	とても そう思う	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わ ない	そう思わ ない	まったく そう思わ ない
① 近所に信頼して相談できる友人・知人がいる	1	2	3	4	5	6
② 自分は近所で挨拶や立ち話をよくする	1	2	3	4	5	6
③ いま暮らしている地域の生活ペースが自分に合っている	1	2	3	4	5	6
④ 地域の人間関係にわずらわしさを感じることがある	1	2	3	4	5	6
⑤ 地域の人々のつながりは、自分にはあたたかく、心地よい	1	2	3	4	5	6

問35 子どもの頃の経験についてお聞きします。あなたの身近な人の結婚や子どものこと、また遊び方についてどのように考えますか。（それぞれの項目に○印は1つだけ）

項目	選択肢					
	とても そう思う	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わ ない	そう思わ ない	まったく そう思わ ない
① 両親や親戚に仲の良い夫婦がいた	1	2	3	4	5	6
② 友人の両親や知人に仲の良い夫婦がいた	1	2	3	4	5	6
③ 小さい子どもとふれ合う機会がよくあった	1	2	3	4	5	6
④ 身近に三人以上子どもを持つ夫婦が多かった	1	2	3	4	5	6
⑤ 自然が身近にあり、日常的に自然の中で遊ぶ機会があった	1	2	3	4	5	6
⑥ 公園等で子どもだけでよく外遊びをした	1	2	3	4	5	6

8. 結婚とお住まいについて

問36 現在、結婚している方または結婚経験のある方にお聞きします。

結婚後に生活を始めた住居地を決めたとき、地域特性をどのように評価しましたか。

(それぞれの項目に○印は1つだけ)

項目	評価できる			不満である			重視していなかった
	とても評価した	いづらか評価した	少しだけ評価した	少しだけ不満だった	いづらか不満だった	とても不満だった	
① 通勤時間（職住の近接性）	1	2	3	4	5	6	7
② 交通利便性（鉄道、バス等の利用のしやすさ）	1	2	3	4	5	6	7
③ 賃貸住宅の選びやすさ、家賃の手ごろさ	1	2	3	4	5	6	7
④ 広い居室がある住宅や持ち家や戸建ての入手のしやすさ	1	2	3	4	5	6	7
⑤ 産婦人科、小児科等の医療環境	1	2	3	4	5	6	7
⑥ 防災、治安等の安全・安心面	1	2	3	4	5	6	7
⑦ 大型店や大手チェーン店の路面立地による買い物や飲食の利便性	1	2	3	4	5	6	7
⑧ 通勤途中や歩いて行ける近隣商店等での買い物や飲食の利便性	1	2	3	4	5	6	7
⑨ 住宅地の閑静さ、公園や自然の近接性	1	2	3	4	5	6	7
⑩ 保育所・幼稚園等の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	6	7
⑪ 学校・習い事・塾等の教育環境	1	2	3	4	5	6	7
⑫ 地域コミュニティとの関わりやすさ	1	2	3	4	5	6	7
⑬ 児童公園や自然環境等、子どもの外遊び環境	1	2	3	4	5	6	7
⑭ 親と同居・近居できること	1	2	3	4	5	6	7

9. 妊娠・出産、結婚・子育て、あなたの生活の満足度や価値観について

問37から問39まですべての方にお聞きします。

問37 妊娠・出産に関する次の医学的知見についてご存知ですか。

(それぞれの項目に○印は1つだけ)

項目	選択肢			
	よく知っている	少し知っている	あまり知らない	知らない
① 女性は年齢が高くなるほど、妊娠する力（妊孕性）が低下すること	1	2	3	4
② 男性の精子が、年齢に伴い減少し、老化すること	1	2	3	4
③ 不妊の原因が男性にある場合もあること	1	2	3	4

問38 結婚や子どもを持つこと、生活の満足感やご自身についてのお考えをご回答ください。
(それぞれの項目に○印は1つだけ)

項目	選択肢					
	とても そう思う	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わ ない	そう思わ ない	まったく そう思わ ない
① 結婚することは自然なことである	1	2	3	4	5	6
② 子どもを持つことは自然なことである	1	2	3	4	5	6
③ 結婚することは重要である	1	2	3	4	5	6
④ 子どもを持つことは重要である	1	2	3	4	5	6
⑤ 結婚して配偶者がいたら生活が楽しく豊かになる	1	2	3	4	5	6
⑥ 子どもがいたら生活が楽しく豊かになる	1	2	3	4	5	6
⑦ 仲の良い夫婦を見ると幸せそうと思う	1	2	3	4	5	6
⑧ 小さい子どもを持つ夫婦を見ると幸せそうと思う	1	2	3	4	5	6
⑨ 自分自身に満足している	1	2	3	4	5	6
⑩ 自分はうまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	1	2	3	4	5	6
⑪ 自分は役に立たないと感じる	1	2	3	4	5	6
⑫ 自分はありのまま、素直に生きていると思う	1	2	3	4	5	6
⑬ 自分には「居場所」があると思う	1	2	3	4	5	6
⑭ 今の生活は心身ともに良好だと思う	1	2	3	4	5	6

問39 最後に、世帯構成についてお聞かせください。

質問	選択肢
(1)世帯人数	_____人 (本人を含む世帯人数)
(2)世帯構成 (本人以外の同居者、○印はいくつでも)	<div> 1. 配偶者 2. 子ども (_____人) 3. 自分の父親 </div> <div> 4. 自分の母親 5. 配偶者の父親 6. 配偶者の母親 7. その他 (_____) </div>
(3)最初の子どもをもったときの自分の年齢	(子どもがいる方のみ) _____歳
(4)親との同居や近居の状況 (○印は1つ) (配偶者の親を含む)	<div>1. 親と同居している</div> <div>2. 同居はしていないが、親と日常的に往来できるところに住んでいる</div> <div>3. どちらの親も日常的に往来できるところに住んでいない</div> <div>4. どちらの両親も亡くなった</div>

－ ご協力、誠にありがとうございました －

2 第二群調査



©岡山県「ももっち・うらっち」

岡山県統計調査登録番号第145号

秘 統計法に基づく統計調査

子育てに関する県民意識調査（子どものいる世帯調査）

次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくりを推進するために

【本調査について】

- ・ 保育所、幼稚園、小学校を通じて、岡山県内の子育て世帯にご協力をお願いしています。子育て世帯のご両親、またはそれに準じる方がご回答ください。
- ・ 2023年9月末現在の状況をご回答ください。
- ・ 名前をご記入いただく必要はありません。本調査により個人を特定したり、個別の内容を公表したりすることは決してありません。
- ・ 岡山県内の個人の方を対象とした「結婚、出産、子育てに関する県民意識調査」を同時に実施しています。同調査にご回答いただいた方も本調査にご協力くださるようお願いいたします。

【回答方法について】

- ・ 本調査票に直接記入していただく方法のほか、オンライン（パソコン、スマホ、タブレット等）によって簡単に回答することもできます。
- ・ 設問は回答を記入する項目と、選択肢による項目があります。選択肢の項目は、自分の世帯やご自身のことに最も近いと思われる番号でご回答ください。

【返送・入力方法について】

- ・ 本調査票にご記入いただいた場合は、同封の返信用封筒に入れてご郵送ください。切手は不要です。
- ・ オンラインで回答される場合は、次のURLからアクセスしてください。

URL <https://questant.jp/q/okayama-kosodate>



- ・ 2023年11月13日(月)までにご投函（ご回答）いただきますようお願いします。オンラインでの入力か、調査票への記入か、どちらか1つだけでご回答ください。

【問い合わせ窓口(岡山県から委託を受けた調査実施機関)】

公益財団法人中国地域創造研究センター(担当：柴田、田中)

電話：082-241-9952（専用）

【調査主体】

岡山県子ども・福祉部子ども未来課(担当：大村、野村)

電話：086-226-7347

1. あなたご自身と配偶者について

問1 最初に、回答された方についてお聞かせください。(それぞれの項目に○印は1つだけ)

質問	選択肢
(1)お子さんとの続柄	1. 父 2. 母 3. 祖父 4. 祖母 5. 親族 6. その他 ()
(2)性別	1. 男 2. 女
(3)年齢	_____ 歳
(4)お住まいの市町村	岡山県 _____ 市・町・村
(5)回答者の出身地	1. 岡山県 _____ 市・町・村 3. 外国 2. 県外 _____ 都・道・府・県
(6)最後に卒業した、または在学中の学校	1. 中学校 5. 大学 2. 高校 6. 大学院 3. 専修・専門学校(高卒後) 7. その他 () 4. 短大・高専
(7)おつとめの状況 (主なものを1つ)	1. 正規の職員・従業員 5. 自営業主・家族従業者 9. 学生 2. 会社などの役員 6. 家庭での内職 10. その他 3. パート・アルバイト 7. 失業中 4. 派遣・嘱託・契約職員 8. 家事
(8)労働時間	1日の平均的な労働時間 _____ 時間/日 (働いていない場合は0とご記入ください)
(9)労働日数	1週当たりの平均的な日数 _____ 日/週 (働いていない場合は0とご記入ください)
(10)昨年の年収(税込)	1. 100万円未満 4. 300万円台 7. 600万円台 10. 900万円台 2. 100万円台 5. 400万円台 8. 700万円台 11. 1000万円以上 3. 200万円台 6. 500万円台 9. 800万円台 12. なし
(11)結婚の状況	1. 両方とも初婚 4. 両方とも再婚 2. 自分は初婚、配偶者は再婚 5. 配偶者なし(離別・死別) 3. 自分は再婚、配偶者は初婚 6. 配偶者なし(未婚)
(12)結婚時の年齢	初婚時 _____ 歳
(13)配偶者との同居	1. 同居している 2. 同居していない(離別・死別・未婚を含む)

問2 現在、配偶者がおられる方にお聞きします。あなたの配偶者についてご回答ください。

(それぞれの項目に○印は1つだけ)

質問	選択肢
(1)年齢	_____ 歳
(2)最後に卒業した、または在学中の学校	1. 中学校 5. 大学 2. 高校 6. 大学院 3. 専修・専門学校(高卒後) 7. その他 () 4. 短大・高専
(3)おつとめの状況 (主なものを1つ)	1. 正規の職員・従業員 5. 自営業主・家族従業者 9. 学生 2. 会社などの役員 6. 家庭での内職 10. その他 3. パート・アルバイト 7. 失業中 4. 派遣・嘱託・契約職員 8. 家事
(4)労働時間	1日の平均的な労働時間 _____ 時間/日 (働いていない場合は0とご記入ください)
(5)労働日数	1週当たりの平均的な日数 _____ 日/週 (働いていない場合は0とご記入ください)
(6)昨年の年収(税込)	1. 100万円未満 4. 300万円台 7. 600万円台 10. 900万円台 2. 100万円台 5. 400万円台 8. 700万円台 11. 1000万円以上 3. 200万円台 6. 500万円台 9. 800万円台 12. なし

2. 子育てに対する感じ方について

問3から問4まですべての方にお聞きます。

問3 あなたは子育てをしていて、どのように感じていますか。（それぞれの項目に○印は1つだけ）

項目	選択肢					
	とても そう思う	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わ ない	そう思わ ない	まったく そう思わ ない
① 子育てをしていて幸せを感じる	1	2	3	4	5	6
② 子育ては楽しい	1	2	3	4	5	6
③ 子育ては、つらく、負担になることが多い	1	2	3	4	5	6
④ 子育てをしていて、自信や意欲を失うことが多い	1	2	3	4	5	6

問4 総合的にみて、子育てをしていて、楽しい、よかったと思うことと、つらい、負担だと思うことは、どちらの方が多いと思われますか。（○印は1つだけ）

1. いつも、楽しい、よかったと思う	4. どちらかと言えば、つらい、負担だと思うときの方が多い
2. 楽しい、よかったと思うときの方が多い	5. つらい、負担だと思うときの方が多い
3. どちらかと言えば、楽しい、よかったと思うときの方が多い	6. いつも、つらい、負担だと思う

3. 子どもの数について

問5から問7まですべての方にお聞きます。

問5 お子さんの年齢と性別を第3子までご回答ください。現在の結婚以前に持ったお子さんを含みます。第2子以上で、該当のお子さんがおられない場合は空欄としてください。

お子さん	年齢	お子さん	年齢
第1子	____ 歳 （男・女）	第3子	____ 歳 （男・女）
第2子	____ 歳 （男・女）		

問6 あなたにとって、希望する子どもの数は何人ですか（既にいるお子さんの数を含みます）。（○印は1つだけ）

1. 一人	3. 三人	5. 五人以上
2. 二人	4. 四人	6. 子どもはほしくなかった

問7 希望とは別に、現実には持てると思う子どもの数は何人ですか（既にいるお子さんの数を含みません）。（○印は1つだけ）

1. 一人	3. 三人	5. 五人以上
2. 二人	4. 四人	

問8 問7で回答された子ども数が問6の希望する子ども数より少ない方にお聞きます。希望の子ども数より少ない理由はどのようなことでしょうか。(○印は3つまで)

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 結婚が遅かったから | 11. 妊娠・出産・子育ては肉体的・精神的な負担が大きいから |
| 2. 自分や配偶者の年齢が高いから | 12. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから |
| 3. 仕事と出産・子育てを両立できそうにないから | 13. 希望する保育所等に預けられそうにないから |
| 4. 自分の生き方と出産・子育てを両立できそうにないから | 14. 子どもを持つことを重視していないから |
| 5. 自分や配偶者の就業・雇用に不安があるから | 15. 自分に自信が持てないから |
| 6. 所得に不安があるから | 16. 配偶者が望まないから |
| 7. 不妊治療がうまくいかかわからないから | 17. 経済環境・社会環境が不安定・不透明だから(コロナ禍の影響を除く) |
| 8. 自分や配偶者の健康面や身体的な不安があるから(不妊を除く) | 18. コロナ禍で生活に悪影響があったり、将来が不透明になったりしたから |
| 9. 住宅事情が厳しいから | 19. その他() |
| 10. 家事や子育ての協力者がいないから | |

問9 問6の希望する子ども数と問7の現実に持てると思う子ども数が一致している方にお聞きます。あなたにとって、持てると思う子ども数を実現するにあたって、問題がある(あった)とすれば、それはどのようなことでしょうか。(○印はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| 1. 自分や配偶者の就業・雇用が不安定になること | 8. 保育所等の子どもの預け先がないこと |
| 2. 収入が不安定になること | 9. 経済環境・社会環境の不安定さ・不透明さの悪化 |
| 3. 仕事と出産・子育ての両立が困難になること | 10. その他() |
| 4. 不妊治療がうまくいかないこと | 11. 問題はない(なかった) |
| 5. 年齢や健康上の理由で子どもができないこと(不妊を除く) | |
| 6. 子育てに適した住宅が得られないこと | |
| 7. 家事や子育ての協力者がいないこと | |

4. 第1子について

問10から問12まですべての方にお聞きます。

問10 あなたの第1子が生まれたとき、あなたと、相手となる父親(あるいは母親)は何歳でしたか。

項目	(1)あなた	(2)相手となる父親(母親)
年齢	_____ 歳	_____ 歳

問11 第1子が生まれたときのあなたの年齢についてどのように考えられますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. ほぼ、理想どおりの年齢であった | 4. 第1子が生まれるときの年齢に理想はなかった |
| 2. もっと早く第1子がほしかった | 5. 子どもを持つ予定はなかった |
| 3. もっと遅く第1子がほしかった | |

問12 結婚してから第1子が生まれるまでの期間には、どのようなことが影響したと考えられますか。(○印は3つまで)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 夫婦だけの時間を楽しみたかったこと、大切にしていたこと | 7. 自分や配偶者の健康や身体的な不安や事情(不妊を除く) |
| 2. 雇用や所得に対する不安 | 8. 子どもは欲しかったが、たまたま子どもができなかったこと |
| 3. 出産や子育てと仕事の両立に対する不安 | 9. 子どもができたのは予定外であったこと |
| 4. 子どもを持つことを重視していなかったこと | 10. その他 () |
| 5. 学業や仕事の成果、昇進等、ライフコースを優先したこと | 11. 影響を及ぼしたことはない(予定どおりだった) |
| 6. 不妊治療に要した時間 | |

5. 第2子以降について

問13 すべての方にお聞きします。第1子の子育て経験が、第2子を持つ希望に影響したと考えられますか。第2子をお持ちでない方は、現在のお考えをお聞かせください。(○印は1つだけ)

- | |
|--|
| 1. 第2子を持ちたいという希望につながった(つながっている) |
| 2. どちらかと言えば、第2子を持ちたいという希望につながった(つながっている) |
| 3. どちらかと言えば、もう子どもは欲しくないという気持ちになった |
| 4. もう子どもは欲しくないという気持ちになった |
| 5. もともと第2子を持つという希望はなかった(ない) |
| 6. 影響はなかった(ない) |

問14 問13で1番または2番に○印を付けた方にお聞きします。第1子の子育て経験が第2子の希望につながった理由は何のようなことでしょうか。(○印は3つまで)

- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| 1. 子どもを持つことに幸せを感じたから | 6. 子育てと仕事の両立に自信を持てたから |
| 2. 子育てをすることに幸せを感じたから | 7. 子育てを通じて生きがいを得たり、人生の視野が広がったりしたから |
| 3. 夫婦で協力しあい、子育てをすることができたから | 8. 子育てを通じて子どもが好きになったから |
| 4. 子育てに対する周囲の配慮や助けがありがたかったから | 9. 男の子、あるいは女の子が欲しくなったから |
| 5. 子育てに自信が持てたから | 10. その他 () |

問15 問13で3番または4番に○印を付けた方にお聞きします。第1子の子育て経験で「もう子どもは欲しくないという気持ちになった」理由は何のようなことでしょうか。(○印は3つまで)

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 1. 子どもの養育や教育が経済的に負担になったから | 6. 自分の人生や行動の選択が狭まったから |
| 2. 配偶者の協力があまり得られなかったから | 7. 身体的・精神的負担が大きかったから |
| 3. 親族等の助けがなかったから | 8. 子どもの扱いが難しいと感じたから |
| 4. 地域で暮らす上で子育てがしづらい、居心地が悪いと感じたから | 9. 子どもが嫌いになったから |
| 5. 子育てと仕事の両立が難しかったから | 10. その他 () |

問16 二人以上のお子さんをお持ちの方にお聞きます。第2子までの子育てをしたご経験が、第3子を持つ希望に影響したと考えられますか。第3子をお持ちでない方は、現在のお考えをお聞かせください。(○印は1つだけ)

1. 第3子を持ちたいという希望につながった (つながっている)
2. どちらかと言えば、第3子を持ちたいという希望につながった (つながっている)
3. どちらかと言えば、もう子どもは欲しくないという気持ちになった
4. もう子どもは欲しくないという気持ちになった
5. もともと第3子を持つという希望はなかった (ない)
6. 影響はなかった (ない)

6. 子育ての費用と進学について

問17から問20まですべての方にお聞きます。

問17 子育てでは、どのようなことが家計の負担になっていると思いますか。過去のご経験や子どもが成長した将来の予想も含めご回答ください。(○印は3つまで)

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 保育所・幼稚園等の保育料 | 7. 中学校の教育費 |
| 2. 小学校の教育費 | 8. 高校の教育費 |
| 3. 食費、衣服等の生活必需品の費用 | 9. 短大・専修・専門学校等の教育費 |
| 4. 子どもの医療費 | 10. 大学・大学院の教育費 |
| 5. 家族で過ごすための娯楽費 | 11. その他 () |
| 6. 塾や習い事の費用 | 12. 特に負担になっている (なる) ことはない |

問18 お子さんにどの程度の教育を受けさせたいとお考えでしょうか。男の子または女の子がいなくても、いと仮定してご回答ください。(○印はそれぞれ1つずつ)

(1)男の子		(2)女の子	
1. 中学校	4. 短大・高専	1. 中学校	4. 短大・高専
2. 高校	5. 大学	2. 高校	5. 大学
3. 専修・専門学校(高校卒業後)	6. 大学院	3. 専修・専門学校(高校卒業後)	6. 大学院
	7. その他 ()		7. その他 ()

問19 問18のように考えられる理由はどのようなことでしょうか。(○印は3つまで)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 子どもの幸せには教育が重要だから | 6. 家業を継ぐなど仕事にあった学歴があるから |
| 2. 自分の学歴と同等か、それ以上がよいから | 7. 結婚、出産したら、仕事を続ける必要がないから |
| 3. 自分の学歴と同じで十分だから | 8. 子どもの数が多いから |
| 4. 教育費を負担することが難しいから | 9. その他 () |
| 5. 子どもに勉強を強いたくないから | |

問20 世帯収入が増えたり、子どもの養育費や教育費の負担が少なくなったりすれば、もう一人子どもを持ちたいと考えられますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. とてもそう思う | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 2. そう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらかと言えばそう思う | 6. まったくそう思わない |

問21 問20で1番から3番に○印を付けた方にお聞きます。夫婦の合計年収（税込）で、あといくらあれば、もう一人子どもを持ってもいいと考えられますか。ひとり親の方は、ご自身の年収でご回答ください。（○印は1つだけ）

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. プラス 50 万円程度 | 5. プラス 400 万円程度 |
| 2. プラス 100 万円程度 | 6. プラス 500 万円程度以上 |
| 3. プラス 200 万円程度 | 7. 年収が増えても子どもを増やしたいと思わない |
| 4. プラス 300 万円程度 | |

問22 問20で1番から3番に○印を付けた方にお聞きます。どのような養育費や教育費の負担が少なくなることが重要ですか。（○印は3つまで）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 保育所・幼稚園等の保育料 | 7. 高校の教育費 |
| 2. 小学校の教育費 | 8. 短大・専修・専門学校等の教育費 |
| 3. 食費、衣服等の生活必需品の費用 | 9. 大学・大学院の教育費 |
| 4. 子どもの医療費 | 10. その他（ ） |
| 5. 塾や習い事の費用 | 11. 特になし |
| 6. 中学校の教育費 | |

7. 配偶者の子育てや家事に対する関わり方と育児休暇について

問23から問24までは、現在、配偶者と同居されている方にお聞きます。

問23 あなたと配偶者は、子育てや家事にどれくらい関わっていますか。（○印はそれぞれ1つずつ）

(1)あなたの関わり方	(2)配偶者の関わり方
1. 自分がほとんど一人でしている	1. 配偶者がほとんど一人でしている
2. 十分に関わっている	2. 十分に関わっている
3. ある程度関わっている	3. ある程度関わっている
4. あまり関わっていない	4. あまり関わっていない
5. まったく関わっていない	5. まったく関わっていない

問24 配偶者の子育てや家事の関わり方についてどのように思われますか。（○印は1つだけ）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. とても満足している | 4. どちらかと言えば不満である |
| 2. 満足している | 5. 不満である |
| 3. どちらかと言えば満足している | 6. とても不満である |

問25 就業されている方や就業されている同居中の配偶者がおられる方にお聞きます。平日、平均的にみて、何時頃に仕事から帰宅されるでしょうか。24時間単位でご回答ください。

(1)あなた	(2)配偶者
_____ 時 (就業されていない場合は記入不要)	_____ 時 (就業中の配偶者がおられない場合は記入不要)

問26 すべての方にお聞きます。あなたと、あなたの配偶者は育児休暇を取得されたでしょうか。
 お子さんが複数おられる場合は、一番下のお子さんについてご回答ください。(それぞれの項目に○印は1つだけ)

(1)あなた	(2)配偶者
1. 取得した	1. 取得した
2. 取得したが、取得したかった期間よりも短かった	2. 取得したが、取得したかった期間よりも短かった
3. 取得したかったが、できなかった	3. 取得したかったが、できなかった
4. 取得するつもりがなかった	4. 取得するつもりがなかった
5. 該当しなかった(自営業・役員・無職等)	5. 該当しなかった(自営業・役員・無職等)

問27 問26で選択肢の2番から4番に○印を付けた方にお聞きます。育児休暇が希望より短かった、取得できなかった、取得するつもりはなかった理由はどのようなことでしょうか。あなたと配偶者の両方についてご回答ください。(それぞれ○印はいくつでも)

(1)あなた	(2)配偶者
1. 勤め先に適用される育児休業制度がなかったから	1. 勤め先に適用される育児休業制度がなかったから
2. 希望期間を取得すると、取得後に保育所に入れなくなると思ったから	2. 希望期間を取得すると、取得後に保育所に入れなくなると思ったから
3. 仕事が忙しく、休むことができなかったから	3. 仕事が忙しく、休むことができなかったから
4. 人事評価や昇進に影響すると思ったから	4. 人事評価や昇進に影響すると思ったから
5. 収入が減るから	5. 収入が減るから
6. 職場で、周囲に迷惑をかけると思ったから	6. 職場で、周囲に迷惑をかけると思ったから
7. 取得できるような職場の雰囲気ではなかったから	7. 取得できるような職場の雰囲気ではなかったから
8. 配偶者や家族など周りから反対されたから	8. 配偶者や家族など周りから反対されたから
9. その他()	9. その他()

8. 子育てとお住まいについて

問28 すべての方にお聞きます。お子さんの出生や成長に従って転居したことがありますか。将来の希望を含めてご回答ください。(○印は1つだけ)

- | |
|---|
| 1. 子ども数が増えて転居した(子ども数が増えたら転居したい)
2. 子どもの成長に従って転居した(子どもが成長したら転居したい)
3. その他の子どもの理由により転居した(転居したい)
4. 子どもが理由で転居したことはない(転居する考えはない) |
|---|

問29 問28で1番から3番に○印を付けた方にお聞きます。転居前と転居後の住所地(市町村名)をご回答ください。(それぞれの項目に○印は1つだけ)

複数回、転居されたことがある場合は直近の転居についてご記入ください。今後、転居したいとお考えの方は、転居後の市町村についてご希望がございましたら、ご記入ください。

(1)転居前	(2)転居後
1. 岡山県 _____ 市・町・村	1. 転居前と同じ市町村内
2. その他の都道府県、外国	2. 岡山県 _____ 市・町・村
	3. その他の都道府県、外国

問30 問28で1番から3番に○印を付けた方にお聞きます。転居先を選ぶとき、地域特性をどのように評価された（評価する）でしょうか。（それぞれの項目に○印は1つだけ）

項目	評価できる			不満である			重視して いなかった
	とても 評価した	いづらか 評価した	少しだけ 評価した	少しだけ 不満だった	いづらか 不満だった	とても 不満だった	
① 通勤時間（職住の近接性）	1	2	3	4	5	6	7
② 交通利便性（鉄道、バス等の利用のしやすさ）	1	2	3	4	5	6	7
③ 賃貸住宅の選びやすさ、家賃の手ごろさ	1	2	3	4	5	6	7
④ 広い居室がある住宅や持ち家や一戸建ての入手のしやすさ	1	2	3	4	5	6	7
⑤ 産婦人科、小児科等の医療環境	1	2	3	4	5	6	7
⑥ 防災、治安等の安全・安心面	1	2	3	4	5	6	7
⑦ 大型店や大手チェーン店の路面立地による買い物や飲食の利便性	1	2	3	4	5	6	7
⑧ 通勤途中や歩いて行ける近隣商店等での買い物や飲食の利便性	1	2	3	4	5	6	7
⑨ 住宅地の閑静さ、公園や自然の近接性	1	2	3	4	5	6	7
⑩ 保育所・幼稚園等の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	6	7
⑪ 学校・習い事・塾等の教育環境	1	2	3	4	5	6	7
⑫ 地域コミュニティとの関わりやすさ	1	2	3	4	5	6	7
⑬ 児童公園や自然環境等、子どもの外遊び環境	1	2	3	4	5	6	7
⑭ 親と同居・近居できること	1	2	3	4	5	6	7

問31 問28で1番から3番に○印を付けられた方にお聞きます。転居した（転居したい）タイミングをお聞かせください。（○印は2つまで）

1. 第1子が生まれたとき	6. 子どもが小学校に進学するとき
2. 第2子が生まれたとき	7. 子どもが中学校に進学するとき
3. 第3子が生まれたとき	8. 子どもが高校に進学するとき
4. 第4子以上が生まれたとき	9. その他（ ）
5. 子どもを保育所・幼稚園に預けるとき	

問32 すべての方にお聞きます。ご自身の父親・母親との同居や近居についてお聞かせください。また、配偶者がおられる方は、配偶者のご両親との同居や近居についてもご回答ください。（それぞれの項目に○印は1つだけ）

(1)自分の父親・母親	(2)配偶者の父親・母親
1. 同居している	1. 同居している
2. 日常的に往来できるところに住んでいる	2. 日常的に往来できるところに住んでいる
3. 日常的に往来できるところに住んでいない	3. 日常的に往来できるところに住んでいない
4. 両親とも亡くなった	4. 両親とも亡くなった

問33 すべての方にお聞きします。未就学児や小学校低学年の子育てに関して、ご自身や配偶者の父親・母親は、どのようなことを手伝ってくれますか（くれましたか）。
（○印はいくつでも）

1. 家で子どもの世話を手伝ってくれる	6. 子育てに関して相談に乗ってくれる
2. 保育所等の送り迎えを手伝ってくれる	7. 費用面で支援してくれる
3. 家事を手伝ってくれる	8. その他（ ）
4. 必要に応じて子どもを預かってくれる	9. 特に手伝ってもらっていることはない
5. 子どもが病気のときに代わりに看病してくれる	10. 自分の両親、配偶者の両親は亡くなった

9. 地域の子育て環境について

問34から問37まですべての方にお聞きします。

問34 妊娠・分娩、子どもに関わる医療サービスの利用について、以下のような経験がありましたか。（それぞれの項目に○印は1つだけ）

項目	選択肢
① 近くに産科がなく、不安になった経験や不便に感じたこと	1. ある 2. ない
② 夜間・休日で、子どもの体調が悪いときに診療してくれる小児科が見つからず困った経験	1. ある 2. ない 3. 子どもの急な体調不良などはなかった
③ 近くに、信頼できる子どものかかりつけ医がなく、不安になった経験や不便に感じたこと	1. ある 2. ない 3. かかりつけ医を決めていない
④ 専門的な治療が必要な疾病で、子どもを診療してくれる医療機関が近くになく、不安に思ったこと	1. ある 2. ない 3. 専門的な治療が必要な疾病にかかったことがない
⑤ 子どもの病気で、医療機関の待ち時間が長く、つらく・不便に思ったこと	1. ある 2. ない 3. 子どもの病気で医者に行ったことはない

問35 保育所、放課後児童クラブ等（ファミリーサポートセンター等を含む）で、次の子どもの預かりサービスを利用したことがありますか。（○印はいくつでも）

1. 低年齢児（0～2歳）の保育	6. 保育所等を利用していない子どもを対象とする一時預かり（ショートステイ）
2. 預かってくれる時間の延長	7. 小学校低学年児の預かり
3. 病児の預かり	8. その他（ ）
4. 休日の預かり	9. 特になし
5. 保育所・幼稚園等における年度途中の入所	

問36 あなたや配偶者が子育てをする上で、充実してほしい預かりサービスはどのようなことでしょうか。未就学児がおられない方は当時を思い出してご回答ください。（○印は3つまで）

1. 低年齢児（0～2歳）の保育	6. 保育所等を利用していない子どもを対象とする一時預かり（ショートステイ）
2. 預かってくれる時間の延長	7. 小学校低学年児の預かり
3. 病児の預かり	8. その他（ ）
4. 休日の預かり	9. 特になし
5. 保育所・幼稚園等における年度途中の入所	

問37 お住まいの地域の子育て環境や、子育てを通じた家族と地域との関わりについてどのように考えられますか。(それぞれの項目に○印は1つだけ)

項目	選択肢					
	とても そう思う	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わ ない	そう思わ ない	全くそう 思わない
① 子どもと一緒に地域の行事や祭りによく参加する	1	2	3	4	5	6
② 近所では、子どもと外出すると知人によく声をかけられる	1	2	3	4	5	6
③ 保育所・幼稚園等、学校の活動に進んで参加する	1	2	3	4	5	6
④ 地域では、子どもが参加する行事やイベントが多い	1	2	3	4	5	6
⑤ 危険なことや悪いことで子どもを注意できる人がある	1	2	3	4	5	6
⑥ 周囲に気にかけてもらっているという安心感がある	1	2	3	4	5	6
⑦ さりげない子どもの見守りがある地域である	1	2	3	4	5	6
⑧ 子育ての楽しさや悩みを分かち合う仲間や場所がある	1	2	3	4	5	6
⑨ 近隣の商店や社会貢献を行うNPO等からの支援がある	1	2	3	4	5	6
⑩ 人々のつながりは、子育てする自分には温かく、心地よい	1	2	3	4	5	6
⑪ 家事、子育てに助けがなく、一人で頑張っている	1	2	3	4	5	6
⑫ 子育てをしていて孤独感を感じる	1	2	3	4	5	6

10. 子育ての不安・悩みと相談

問38から問39まですべての方にお聞きます。

問38 あなたは、お子さんを強く叱ったり、つらくあたったりすることがありますか。(○印は1つだけ)

1. 虐待をしているのではないかと思うほど、強く叱ったり、つらくあたったりするときがある
2. 虐待とは思わないが、強く叱ったり、つらくあたったりするときが多い
3. 強く叱ったり、つらくあたったりするときは、ときどきある
4. 強く叱ったり、つらくあたったりするときは、あまりない
5. 強く叱ったり、つらくあたったりするときは、まったくない

問39 子育てをしていて、どのような不安や悩みがありますか。(○印は3つまで)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 子育てによる精神的・肉体的な疲れ | 9. 子どもの性格的な特徴 |
| 2. 自由な時間が持てないこと | 10. 子どもの病気や身体的な成長 |
| 3. 夫婦関係の変化 | 11. 配偶者が子育てに関わらないこと |
| 4. 子育てと仕事の両立 | 12. 配偶者との子育てに関する意見の不一致 |
| 5. 子どもを通じた人間関係 | 13. 相談できる相手がいないこと |
| 6. 子どもの一時的な預け先がないこと | 14. 将来に対する漠然とした不安 |
| 7. 子どもの養育・教育にかかる費用 | 15. その他 () |
| 8. 子どものしつけ方 | 16. 特に不安や悩みはない |

11. ひとり親の方に

問40から問41までひとり親の方にお聞きます。

問40 現在、困っていることをお聞かせください。(○印は2つまで)

1. 住居について	5. 健康について
2. 仕事について	6. 家族・親族の健康・介護について
3. 家計について	7. その他 ()
4. 家事について	8. 特に困っていることはない

問41 現在、主にどのような人や機関に相談されていますか。(○印はいくつでも)

1. 親族	5. その他 ()
2. 知人・隣人	6. 相談相手はいないがほしい
3. ひとり親(旧母子)自立支援員等	7. 必要ない
4. 公的機関	

12. 公的な子育て支援サービスについて

問42 すべての方にお聞きます。以下の子育て支援サービス等について、(1)利用経験と(2)利用意向をお聞かせください。(それぞれの項目に○印は1つだけ)

項目	(1)利用経験			(2)利用意向			
	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	是非、利用したい・利用すればよかった	支援内容をよく知りたい	利用したいと思わない	関心がない
① 地域子育て支援センター	1	2	3	1	2	3	4
② ファミリーサポートセンター	1	2	3	1	2	3	4
③ 児童館	1	2	3	1	2	3	4
④ 保健所、保健センター	1	2	3	1	2	3	4
⑤ 児童相談所	1	2	3	1	2	3	4
⑥ 公的機関が行う電話相談	1	2	3	1	2	3	4
⑦ 家事代行等の公的サービス	1	2	3	1	2	3	4
⑧ ももっこカード	1	2	3	1	2	3	4
⑨ 放課後児童クラブ	1	2	3	1	2	3	4
⑩ 子育てに関する講座・研修	1	2	3	1	2	3	4

問43 最後に、あなたの世帯についてお聞かせください。

質問	選択肢
(1) 世帯人数	_____人(本人を含む世帯人数)
(2) 世帯構成(本人以外の同居者) (○印はいくつでも)	1. 配偶者 4. 自分の母親 7. その他() 2. 子ども(_____人) 5. 配偶者の父親 3. 自分の父親 6. 配偶者の母親

— ご協力、誠にありがとうございました —

3 第三群調査

岡山県統計調査登録番号第145号

⑨ 統計法に基づく統計調査

結婚、出産、子育てに関する高校生意識調査

次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくりを推進するために

1. あなたご自身について

問1 最初に、あなたご自身についてお聞かせください。(○印はそれぞれ1つずつ)

質問	選択肢		
(1)性別	1. 男 2. 女		
(2)年齢	_____歳		
(3)学年	1. 2年生 2. 3年生		
(4)学科	1. 普通科 2. 商業系 3. 工業系	4. 農業系 5. 体育系 6. 音楽系	7. 看護系 8. その他 ()
(5)お住まいの市町村	1. 岡山県 _____ 2. 県 外 _____	市・町・村 都・道・府・県	
(6)高校のある市町村	岡山県 _____ 市・町・村		
(7)世帯人数	_____人（本人を含む世帯人数）		
(8)世帯構成(本人以外 の同居者) (○印はいくつでも)	1. 父親 2. 母親 3. 兄弟 (人) 4. 姉妹 (人)	5. 父方の祖父 6. 父方の祖母 7. 母方の祖父 8. 母方の祖母	9. その他 ()

2. 結婚について

問2から問5まですべての方にお聞きします。

問2 あなたご自身の結婚についてどのように考えられますか。(○印は1つだけ)

1. ある程度の年齢までに結婚したい
2. 年齢に関係なく、結婚したいと思う相手が見つければ結婚したい
3. 相手が見つかって、仕事や自分の生き方と両立できないなら、すぐに結婚したいとは思わない
(いつかは結婚したい)
4. 一生、結婚したいとは思わない
5. その他 ()

問3 結婚したいと思う理由や結婚のメリットをどのように考えられますか。(○印は2つまで)

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 自然なことだから | 7. 自分の子どもや家族を持てるから |
| 2. 人生を豊かにするから | 8. 性的な充足が得られるから |
| 3. 経済的に余裕が持てるから | 9. 生活上便利になるから |
| 4. 社会的信用を得たり、周囲と対等になれた
りするから | 10. 親から独立できるから |
| 5. 精神的な安らぎの場が得られるから | 11. 親を安心させ、周囲の期待に応えられるから |
| 6. 愛情を感じている人と暮らせるから | 12. その他 () |
| | 13. 特にメリットはない |

問4 結婚したいとは思わない理由や、結婚のデメリットをどのように考えられますか。

(○印は2つまで)

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1. 結婚することを重視していないから | 8. 家族を支える責任が生じ、気楽さが失
われるから |
| 2. 仕事と結婚を両立できそうにないから | 9. 職業を持てず、社会とのつながりが保
ちにくくなるから |
| 3. 自分の生き方と結婚を両立できそうにないから | 10. 現在の家族とのつながりが保ちにく
くなるから |
| 4. 異性との交際の自由が失われるから | 11. その他 () |
| 5. 金銭的な裕福さが失われるから | 12. 特にデメリットはない |
| 6. 住宅や周囲の住環境の選択の幅が小さくなるから | |
| 7. 友人等との広い人間関係が保ちにくいから | |

問5 ご自身の結婚について理想と思う年齢がありますか。(○印は1つだけ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. おおよそその理想がある (理想の年齢 _____ 歳) |
| 2. 特に理想はない |
| 3. 結婚したいとは思わない |

問6 問5で1番に○印を付けた方にお聞きます。理想とする結婚年齢がある理由をご回答ください。(○印は3つまで)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 周囲の人の結婚年齢の影響 | 7. 自分が一定の社会的信用を得られること |
| 2. 学業との兼ね合い | 8. 子どもを持つことを想定する自分や配偶者の年齢 |
| 3. 仕事との兼ね合い | 9. 家族を支える責任について自分に自信が持てること |
| 4. 結婚資金が十分に得られること | 10. 現在交際している相手の意向 |
| 5. 結婚生活に十分な所得になること | 11. 親の意向 |
| 6. 雇用が安定すること | 12. その他 () |

問7 すべての方にお聞きます。結婚や理想の結婚年齢に対するご自身の予想をご回答ください。

(○印は1つだけ)

- | |
|--------------------------|
| 1. 理想の年齢で結婚できると思う |
| 2. 理想の年齢よりも早く結婚しそう |
| 3. 結婚年齢に理想はないが、結婚できると思う |
| 4. 結婚できるが、理想の年齢よりも遅くなりそう |
| 5. 結婚できないかもしれない |
| 6. 結婚するつもりはない |

問8 問7で、4番から6番に○印を付けた方にお聞きます。「理想の年齢よりも遅くなりそう」「結婚できないかもしれない」「結婚するつもりはない」と思う理由をご回答ください。(○印は3つまで)

- | | |
|--------------------------|--------------------------------------|
| 1. 結婚したいと思う相手と出会いそうにないから | 11. 出産や子育てに不安があるから |
| 2. 異性とうまく付き合えないから | 12. 経済環境・社会環境が不安定・不透明だから(コロナ禍の影響を除く) |
| 3. 学業を優先したいから | 13. コロナ禍で生活に悪影響があったり、将来が不透明になったりしたから |
| 4. 仕事を優先したいから | 14. 現在、交際している相手の意向しだいだから |
| 5. 自分の生き方と結婚を両立できそうにないから | 15. その他() |
| 6. 自分の就業に不安があるから | 16. 結婚するつもりがないのは自分の希望だから |
| 7. 結婚資金が十分に得られるかわからないから | |
| 8. 結婚後に所得が十分得られるかわからないから | |
| 9. 自分の健康面の不安や身体的な理由から | |
| 10. 自分に自信を持ってないから | |

問9 すべての方にお聞きます。結婚につながるような男女の出会いについてどのように考えられますか。(○印はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 自然な出会いによる恋愛がよい |
| 2. 親戚、友人、上司等の紹介がよい(でもかまわない) |
| 3. アプリやオンラインサイトのマッチングサービスがよい(でもかまわない) |
| 4. 対面式の婚活パーティーや出会いイベントがよい(でもかまわない) |
| 5. どれでもかまわない |
| 6. 結婚したいとは思っていない |

3 子どもを持つことについて

問10 すべての方にお聞きます。子どもを持つなら何人が希望ですか。(○印は1つだけ)

- | | |
|-------|--------------|
| 1. 一人 | 4. 四人 |
| 2. 二人 | 5. 五人以上 |
| 3. 三人 | 6. 子どもは欲しくない |

問11 問10で1番から5番に○印を付けた方にお聞きます。

子どもが欲しいと思う理由はどのようなことでしょうか。(○印は3つまで)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 自然なことだから | 6. 将来、社会の支えになるから |
| 2. 子どもが好きだから | 7. 夫婦関係を安定させるから |
| 3. 周囲に認められるから | 8. 好きな人の子どもを持ちたいから |
| 4. 生活が楽しく心が豊かになるから | 9. 周囲が望むから |
| 5. 老後の支えになるから | 10. その他 () |

問12 問10で1番または6番に○印を付けた方にお聞きます。子どもは欲しくない、または希望する子どもの数が一人である理由はどのようなことでしょうか。(○印は3つまで)

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 子どもを持つ積極的な意味が見出せないから | 8. 子どもを養う責任が増え、気楽さが失われるから |
| 2. 仕事と子育てを両立できそうにないから | 9. 子育てや教育に、お金がかかりすぎるから |
| 3. 自分の生き方と子育てを両立できそうにないから | 10. 現在の家族とのつながりが保ちにくくなるから |
| 4. 就業に不安があるから | 11. 妊娠・出産に対して自信がないから |
| 5. 将来の所得に不安があるから | 12. 子育てに自信がないから |
| 6. 住宅や周囲の住環境の選択の幅が小さくなるから | 13. あまり子どもが好きではないから |
| 7. 職業を持たず、社会とのつながりが保ちにくくなるから | 14. 結婚するつもりがないから |
| | 15. その他 () |

問13 すべての方にお聞きます。希望とは別に、現実には何人の子どもの数を持てると思う子どもの数は何人ですか。(○印は1つだけ)

- | | |
|-------|----------------|
| 1. 一人 | 5. 五人以上 |
| 2. 二人 | 6. 子どもを持つ予定はない |
| 3. 三人 | 7. わからない |
| 4. 四人 | |

問14 問13で回答された「持てると思う子ども数」が、問10の「希望子ども数」より少ない方にお聞きます。「持てると思う子ども数」が「希望子ども数」より少ない理由はどのようなことでしょうか。(○印は3つまで)

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 結婚が遅くなると思うから | 10. 子育てや教育にお金がかかりすぎると思うから |
| 2. 仕事と出産・子育てを両立できないと思うから | 11. 保育所等の子どもを預けるサービスが十分でないと思うから |
| 3. 自分の生き方と出産・子育てを両立できそうにないから | 12. 子どもを持つことを重視していないから |
| 4. 就業に不安があるから | 13. 自分に自信が持てないから |
| 5. 将来の所得に不安があるから | 14. 経済環境・社会環境が不安定・不透明だから(コロナ禍の影響を除く) |
| 6. 自分の健康面の不安や身体的な不安があるから | 15. コロナ禍で生活に悪影響があったり、将来が不透明になったりしたから |
| 7. 住宅事情が厳しいから | 16. その他() |
| 8. 家事や子育ての協力者がいないと思うから | |
| 9. 妊娠・出産・子育ては肉体的・精神的な負担が大きいと思うから | |

4. 男女の役割分担やワークライフバランスについて

問15から問19まですべての方にお聞きます。

問15 「結婚したら夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どのように思われますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. とてもそう思う | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 2. そう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらかと言えばそう思う | 6. まったくそう思わない |

問16 結婚生活のための所得について、自分や結婚相手の役割の理想についてどのように考えられますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| 1. 必要な所得の大半は自分が稼ぐ(結婚相手は働かなくてもよい) | 3. 夫婦で同じくらいの所得を得ることができたらいい |
| 2. 自分は不足分やゆとり分を補う程度でよい(家事専念を含む) | 4. 所得の割合に関係なく夫婦ともに働けたらいい |

問17 結婚生活を送る上で、自分や結婚相手の雇用の理想についてどのように考えられますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 自分が正規雇用であればよい | 3. 両方とも正規雇用が望ましい |
| 2. 相手が正規雇用であればよい | 4. 正規・非正規に関係なく夫婦ともに働けたらいい |

問18 結婚生活を送る上で、自分や結婚相手のキャリアアップ※の理想についてどのように考えられますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 自分のキャリアアップを優先する | 3. 二人ともキャリアアップを目指す |
| 2. 相手のキャリアアップを優先する | 4. キャリアアップに関係なく夫婦ともに働けたらいい |

(※)ここでのキャリアアップ(経歴の向上)とは、昇進・昇格だけでなく、能力や専門性を磨き、仕事の幅を広げたり、仕事のレベルを上げたりすることを含みます。

問19 仕事と家庭生活(子育てを含む)について、これらの優先度の理想をどのように考えられますか。(○印はそれぞれ1つだけ)

- | |
|----------------------|
| 1. 仕事を優先したい |
| 2. 家庭生活を優先したい |
| 3. 仕事も家庭も、ほどほどで両立したい |
| 4. 仕事も家庭も、充実させて両立したい |

5. 進学について

問20 すべての方にお聞きます。高校卒業後の進学・就業等の希望をお聞かせください。(○印は1つだけ)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 大学へ進学、卒業後は就職 | 7. 家業に就業 |
| 2. 大学へ進学、卒業後は大学院等へ進学 | 8. 結婚して家事に専念 |
| 3. 短大へ進学 | 9. 実家で家事手伝い |
| 4. 専修・専門学校等へ進学 | 10. その他 () |
| 5. 企業等に就職 | 11. わからない |
| 6. 起業 | |

問21 問20で1番から4番に○印を付けられた方にお聞きます。進学したい大学等の所在地の希望をお聞かせください。(○印は1つだけ)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 地元地域 | 6. 福岡市及びその周辺地域 |
| 2. 岡山県内の他地域 | 7. その他の国内の地域 |
| 3. 東京圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県) | 8. 外国 |
| 4. 名古屋圏(愛知県、岐阜県、三重県) | 9. 地域に希望はない(どこでもいい) |
| 5. 関西圏(大阪府、京都府、奈良県、兵庫県) | 10. その他 () |

※「地元地域」は、高校までの期間を主に過ごした地域であり、住所地のある市町村に加え通勤・通学可能な近隣市町村を含みます。

問22 問20で1番から4番に○印を付けられた方にお聞きます。地元・地元外でみると、前問の希望はどのような理由からでしょうか。(○印は1つだけ)

1. 地元に進学したい大学等があるから
2. 地元外に進学したい大学等があるから
3. 地元になりたいと思っているから
4. 地元外に暮らしたい地域があるから
5. 地元から出たいと思っているから
6. 地域に希望はない(どこでもいい)

6. 就業について

問23 すべての方にお聞きます。高校、大学・大学院等の卒業後の進路について希望をお聞かせください。(○印は1つだけ)

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| 1. 企業等に就職 | 6. 結婚して家事に専念 |
| 2. 学校卒業後に家業に就業 | 7. 実家で家事手伝い |
| 3. 学校卒業後に起業 | 8. その他 |
| 4. 学校卒業後は企業等に就職し、いずれは家業を継ぐ | () |
| 5. 学校卒業後は企業等に就職するが、いずれは起業する | 9. わからない |

問24 問23で1番から5番に○印を付けられた方にお聞きます。就業したい地域の希望をお聞かせください。(○印は1つだけ)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 地元地域 | 6. 福岡市及びその周辺地域 |
| 2. 岡山県内の他地域 | 7. その他の国内の地域 |
| 3. 東京圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県) | 8. 海外 |
| 4. 名古屋圏(愛知県、岐阜県、三重県) | 9. 地域に希望はない(どこでもいい) |
| 5. 関西圏(大阪府、京都府、奈良県、兵庫県) | 10. その他() |

※「地元地域」は、高校までの期間を主に過ごした地域であり、住所地のある市町村に加え通勤・通学可能な近隣市町村を含みます。

問25 問23で1番から5番に○印を付けられた方にお聞きます。地元・地元外でみると、前問の希望はどのような理由からでしょうか。(○印は1つだけ)

1. 地元就業したい企業・仕事があるから
2. 地元外に就業したい企業・仕事があるから
3. 地元になりたいと思っているから
4. 地元外に暮らしたい地域があるから
5. 地元から出たいと思っているから
6. 地域に希望はない(どこでもいい)

問26から問28まで高校、大学・大学院卒業後に企業等に就職を希望する方にお聞きます。

問26 就職を考えるにあたって、最も相談している相手は誰ですか。2年生や進学希望の方は予想をお聞かせください。(○印は1つだけ)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 家族 | 5. その他 () |
| 2. 学校の教師等 | 6. 相談したいが、相談相手がいない |
| 3. 自分が関心のある企業等に就職している先輩 | 7. 相談したいと思っていない |
| 4. 業種、職種、企業等の希望が同じ友人 | |

問27 どのような企業等に就職したいと思いますか。(○印は3つまで)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 安定している | 6. 東京、大阪等、大都市で働ける |
| 2. やりたい仕事ができる | 7. 社会貢献に力を入れている |
| 3. 給料がよい | 8. その他 () |
| 4. テレワーク等、柔軟な働き方ができる | 9. 特に希望はない |
| 5. 転勤がない | |

問28 就職先を考えると、どのような方法で企業等の情報を入手していますか。2年生や進学希望の方は関心のある情報を回答してください。(○印はいくつでも)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 様々な企業等の情報を集めた冊子 | 5. その他 () |
| 2. 様々な企業等が集まる説明会 | 6. 特に情報は集めていない |
| 3. 個別の企業等の見学会 | 7. わからない |
| 4. インターンシップ | |

7. 結婚後に暮らす地域について

問29 将来結婚を希望する方にお聞きます。結婚後に暮らしたい地域の希望をお聞かせください。(○印は1つだけ)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 地元地域 | 6. 福岡市及びその周辺地域 |
| 2. 岡山県内の他地域 | 7. その他の国内の地域 |
| 3. 東京圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県) | 8. 外国 |
| 4. 名古屋圏(愛知県、岐阜県、三重県) | 9. 地域に希望はない(どこでもいい) |
| 5. 関西圏(大阪府、京都府、奈良県、兵庫県) | 10. その他 () |

※「地元地域」は、高校までの期間を主に過ごした地域であり、住所地のある市町村に加え通勤・通学可能な近隣市町村を含みます。

問30 将来結婚を希望する方にお聞きます。地元・地元外でみると、前問の希望はどのような理由からでしょうか。(○印は1つだけ)

1. 地元で結婚する相手が見つかると思うから
2. 結婚相手は地元外の人になると思うから
3. 結婚後は地元になりたいと思っているから
4. 地元外に暮らしたい地域があるから
5. 結婚を機に、地元から出たいと思っているから
6. 地域に希望はない(どこでもいい)

8. 地域社会や身近な人のことについて

問31から問34まですべての方にお聞きます。

問31 あなたが暮らしている地域(自治会単位などの地域コミュニティの範囲)や、あなたと地域との関わりについて、どのように考えますか。(それぞれの項目に○印は1つだけ)

項目	とても そう思う	そう思う	選択肢			
			どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わ ない	そう思わ ない	まったく そう思わ ない
① 伝統行事や町内会活動などが活発である	1	2	3	4	5	6
② スポーツ活動や趣味の活動が活発である	1	2	3	4	5	6
③ 地域活動で同年代の人とふれ合う機会が多い	1	2	3	4	5	6
④ 自分は地域活動への参加に積極的である	1	2	3	4	5	6
⑤ 地域のコミュニティで、日常的に生活面で協力している	1	2	3	4	5	6

問32 あなたが暮らしている地域の暮らしやすさ、居心地のよさについてどのように考えますか。(それぞれの項目に○印は1つだけ)

項目	とても そう思う	そう思う	選択肢			
			どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そう思わ ない	そう思わ ない	まったく そう思わ ない
① 近所に信頼して相談できる友人・知人がいる	1	2	3	4	5	6
② 自分は近所で挨拶や立ち話をよくする	1	2	3	4	5	6
③ いま暮らしている地域の生活ペースが自分に合っている	1	2	3	4	5	6
④ 地域の人間関係にわずらわしさを感じることがある	1	2	3	4	5	6
⑤ 地域の人々のつながりは、自分にはあたたかく、心地よい	1	2	3	4	5	6

問33 子どもの頃の経験についてお聞きします。あなたの身近な人の結婚や子どものこと、また遊び方についてどのように考えますか。(それぞれの項目に○印は1つだけ)

項目	とても そう思う	そう思う	選択肢			
			どちらか と言え ばそう 思う	どちらか と言え ばそう 思わ ない	そう思 わ ない	まったく そう思 わ ない
① 両親や親戚に仲の良い夫婦がいた	1	2	3	4	5	6
② 友人の両親や知人に仲の良い夫婦がいた	1	2	3	4	5	6
③ 小さい子どもとふれ合う機会がよくあった	1	2	3	4	5	6
④ 身近に三人以上子どもを持つ夫婦が多かった	1	2	3	4	5	6
⑤ 自然が身近にあり、日常的に自然の中で遊ぶ機会があった	1	2	3	4	5	6
⑥ 公園等で子どもだけでよく外遊びをした	1	2	3	4	5	6

問34 結婚や子どもを持つこと、生活の満足感やご自身についてのお考えをご回答ください。
(それぞれの項目に○印は1つだけ)

項目	とても そう思う	そう思う	選択肢			
			どちらか と言え ばそう 思う	どちらか と言え ばそう 思わ ない	そう思 わ ない	まったく そう思 わ ない
① 結婚することは自然なことである	1	2	3	4	5	6
② 子どもを持つことは自然なことである	1	2	3	4	5	6
③ 結婚することは重要である	1	2	3	4	5	6
④ 子どもを持つことは重要である	1	2	3	4	5	6
⑤ 結婚して配偶者がいたら生活が楽しく豊かになる	1	2	3	4	5	6
⑥ 子どもがいたら生活が楽しく豊かになる	1	2	3	4	5	6
⑦ 仲の良い夫婦を見ると幸せそうと思う	1	2	3	4	5	6
⑧ 小さい子どもを持つ夫婦を見ると幸せそうと思う	1	2	3	4	5	6
⑨ 自分自身に満足している	1	2	3	4	5	6
⑩ 自分はうまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	1	2	3	4	5	6
⑪ 自分は役に立たないと感じる	1	2	3	4	5	6
⑫ 自分はありのまま、素直に生きていると思う	1	2	3	4	5	6
⑬ 自分には「居場所」があると思う	1	2	3	4	5	6
⑭ 今の生活は心身ともに良好だと思う	1	2	3	4	5	6

9. ライフコースと妊娠・出産に関わる身体の変化について

問35から問37まですべての方にお聞きます。

問35 女性の結婚、出産、仕事に関わるライフコース（一生の間にたどる道筋）は、あなたからみると、どのようなタイプが理想と考えられますか。（○印は1つだけ）

- | | |
|--|--|
| 1. 結婚せず、仕事を続ける | 5. 結婚し、子どもを持ち、結婚や出産を機会に退職し、その後は仕事を持たない |
| 2. 結婚するが子どもを持たず、仕事を続ける | 6. その他（ ） |
| 3. 結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける | |
| 4. 結婚し、子どもを持つが、結婚や出産を機会にいったん退職し、その後再び仕事を持つ | |

問36 妊娠・出産に関する次の医学的知見についてご存知ですか。

（それぞれの項目に○印は1つだけ）

項目	選択肢			
	よく知っている	少し知っている	あまり知らない	知らない
① 女性は年齢が高くなるほど、妊娠する力（妊孕性）が低下すること	1	2	3	4
② 男性の精子が、年齢に伴い減少し、老化すること	1	2	3	4
③ 不妊の原因が男性にある場合もあること	1	2	3	4

問37 女性は年齢が高くなると妊娠する力が低下することが知られています。もし結婚するとしたら、女性の仕事やキャリアアップと、年齢に伴う女性（自分やパートナー）の身体の変化（妊娠する力の低下）のどちらを重視したいと考えますか。（○印は1つだけ）

- | |
|--|
| 1. 仕事やキャリアアップを重視する |
| 2. どちらかと言えば、仕事やキャリアアップを重視する |
| 3. どちらかと言えば、妊娠・出産に関わる自分やパートナーの身体の変化を重視する |
| 4. 妊娠・出産に関わる自分やパートナーの身体の変化を重視する |
| 5. どちらかを重視するのではなく、両立したい |
| 6. わからない |

10. 地元について

問38 すべての方にお聞きします。自分自身と地元との間の次のような関係について、どのように考えられますか。(それぞれの項目に○印は1つだけ)

項目	選択肢					
	とても そう思う	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらか と言えば そうは思 わない	そうは 思わない	まったく そうは思 わない
① 地元で暮らすことが「自分らしい」と思える ときがある	1	2	3	4	5	6
② 地元の友人と一緒にいると、リラックスでき る	1	2	3	4	5	6
③ 教師、先輩、友人等、地元感謝している人 がいる	1	2	3	4	5	6
④ 地元と似た風景やまち並みを見ると、居心地 がよいと感じることがある	1	2	3	4	5	6
⑤ 自分は、地元で、やりたいことが見つけられ ると思う	1	2	3	4	5	6
⑥ 自分が何か挑戦するとき、助けてくれる地元 の人がいる	1	2	3	4	5	6
⑦ 地元にいるとき、自分の力を引き出してくれ る出会いがあった	1	2	3	4	5	6
⑧ 地元と関わる中で、自分がしたいことが見つ かった	1	2	3	4	5	6
⑨ せつかく社会に役立つ仕事をするのなら、地 元に役立つ仕事がしたい	1	2	3	4	5	6
⑩ 地元には、自分が誇れる自然、文化、産業等 がある	1	2	3	4	5	6
⑪ 自分が美しいと思える地元の風景がある	1	2	3	4	5	6

— ご協力、誠にありがとうございました —